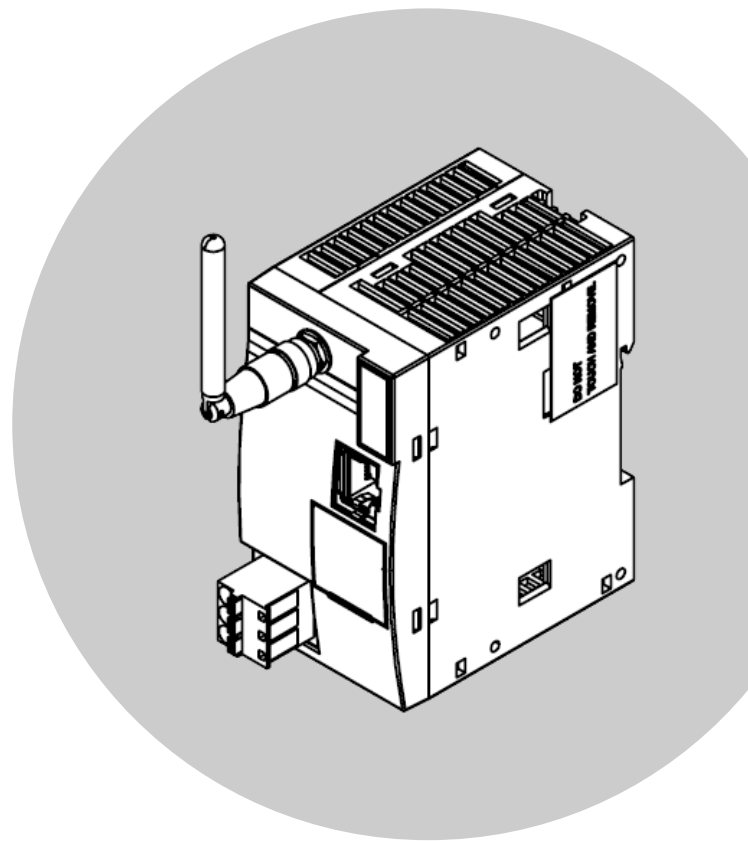


# リファレンスマニュアル

遠隔監視システム

## Side Gate View



# 目次

## 安全にご使用いただくために..... 6

1. 取り扱い上の注意.....7
2. セキュリティに関する注意事項 .....9
  1. セキュリティ対策事例 .....9

## 概要 ..... 10

1. 概要 ..... 11
  1. SideGateViewについて ..... 11
  2. 動作環境..... 11
  3. 関連マニュアルのご案内 ..... 12
  4. 本書の内容..... 12
2. 設定から使用までの流れ..... 14
3. データの保持期間..... 15

## 基本操作 ..... 16

1. 新規契約(管理者を作成)する..... 17
2. ログインする ..... 19
3. 画面の基本構成..... 20

## 管理メニュー ..... 21

1. ユーザーの設定を行う ..... 22
  1. ユーザーを登録する ..... 23
  2. ユーザーを編集する ..... 25
  3. ユーザーを削除する ..... 26
2. ゲートウェイ端末の設定を行う ..... 27
  1. ゲートウェイ端末を登録する..... 29
  2. 計測データを設定する ..... 32
  3. 設定項目の詳細(工業値変換) ..... 34
  4. 演算を設定する ..... 35
  5. ゲートウェイ端末を削除する..... 38
  6. PLCプログラム更新設定 ..... 39
  7. 外部通信設定(デバイス設定更新)を行う..... 40
  8. 遠隔制御を行う ..... 45
  9. 遠隔制御履歴の表示 ..... 55
3. グループの設定を行う ..... 57
  1. グループ設定の登録を行う..... 58
  2. グループ設定の編集を行う..... 60
  3. グループ設定の削除を行う..... 61
4. ダッシュボードの設定を行う ..... 62
  1. ダッシュボード概要 ..... 63
  2. カード設定の登録を行う ..... 64
  3. カード設定の編集を行う ..... 67

# 目次

4. カード設定の削除を行う	68
5. カード設定一覧の編集を行う	70
6. 表設定の登録を行う	72
7. 表設定の編集を行う	74
8. 表設定の削除を行う	75
9. 表設定一覧の編集を行う	77
5. グラフの設定を行う	78
1. グラフの登録を行う	79
2. グラフの編集を行う	82
3. グラフの削除を行う	83
6. メール通知の設定を行う	84
7. イベント設定を行う	87
1. イベントの登録を行う	88
2. イベントの編集を行う	90
3. イベントの削除を行う	91
8. イベントメッセージ設定を行う	92
1. イベントメッセージの登録または編集を行う	93
2. イベントメッセージの削除を行う	94
9. イベントレベルの登録を行う	95
1. イベントレベルの登録または編集を行う	96
2. イベントレベルの削除を行う	97
10. 状態表示の設定を行う	98
11. パッケージの登録を行う	100
1. パッケージを登録する	101
2. パッケージの情報を編集する	102
12. リモート更新の設定を行う	103
1. リモート更新を登録する	104
2. リモート更新の状態を確認する	105
3. リモート更新の設定を編集する	106
4. リモート更新を停止する	108
5. ゲートウェイ端末からPLCプログラムを更新する	109
13. カスタムモニタの設定を行う	112
1. カスタムモニタの登録を行う	113
2. カスタムモニタを編集する	114

## ユーザーメニュー ..... 115

1. アカウント詳細の設定を行う	116
1. パスワード変更	118
2. 2段階認証	119
2. 個人設定を行う	122
3. システム設定を行う	123
4. ライセンスを管理する	124
1. 本サービスで利用可能なライセンス	125
2. ライセンスの購入と登録	126
3. ライセンスの割当	129
5. ログイン履歴を表示する	130

# 目次

6. 設定変更の履歴の表示 .....	132
7. ログアウト .....	134

## 閲覧メニュー ..... 135

1. ホームの表示 .....	136
2. ダッシュボードの表示 .....	137
3. 計測データ(表)の表示 .....	139
4. 計測データ(グラフ)の表示 .....	141
5. 計測データのダウンロード .....	143
6. イベント履歴の表示 .....	145
7. イベント状態一覧の表示 .....	147
8. ゲートウェイ端末状態の表示 .....	148
9. カスタムモニタの表示 .....	150

## トラブルシューティング ..... 151

1. パスワードを忘れた場合 .....	152
2. データ引継ぎ .....	154

# はじめに

## 改訂履歴

---

2022年04月

初版発行

## 商標

---

AppleとAppleのロゴは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。

Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

SideGateは、IDEC株式会社の商標です。

# 安全にご使用いただくために

SG1A形およびSideGateViewを安全に利用するために、  
注意していただくことを説明しています。

# 1. 取り扱い上の注意

- 本製品の取り付け、配線作業、運転および保守・点検を行う前に、本書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- 本製品は弊社の厳しい品質管理体制のもとで製造されておりますが、万一本製品の故障により重大な事故や損害の発生のおそれがある用途へご使用の際は、バックアップやフェールセーフ機能をシステムに追加してください。
- 本書では、誤った取り扱いをした場合に生じることが想定される危険の度合いを「警告」「注意」として区分しています。それぞれの意味するところは以下の通りです。
  - 警告：取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
  - 注意：取り扱いを誤った場合、人が傷害を負うか物的損害が発生する可能性があります。

## ⚠ 警告

- SG1A形は、医療機器、原子力、鉄道、航空、乗用機器などの高度な信頼性・安全性が 必要とされる用途への使用を想定しておりません。これらの用途に使用しないでください。
- 上記以外でも、機能・精度において高い信頼性が求められる用途で使用する場合は、組み込まれるシステム機器全般として、フェールセーフ設計や冗長設計等の処置を講じたうえで使用してください。
- 取り付け、取り外し、配線作業および保守・点検は必ず電源を切って行ってください。破損、感電および火災発生のおそれがあります。
- 本製品の設置、配線、および操作を行うには専門の知識が必要です。専門の知識のない一般消費者が扱うことはできません。
- 本書に記載の指示にしたがって取り付けてください。取り付けに不備があると落下、故障、誤動作の原因となります。

## ⚠ 注意

- 本製品は、装置内への組み込み設置専用用品ですので、装置外には設置しないでください。
- カタログ、本書に記載の環境下で使用してください。高温、高湿、結露、腐食性ガス、過度の振動・衝撃のある所で使用すると感電、火災、誤動作の原因となります。
- 本製品の使用環境の汚損度は"汚損度2"です。汚損度2の環境下で使用してください。(IEC60664-1規格に基づく)
- 移動・運送時などに本製品を落下させないでください。本製品の破損や故障の原因となります。
- 規定の設置方法・条件、仕様に従ってご使用ください。規定外でご使用する場合、本製品の保護性能が損なわれます。
- 配線は印加電圧、通電電流に適した電線サイズを使用してください。
- アンテナは規定締付トルクで締め付けてください。
- 設置・配線作業時に配線くずやドリルの切り粉などが本製品内部に入らないように注意してください。配線くずなどが本製品内部に入ると火災、故障、誤動作の原因になります。
- 定格にあった電源を接続してください。定格と異なる電源を接続すると火災の原因になるおそれがあります。

- SG1A形のFG線にはD種接地を施してください。感電や誤動作の恐れがあります。
  - 周辺機器との接続ケーブルは、接地されたシールドケーブルを使用してください。
  - 動作中に本製品の金属部または端子部、アンテナ部には手を触れないでください。誤動作、故障の原因になります。
  - 濡れた手で本体内部やコネクタ等にさわらないでください。感電する可能性があります。
  - 電波法の制約がありますので、添付品またはオプション品以外のアンテナを接続しないでください。
  - 周囲温度が45℃を超えると、本体の金属部分(アンテナ、コネクタ)を手で触れないでください。操作中に火傷をする可能性があります。
  - 本製品は機能追加、品質向上のため予告なく仕様を変更する場合があります。継続的にご利用いただく場合でも、必ずホームページからの最新のマニュアルを読み、内容を確認してください。
  - 本製品の無線通信機能は日本国内のみで使用できます。
  - 分解、修理、改造等は行わないでください。
-



## 2. セキュリティに関する注意事項

一般的には、セキュリティに関する対策を適切に行わずにネットワークを構築すると、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 外部ネットワークからの不正侵入に伴うシステムの停止や不正操作、機密情報の搾取、データの改ざんや破壊、マルウェア感染
- マルウェア感染によって踏み台にされ、被害者から加害者へ転じて他のネットワーク機器を攻撃
- ネットワークサービスの許可に伴う思いもよらない情報の漏洩や流出
- なりすましによる不正な操作

上記問題に伴う二次被害（傷害、損害賠償、風評被害、機会損失など）上記のような問題を防止するため、後述のセキュリティ対策事例を参考に、弊社製品、同じネットワーク内の他の機器、およびそれらがサポートしているセキュリティ機能を適切に設定した上で、弊社製品をネットワークに接続してください。また、必要に応じて、その他セキュリティリスク回避のための十分な措置を講じてください。

不正アクセスの手段や制御システムの脆弱性は、常に新たに発見されており、どんなにセキュリティ対策を実施していても、セキュリティリスクは残ります。ネットワーク接続には常に危険が伴うことをご理解いただくとともに、常に新しい情報を入手し、セキュリティ対策を行うことを強くおすすめします。不正アクセス等により直接または間接的に生じた損失、損害その他の費用については、弊社は、一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

## 1. セキュリティ対策事例

### 閉域網の構築および暗号化

外部ネットワークと接続する場合、専用ネットワークや VPN など閉域網を使用してネットワークを構築してください。また、可能な限り、暗号化（SSL/TLS）等の処置を講じてください。なお、閉域網を使用してネットワークを構築したとしても、特殊な方法によりセキュリティが破られることもあり得ますので、本リスクをご理解の上、運用してください。

### パスワード

以下を参考にして、パスワードを設定してください。

- デフォルトパスワードから変更する
- 推測されにくく強度の高いパスワードとする（大小の英字と数字等を含み、桁数が多いもの）
- パスワードを定期的に変更し、厳重に管理する

### アクセス制限

以下を参考にして、ネットワーク接続する機器にアクセス制限を設定してください。

- 不要なネットワークサービスやポートは停止する
- 特定のアクセス元からの接続だけを許可する
- アカウント毎にアクセス権を制限する

# 概要

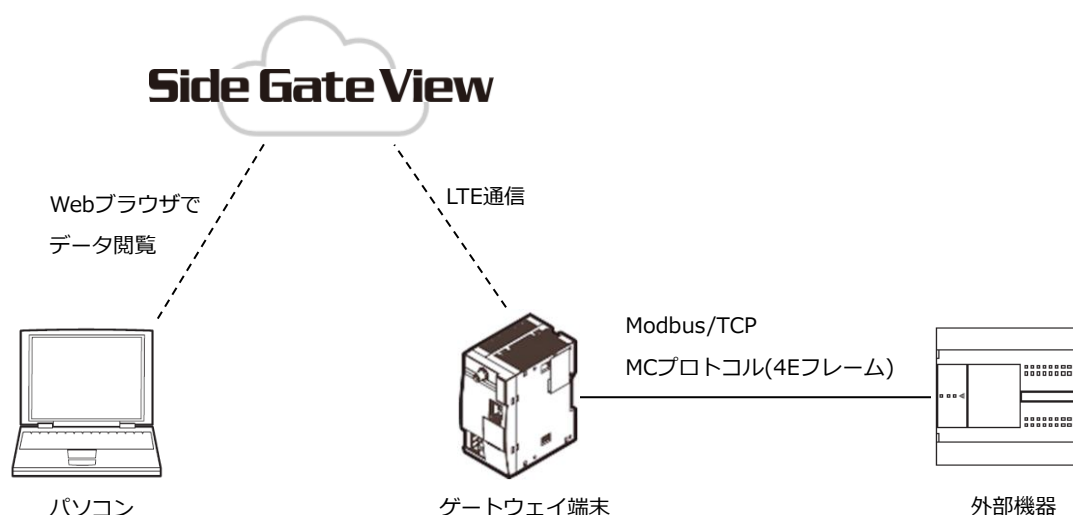
SideGateViewの概要、このマニュアルの全体構成、各関連マニュアルなど、SideGateViewをお使いになる前に知っていただくべき情報を掲載しています。

# 1. 概要

## 1. SideGateViewについて

遠隔監視システムSideGateView(以降「本サービス」とします)は、SG1A形LTE通信型クラウドデータロガーSideGate(以降「ゲートウェイ端末」とします)と連携し、ゲートウェイ端末の管理およびデータの収集、蓄積、可視化を主目的としたクラウドサービスです。

ゲートウェイ端末は、Modbus/TCPサーバー機能またはMCプロトコルサーバー機能(4Eフレーム)を持つ任意の機器(以降「外部機器」とします)と通信し、データを収集します。データ閲覧には、Webブラウザを使用します。



## 2. 動作環境

動作環境は次のとおりです。

項目		内容
OS		Windows
		iOS
		Android
Webブラウザ	ソフト	Google Chrome
		Mozilla Firefox
		Safari
	スクリプト	有効である(初期設定では、有効です)
	ファイルダウンロード	許可されている(初期設定では、許可されています)
	SSL2.0の利用	許可されている(初期設定では、許可されています)

### 3. 関連マニュアルのご案内

SG1A形に関連するマニュアルは以下のとおりです。必要に応じてご活用ください。

名称	用途	内容
SG1A形取扱説明書	ゲートウェイ端末のご使用前に必ずお読みください。	ゲートウェイ端末をご使用になる前に同梱品を確認、注意いただくことについて説明しています。
SG1A形スタートアップガイド	ゲートウェイ端末と本サービスを始めて使用する時にお読みください。	本サービスおよびゲートウェイ端末を初めて使用する時に必要な手順、および最低限の動作確認手順について説明しています。
SG1A形リファレンスマニュアル（本書）	本サービスを運用する時にお読みください。	本サービスの機能、設定などサービスに関する説明をしています。

各種マニュアルは、以下のURLよりダウンロードできます。

<https://product.idec.com/?product=SG1A>

### 4. 本書の内容

本書では、以下の内容を記載しています。

#### 管理メニュー

（※：管理者のみ利用可能の場合○）

項目名	機能概要	※	
ユーザー	一般ユーザーアカウントの登録を行います。	○	
ゲートウェイ端末	ゲートウェイ端末の登録を行います。	○	
設備	グループ	グループを管理します。	○
	ダッシュボード	ダッシュボードを設定します。	○
グラフ	グラフを設定します。	○	
メール通知	異常メールを通知するメールアドレスを設定します。	○	
イベント	イベント	監視・通知を行うためのイベントを設定します。	○
	イベントメッセージ	監視・通知を行う時に使用するイベントのメッセージを設定します。	○
	イベントレベル設定	監視・通知を行う時に使用するイベントのレベルを設定します。	○
	状態表示	イベントの状態表示を設定します。	○
リモート	パッケージ登録	リモート更新で使用するパッケージを登録します。	○
	リモート更新	リモート更新を設定します。	○
カスタムモニタ	表示パーツを組み合わせて自由な画面を作成できます。	○	

## ユーザーメニュー

(※：管理者のみ利用可能な場合○)

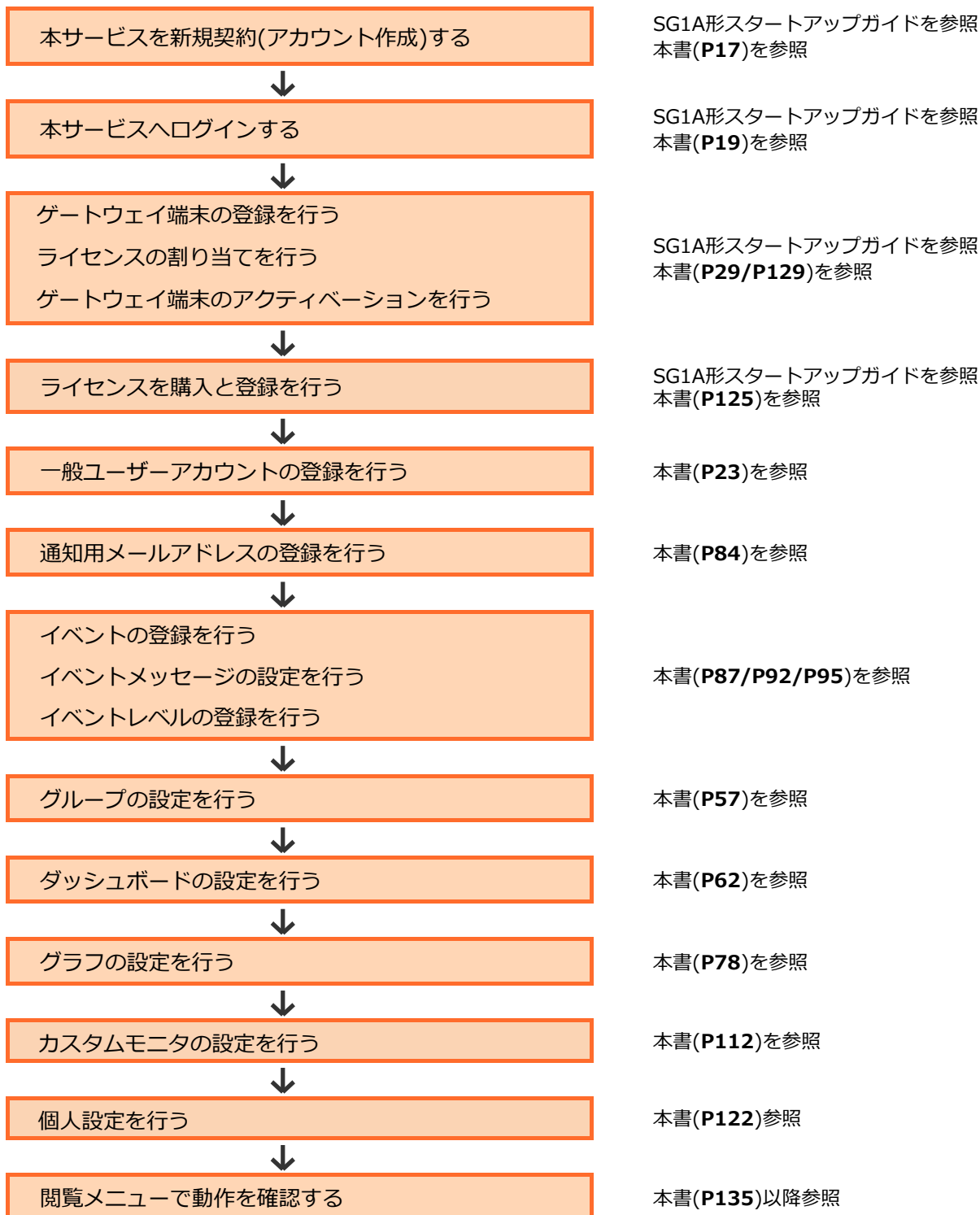
項目名	機能概要	※
アカウント詳細	ユーザー情報を設定します。	
個人設定	ホーム画面に表示する内容を設定します。	
システム設定	画面上部(ヘッダー)を設定します。	○
ライセンス管理	ライセンスを管理します。	○
ログイン履歴	ユーザーのログイン履歴を表示します。	
設定変更の履歴	ユーザーの本サービス上の操作履歴を表示します。	
ログアウト	ログアウトします。	

## 閲覧メニュー

項目名	機能概要	
ホーム	ホーム画面を表示します。	
ダッシュボード	ダッシュボードを表示します。	
計測データ	表	収集したデータを表で表示します。
	グラフ	収集したデータをグラフで表示します。
	ダウンロード	収集したデータをCSV形式でダウンロードします。
イベント	イベント履歴	発生したイベントの履歴を表示します。
	イベント状態一覧	イベントの状態一覧を表示します。
ゲートウェイ端末状態	登録されているゲートウェイ端末との通信状態等を表示します。	
カスタムモニタ	管理メニューのカスタムモニタで設定したページを表示します。	

## 2. 設定から使用までの流れ

本サービスを使用できるようにするまでの、主な作業の流れは以下のとおりです。本書と合わせてSG1A形スタートアップガイドを参照してください。



※本サービスを使用する環境やご使用のシステムの種類などによって、使用までの流れは異なる場合があります。

## 3. データの保持期間

本サービスでは、ゲートウェイ端末から送信された計測データを以下の期間保持します。以下の期間を過ぎたデータは自動的に本サービスから削除されますので、必要に応じてバックアップをとってください。計測データのダウンロード方法について『計測データのダウンロード(P143)』を参照してください。

- 分データ：2年
- 10分データ：2年
- 30分データ：2年
- 時データ：5年
- 日データ：15年
- 月データ：15年
- 年データ：15年

本サービスでは、以下の各種データを以下の期間保持します。以下の期間を過ぎたデータは自動的に本サービスから削除されます。

- イベント履歴：2年
- ログイン履歴：2年
- 設定変更の履歴：2年

# 基本操作

本サービスの基本操作について説明します。

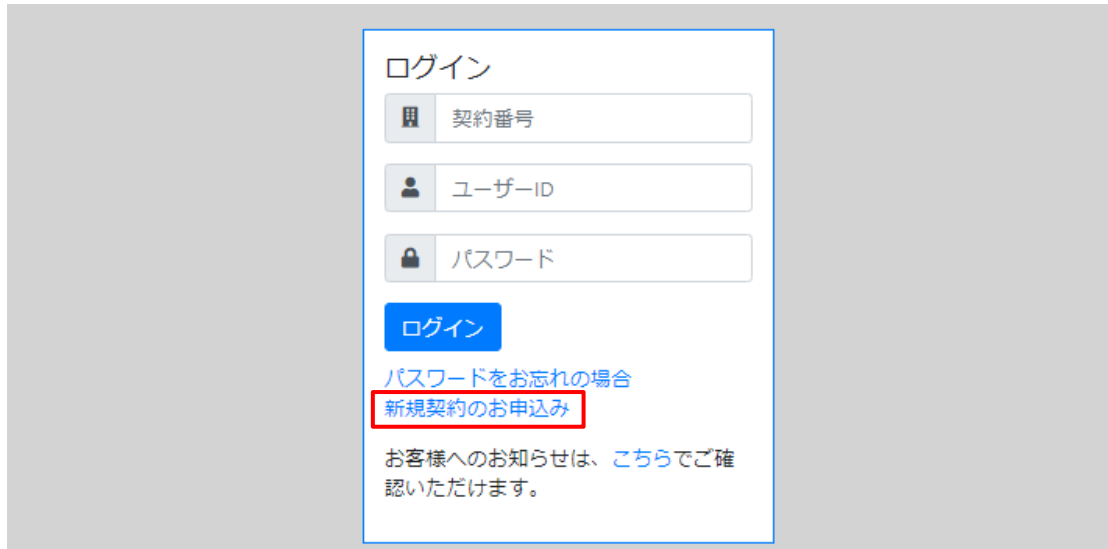


# 1. 新規契約(管理者を作成)する

管理者を次の手順で作成します。

- 1 下記URLにアクセスし、[新規契約のお申込み]をクリックします。

<https://sidegateview.conprosys.cloud/login>



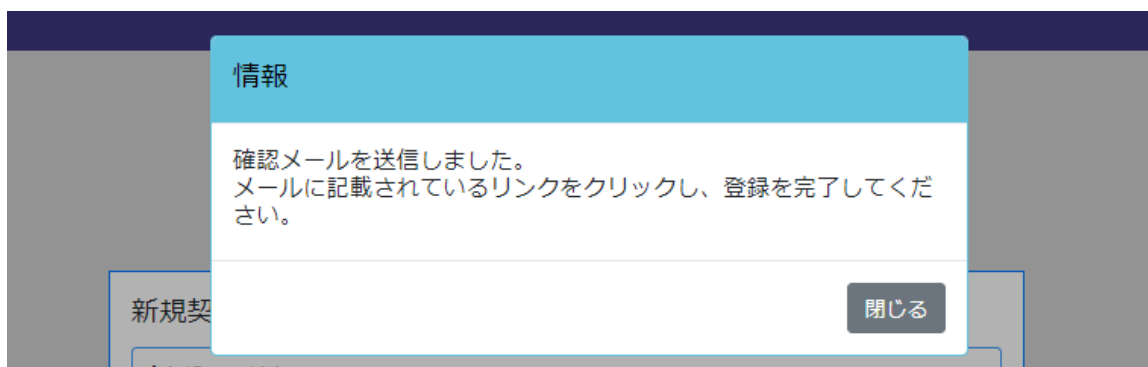
The screenshot shows a login form titled "ログイン" (Login). It contains three input fields: "契約番号" (Contract Number), "ユーザーID" (User ID), and "パスワード" (Password). Below the fields is a blue "ログイン" (Login) button. Underneath the button, there is a link "パスワードをお忘れの場合" (If you forgot your password) and a link "新規契約のお申込み" (New Contract Application), which is highlighted with a red box. At the bottom, there is a note: "お客様へのお知らせは、こちらでご確認いただけます。" (You can check the notice to our customers here.)

- 2 新規契約のお申込み画面が表示されます。[言語]および[メールアドレス]を設定し、[「クラウドサービス利用規約」に同意する]をチェックした後、[申し込み]をクリックします。



The screenshot shows the "新規契約のお申込み" (New Contract Application) page. At the top, there is a progress bar titled "申し込みの流れ" (Application Process) with four steps: ①利用申し込み (Application), ②メール確認 (Email Confirmation), ③ログイン情報の連絡 (Contact Login Information), and ④ご利用開始 (Start Using). The first step is highlighted with a red box. Below the progress bar is a "注意事項" (Important Notice) section with three bullet points. The main form area is highlighted with a red box and contains a "言語" (Language) dropdown menu, an "メールアドレス" (Email Address) input field, and a checkbox for "「クラウドサービス利用規約」に同意する" (I agree to the Cloud Service Terms of Use). Below the form are two buttons: "申し込み" (Apply) and "戻る" (Back).

- 3** 申し込みが完了すると下記画面が表示されます。設定したメールアドレスへメールが送信されますので、記載の案内に従い登録を完了してください。



- 4** メールアドレスの登録完了画面が表示されます。

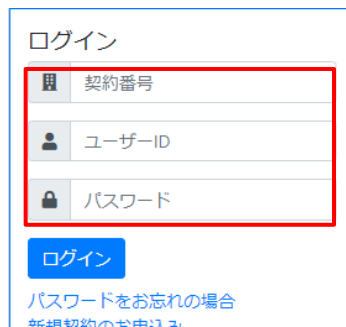


- 5** 新規アカウントが作成されると、登録完了メールが送信されます。

## 2. ログインする

以下の手順でログインします。

- 1 登録完了メールに記載されているURLにアクセスします。ログイン画面が開きます。
- 2 登録完了メールに記載されている**契約番号**と**ユーザーID**、**パスワード**を入力し、**[ログイン]**ボタンをクリックします。  
一般ユーザーの方は管理者に契約番号とユーザーID、初期パスワードを確認してください。

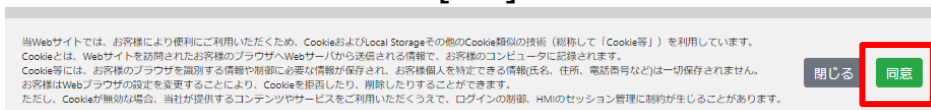


ログイン画面のスクリーンショット。契約番号、ユーザーID、パスワードの入力欄とログインボタンが赤い枠で囲まれている。パスワードをお忘れの場合、新規契約のぞち123とある。

- 3 ログイン認証に成功すると、ホーム画面が表示されます。初めてのログインする場合はパスワード変更画面が表示されますので、パスワード変更を行ってください。

### 補足情報

- 本サービスでは画面表示のためにCookie等を利用しています。ログイン後、画面下部に以下のような同意画面が表示されますので、内容をご確認の上**[同意]**をクリックしてください。



- 本サービスでは、ログインしてから一定時間経過した場合、または認証情報が最新ではない場合、自動的にログアウトし、以下の画面を表示します。**[ログイン画面に戻る]**ボタンをクリックすると、ログイン画面が表示されますので、再度ログインを行ってください。





ログインする必要があります。  
ログインしていない、もしくはタイムアウトしました。  
ログイン画面より再度ログインを行ってください。

ログイン画面に戻る

- 「契約番号およびユーザーIDが正しく、パスワードのみが不正である」というログインの失敗が1日のうちに一定回数繰り返された場合、当該ユーザーIDのユーザーをロックし、1日間ログインを禁止します。ロックされたユーザーが管理者の場合、ロックを解除するには、パスワードを変更します。ロックされたユーザーが一般ユーザーの場合、ロックを解除するには、パスワードを変更するか、管理者がロック解除します。ロック解除について『**ユーザーを編集する(P25)**』を参照してください。なお、いずれの場合も、1日経過後はロックが解除されます。

## 3. 画面の基本構成

画面上部(ヘッダー)にはメニューのアイコンが表示されます。各アイコンの説明は次のとおりです。

アイコン	名前	説明
	閲覧メニュー	表示に関するメニュー群を表示します。
	管理メニュー	ゲートウェイ端末・イベント等の遠隔監視機能の設定に関するメニュー群を表示します。本アイコンは管理者の場合のみ表示されます。
	ユーザーメニュー	ユーザーやライセンスに関する設定メニュー群を表示します。
	ヘルプメニュー	次のページを開きます。製品資料、各種マニュアルを確認できます。 <a href="https://product.idec.com/?product=SG1A">https://product.idec.com/?product=SG1A</a>

メニュー下部に表示される内容は機能ごとに異なります。詳細について各機能についての説明を参照してください。

# 管理メニュー

ユーザー、ゲートウェイ端末、グループ、イベント等の管理を行うときの手順について説明します。本章で紹介する機能は、管理者のみ利用可能です。

# 1. ユーザーの設定を行う

この章では、ユーザーを設定するための手順を説明します。

ユーザーとは、管理者または一般ユーザーです。管理者はSideGateView上のすべての操作を行えますが、一般ユーザーは利用可能な機能が制限されます。管理者のみ利用可能な機能の一覧について『**本書の内容(P12)**』を参照してください。

管理者は1つの契約番号につき1人のみで、一般ユーザーを追加、変更、および削除できます。ユーザー数は最大5人までですが、オプション契約（カスタムモニタ画面拡張）（SG9Y-SJPAH01）またはオプション契約（グラフ拡張）（SG9Y-SJPAG01）ライセンスを1つ購入するごとに追加可能なユーザー数が1増えます。

ライセンスについて『**ライセンスを管理する(P124)**』を参照してください。

本章の機能は、管理者のみ利用可能です。

ユーザー一覧画面は以下の手順で表示できます。

## 1 をクリックすると管理メニューが表示されます。

管理メニューから[ユーザー]をクリックします。



## 2 ユーザー一覧画面が表示されます。



設定項目	設定内容
ユーザーID	ユーザーIDを表示します。
ユーザー名	ユーザー名を表示します。
メールアドレス	メールアドレスを表示します。
ユーザー状態	以下のいずれかを表示します。 ・有効：ログイン可能です。 ・ユーザーロック：ロックされています。
最終ログイン日時	ユーザーがログインした最終日時を表示します。
作成日時	ユーザーを作成した日時を表示します。
利用開始日時	ユーザーが初回ログインをした日時を表示します。
更新日時	ユーザー情報を更新した日時を表示します。
備考	ユーザーに関する備考情報を表示します。

# 1. ユーザーを登録する

1 ユーザー一覧画面が表示されるので[新規登録]ボタンをクリックします。

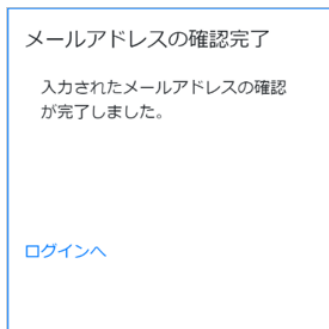


2 ユーザー設定画面が表示されるので、ユーザー情報を入力して[登録]ボタンをクリックしてください。

※この段階ではユーザー登録は完了していません。

設定項目	必須	設定内容
ユーザーID	○	ログイン時に利用するユーザーIDを、半角英数字で3～30文字で入力してください。
ユーザー名	○	ユーザー名を入力してください。30文字まで入力できます。
メールアドレス	○	メールアドレスを入力してください。50文字まで入力できます。
パスワード	○	初期パスワードを入力してください。8～20文字でかつ大文字、小文字、数字、記号のうち3種類以上を使用してください。
パスワード確認	○	もう一度パスワードを入力してください。
言語	○	言語を日本語、Englishから選択してください。
ログインの監視	ログイン通知	このユーザーIDでログインがあったことをメールで通知する場合、 <input checked="" type="checkbox"/> に設定してください。
	ログイン失敗回数の監視	このユーザーIDでのログインがロックされたことをメールで通知する場合、 <input checked="" type="checkbox"/> に設定してください。ロックについて『 <b>ログインする(P19)</b> 』を参照してください。
	監視の基準時間	ログイン失敗回数の監視は0時から24時の間行われます。[ <b>ログイン失敗回数の監視</b> ]を <input checked="" type="checkbox"/> に設定する場合、左記0時がどの標準時での0時かを指定してください。
備考		備考を200文字まで入力できます。

- 3 入力頂いたメールアドレスに登録確認メールが送信されます。  
メールに添付されたURLにアクセスしてください。
- 4 URLにアクセスして下記画面が表示されるとユーザー登録完了となります。



- 5 本サービスご利用のユーザー人数分、項目番号1~4を行ってください。



## 2. ユーザーを編集する

- 1 ユーザー一覧画面から内容を変更したいユーザーIDをクリックします。
- 2 ユーザー設定画面が表示されるので、ユーザー情報を変更して[登録]ボタンをクリックしてください。

設定 > ユーザー > 詳細設定

ユーザーID

ユーザー名

メールアドレス

言語

ログイン通知

不正ログインの監視

ログイン失敗回数の監視  ※0~24時ログイン失敗回数を監視します。

監視の基準時間

備考

設定項目	必須	設定内容
ユーザーID		『ユーザーを登録する(P23)』を参照してください。
ユーザー名		
メールアドレス		
パスワード		
パスワード確認		
言語		
不正ログイン監視		
備考		
ロック解除		ロックを解除します。当該ユーザーの[状態]がユーザーロックの場合のみ有効です。
再送		新規ユーザー作成やメールアドレスを変更した場合に送信される「メールアドレスの確認メール」のリンク有効期限切れの際に、メールを再送できます。

## 3. ユーザーを削除する

- 1 ユーザー一覧画面から削除したいユーザーIDをクリックします。
- 2 ユーザー設定画面が表示されるので、**[削除]**ボタンをクリックしてください。

設定 > ユーザー > 詳細設定


ユーザーID	admin
ユーザー名	管理者
メールアドレス	<masked>
言語	日本語
不正ログインの監視	<input type="checkbox"/> ログイン通知
	<input type="checkbox"/> ログイン失敗回数の監視 ※0~24時ログイン失敗回数を監視します。
	監視の基準時間 (UTC+09:00) 大阪、札幌、東京
備考	

## 2. ゲートウェイ端末の設定を行う

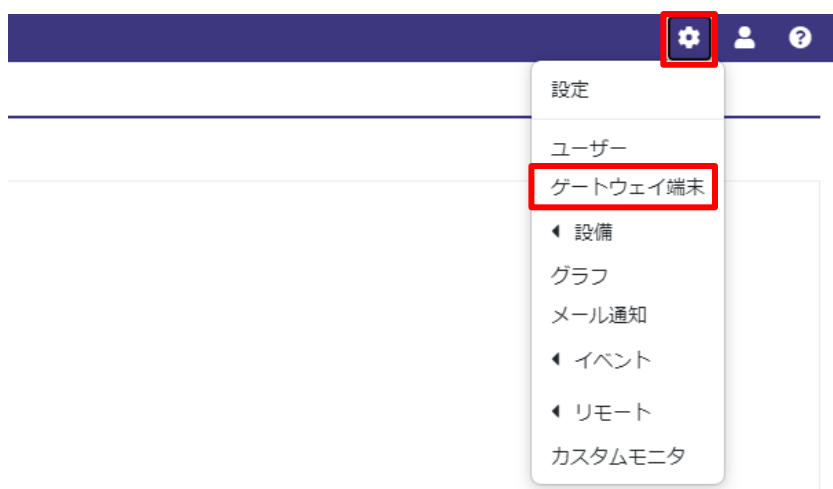
この章では、ゲートウェイ端末を設定するための手順を説明します。ゲートウェイ端末は、最大200台まで登録できます。

本章の機能は、管理者のみ利用可能です。

ゲートウェイ端末の一覧画面は以下の手順で表示できます。

**1**  をクリックすると管理メニューが表示されます。

管理メニューから[ゲートウェイ端末]をクリックします。



**2** ゲートウェイ端末一覧画面が表示されます。



設定 > ゲートウェイ端末

[+ 新規登録](#)
[編集](#)
[削除](#)
[PLCプログラム更新設定](#)
[外部通信](#)
[遠隔診断](#)
[遠隔制御](#)

IoT/LTE Gateway

10

No.	状態	ゲートウェイ端末名	表示名称	作成日時	更新日時	シリアル番号	バージョン	ゲートウェイ端末ID	備考
1	計測待機中	Gateway-1	Gateway-1	2022/02/25 13:58	2022/02/25 14:05		2.0.0		

設定項目	設定内容
(チェックボックス)	ゲートウェイ端末を選択する場合にチェックを入れます。
No.	連番を表示します。
状態	<p>左側に、本サービスとゲートウェイ端末との通信状態として以下のいずれかを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計測待機中：ゲートウェイ端末にサービス利用基本契約（SG1A-SJP0001）ライセンスを割り当て済ですが、外部通信が設定されていません。</li> <li>・正常：ゲートウェイ端末にサービス利用基本契約（SG1A-SJP0001）ライセンスを割り当て済であり、本サービスとの通信、および外部機器との通信が正常に行われています。</li> <li>・通信途絶：ゲートウェイ端末にサービス利用基本契約（SG1A-SJP0001）ライセンスを割り当て済ですが、本サービスとの通信が失敗しています。</li> <li>・要アクティベーション：ゲートウェイ端末の登録のみ行われました。アクティベーションが完了していません。</li> <li>・ライセンス期限切れ：アクティベーション後に自動的に付与される1ヶ月の試用期間が終了しています。または、サービス利用基本契約（SG1A-SJP0001）ライセンスが期限切れです。</li> <li>・ライセンス未割当：アクティベーション後に自動的に付与される1ヶ月の試用期間中です。サービス利用基本契約（SG1A-SJP0001）ライセンスをゲートウェイ端末に割り当ててください。</li> <li>・外部機器途絶：ゲートウェイ端末にサービス利用基本契約（SG1A-SJP0001）ライセンスを割り当て済であり、本サービスとの通信は正常に行われていますが、外部機器との通信が失敗しています。</li> </ul> <p>計測待機中、正常、通信途絶、または外部機器途絶の場合、右側に、遠隔制御が可能であることを  で、不可であることを  で表示します。遠隔制御について『<a href="#">遠隔制御を行う(P45)</a>』を参照してください。</p> <p>列ヘッダーの右側をクリックすると、メニューが表示され、上記いずれかの状態でゲートウェイ端末をフィルタリングできます(複数選択可)。</p>
表示名称	ゲートウェイ端末の表示名称を表示します。
作成日時	ゲートウェイ端末を作成した日時を表示します。
更新日時	ゲートウェイ端末を更新した日時を表示します。
シリアル番号	ゲートウェイ端末のシリアル番号を表示します。
バージョン	ゲートウェイ端末のファームウェアのバージョンを表示します。
ゲートウェイ端末ID	ゲートウェイ端末のゲートウェイ端末IDを表示します。
備考	備考を表示します。

# 1. ゲートウェイ端末を登録する

1 「ゲートウェイ端末設定」画面から[新規登録]ボタンをクリックします。

設定 > ゲートウェイ端末

+ 新規登録

編集

削除

PLCプログラム更新設定

外部通信

遠隔制御

遠隔制御履歴

2 ゲートウェイ端末詳細設定画面が表示されるので、情報を入力して[登録]ボタンをクリックします。

設定 > ゲートウェイ端末 > 詳細設定

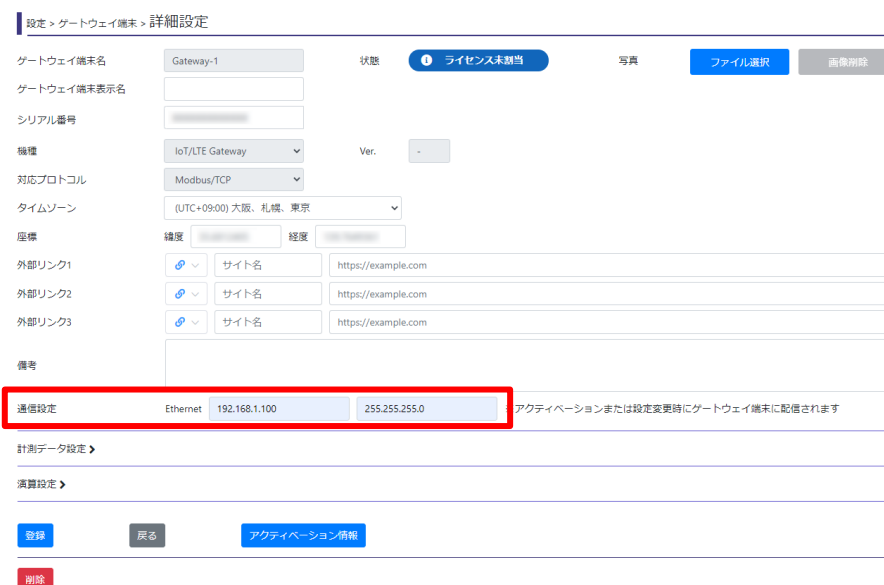
ゲートウェイ端末名	<input type="text"/>	写真	<input type="button" value="ファイル選択"/>	<input type="button" value="画像削除"/>
ゲートウェイ端末表示名	<input type="text"/>			
シリアル番号	<input type="text"/>			
機種	<input type="text" value="IoT/LTE Gateway(V)"/>			
タイムゾーン	<input type="text" value="(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京"/>			
座標	経度 <input type="text"/>	緯度 <input type="text"/>		
外部リンク1	<input type="button" value="リンク追加"/>	XXXサイト	<input type="text" value="https://xxx.yyy.zzz"/>	
外部リンク2	<input type="button" value="リンク追加"/>	XXXサイト	<input type="text" value="https://xxx.yyy.zzz"/>	
外部リンク3	<input type="button" value="リンク追加"/>	XXXサイト	<input type="text" value="https://xxx.yyy.zzz"/>	
備考	<input type="text"/>			

設定項目	必須	設定内容
ゲートウェイ端末名	○	ゲートウェイ端末の名称を入力してください。32文字まで入力できます。設定後、変更できません。
写真		[ファイル選択]をクリックし、画像を登録できます。登録された画像は、ダッシュボードのカード「マップ」で表示します。拡張子png/jpeg/gifの画像が利用可能です。[画像削除]をクリックすると、登録した画像を削除できます。
ゲートウェイ端末表示名		画面上で表示するゲートウェイ端末の名称を50文字まで入力できます。設定しない場合、ゲートウェイ端末名を画面上に表示します。
シリアル番号	○	ゲートウェイ端末側面のシールに記載の「S/N(13桁)」を入力してください。
機種	○	IoT/LTE Gatewayが選択されます(変更できません)。
対応プロトコル	○	このゲートウェイ端末が外部機器とどのプロトコルで通信するかを次の中から選択してください(変更できません)。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Modbus/TCP</li> <li>・ MCプロトコル4E(バイナリ)</li> <li>・ MCプロトコル4E(ASCII)</li> </ul>
タイムゾーン	○	ゲートウェイ端末のタイムゾーンを選択してください。
座標		ゲートウェイ端末の設置場所の座標を入力できます。設定した座標は、ダッシュボードのカード「マップ」で使用されます。
外部リンク1 外部リンク2 外部リンク3		アイコンを選択し、サイト名、URLを入力できます。設定した外部リンクは、ダッシュボードの表エリアで使用されます。
備考		ゲートウェイ端末に関する備考情報を入力できます。

- 3 ゲートウェイ端末一覧画面からゲートウェイ端末名部分をクリックします。  
 または、設定したいゲートウェイ端末をチェックして[編集]ボタンをクリックします。



- 4 通信設定が追加表示されます。ゲートウェイ端末のIPアドレスとサブネットマスクを入力します。




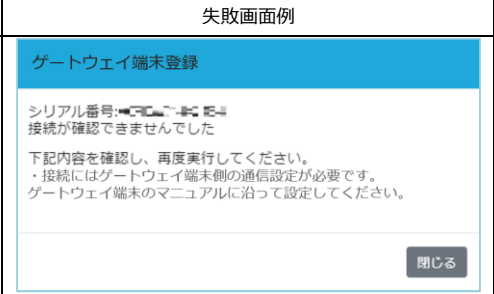
- 5 アクティベーション作業を行う場合、[アクティベーション情報]ボタンをクリックしてください。



- 6 ゲートウェイ端末のアクティベーション(登録確認)が行われます。  
 受付時間内に画面に表示される指示に従って、ゲートウェイ端末本体を操作してください。



- 7 アクティベーションが成功すると登録成功画面が表示されますので、**[閉じる]**ボタンをクリックします。登録が失敗すると登録失敗画面が表示されます。画面の表示内容に沿って、設定を確認してください。

成功画面例	失敗画面例
	

- 8 ゲートウェイ端末詳細設定画面の**[登録]**ボタンをクリックします。  
登録が完了すると、ゲートウェイ端末一覧画面に戻ります。



#### 補足情報

- ゲートウェイ端末の登録後、「そのゲートウェイ端末と本サービスの通信状態が通信途絶になった時に発生し、正常に戻った時に復旧するイベント」が追加されます。このイベントは削除できません。また、このイベントのイベントメッセージは変更できません。イベントについて『**イベント設定を行う(P87)**』を参照してください。
- ゲートウェイ端末のアクティベーション完了後、当該ゲートウェイ端末に1ヶ月の試用ライセンスが自動的に設定されます。1ヶ月の試用期間中に、サービス利用基本契約（SG1A-SJP0001）ライセンスを当該ゲートウェイ端末に割り当ててください。1ヶ月の試用期間を過ぎると、当該ゲートウェイ端末は使用不可になります。ライセンスについて『**ライセンスを管理する(P124)**』を参照してください。

## 2. 計測データを設定する

外部通信で設定した計測データの各点に対して、表示名称等を設定できます。

計測データを設定するには、まず外部通信設定を行う必要があります。外部通信設定については『**外部通信設定(デバイス設定更新)を行う(P40)**』を参照してください。

### 1 詳細設定画面の[計測データ設定]の行をクリックします。



### 2 計測データの一覧が表示されます。項目ごとに情報を入力します。



設定項目	必須	設定内容
No.		連番を表示します。
ID		計測データ設定のIDを表示します。 外部機器設定のIDに続けて、そのID内の各点を示す0から始まる連番をコロン区切りで表示します。
名称		名称を表示します。
表示名称		計測項目の表示名称を最大20文字まで入力できます。 計測データを表に表示する場合、表の列ヘッダーに表示名称を表示します。
計測データ表示		計測データを表に表示する場合、 <input checked="" type="checkbox"/> に設定してください。
単位		計測項目の単位を最大10文字まで入力できます。 計測データを表に表示する場合、表の列ヘッダーに単位を表示します。
工業値変換		計測データを工業値変換する場合の各係数を入力できます。詳細は『設定項目の詳細(工業値変換)(P34)』を参照してください。
小数桁数		小数桁数を0桁から5桁の間で選択してください。
タイプ		計測データを表に表示する場合、選択した時間単位内のデータをどう表示するかについて次の中から選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・瞬時：選択した時間単位内のデータのうち最新の値を表示します。</li> <li>・平均：選択した時間単位内のデータの平均値を表示します。</li> <li>・積算：選択した時間単位内のデータの積算値を表示します。</li> <li>・最大：選択した時間単位内のデータのうち最大の値を表示します。</li> <li>・最小：選択した時間単位内のデータのうち最小の値を表示します。</li> </ul>
備考		ゲートウェイ端末に関する備考を入力できます。




- 3** 設定入力が完了したあとは、画面下部の**【登録】**ボタンをクリックします。  
登録完了すると、「ゲートウェイ端末一覧」画面に戻ります。



設定した内容は計測データ(表)に反映されます。計測データ(表)の表示方法について、『**計測データ(表)の表示(P139)**』を参照してください。



## 3. 設定項目の詳細(工業値変換)

**1** 工業値を使用すれば、計測データを $y=ax+b$ の計算式に変換することが可能になります。

[]をクリックします。変換ツールが表示されます。

通信設定      Ethernet    XXXXXX.XXX.XXX    255.255.255.0    ※アクティベーションまたは設定変更時にゲートウェイ端末に配信されます

計測データ設定 ▾

No.	ID	名称	表示名称	計測データ表示	単位	工業値変換	小数桁数	タイプ	備考
1	I:0:0	デジタル入力1		<input checked="" type="checkbox"/>		Y= <input type="text"/> x+ <input type="text"/> 	0桁 ▾	瞬時 ▾	
2	I:1:0	デジタル入力2		<input checked="" type="checkbox"/>		Y= <input type="text"/> x+ <input type="text"/> 	0桁 ▾	瞬時 ▾	
3	X:0	乱数変更済		<input checked="" type="checkbox"/>		Y= <input type="text"/> x+ <input type="text"/> 	0桁 ▾	瞬時 ▾	
4	M:0:C	乱数変更済		<input checked="" type="checkbox"/>		Y= <input type="text"/> x+ <input type="text"/> 	0桁 ▾	瞬時 ▾	
5	M:1:C	乱数変更済		<input checked="" type="checkbox"/>		Y= <input type="text"/> x+ <input type="text"/> 	0桁 ▾	瞬時 ▾	
6	M:2:C	乱数変更済		<input checked="" type="checkbox"/>		Y= <input type="text"/> x+ <input type="text"/> 	0桁 ▾	瞬時 ▾	

演算設定 >

登録    戻る    アクティベーション情報

削除

**2** 任意の変換方法を選択し、[反映]ボタンをクリックしてください。 $y=ax+b$ の計算式に変換し反映されます。

※ 変換式が空欄の場合、計測データがそのまま保存されます。

※ 工業値変換後の値のみ保存され、計測データ値は上書きされます。

**変換ツール**

変換方法

角度     4-20mA変換     0-5V変換     その他

角度     °    ~     °

値        ~   

Y=  x+

**反映**    閉じる

## 4. 演算を設定する

外部通信で設定した計測データに任意の演算を行うことができます。計測データの値の範囲に応じて演算式を切り替えて演算することもできます(例えば、電流量に応じて力率を切り替えて電力量を計算するような場合などに活用できます)。演算式は演算設定で設定します。

計測データを設定するには、まず外部通信設定を行う必要があります。外部通信設定については『**外部通信設定(デバイス設定更新)を行う(P40)**』を参照してください。

演算設定画面は次の手順で表示できます。

### 1 詳細設定画面の[演算設定]の行をクリックします。

備考

通信設定 Ethernet XXXXXXXXXX 255.255.255.0 ※アクティベーションまたは設定変更時にゲートウェイ端末に配信されます

計測データ設定 >

**演算設定 >**

登録 戻る アクティベーション情報

削除

### 2 演算を追加する場合は[演算追加]をクリックします。

演算設定 ▾

**演算追加** 演算削除 | 移動 ↑ ↓

No.	ID	名称	演算式 1	演算式 2	単位	レンジ 1	レンジ 2	少数桁	タイプ	備考
-----	----	----	-------	-------	----	-------	-------	-----	-----	----

登録 戻る アクティベーション情報

削除

### 3 演算設定画面が表示されます。

設定 > ゲートウェイ > 詳細設定 > 演算

名称  小数桁数 0 単位  線の種類 範囲値

入力計測データ

備考

演算式 1

入力範囲 以上  未満

式

丸め込み 下取  下取未満の場合  上取  上取以上の場合

演算式 2

入力範囲 以上  未満

式

丸め込み 下取  下取未満の場合  上取  上取以上の場合

登録 戻る

設定項目		必須	設定内容	
名称		○	演算の名称を入力してください。最大20文字まで入力できます。	
少数桁数			少数桁数を0から5の間で選択してください。	
単位			単位を最大10文字まで入力できます。	
締め種類			<p>演算結果を計測データの表に表示する場合、選択した時間単位内のデータそれぞれに対する演算結果をどう表示するかについて次の中から選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・瞬時：選択した時間単位内のデータに対する演算結果のうち最新の値を表示します。</li> <li>・平均：選択した時間単位内のデータに対する演算結果の平均値を表示します。</li> <li>・積算：選択した時間単位内のデータに対する演算結果の積算値を表示します。</li> <li>・最大：選択した時間単位内のデータに対する演算結果のうち最大の値を表示します。</li> <li>・最小：選択した時間単位内のデータに対する演算結果のうち最小の値を表示します。</li> </ul>	
入力計測データ		○	入力範囲(後述)で参照する計測データを選択してください。	
備考			備考情報を入力できます。	
式1 式2	入力範囲		<p>入力計測データの値の範囲を-9999999999.99999~9999999999.99999の間で指定できます。入力計測データがこの範囲内の場合に式(後述)で設定した演算を行います。</p> <p>任意の数値以上を指定する場合、右側を空欄にします。</p> <p>任意の数値未満を指定する場合、左側を空欄にします。</p> <p>すべての範囲を指定する場合、両側を空欄にします。</p> <p>入力計測データの値が式1および式2の入力範囲内である場合、式1の演算を行います。</p> <p>入力計測データの値が式1および式2の入力範囲外である場合、空データを演算結果とします。</p>	
	式		<p>演算の式を入力してください。最大200文字まで入力できます。利用可能な文字、数値、表記、および演算子は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計測データを示す文字列(後述)</li> <li>・数値(±9999999999.99999 まで)</li> <li>・16進数 (符号なし数値の前に0xを付加)</li> <li>・四則演算子: 「+(加算)」 「-(減算)」 「*(乗算)」 「/(除算)」</li> <li>・余算: 「%(余算)」</li> <li>・論理演算子: 「&amp;(論理積)」 「 (論理和)」</li> <li>・論理シフト: 「&gt;&gt;」 「&lt;&lt;」</li> <li>・演算優先度記号: 「(」 「)」 ※ ペアになること</li> <li>・システム変数: 「name」 「time」 「t」 「w」 「v」</li> </ul> <p>ダブルクォートのペア、およびその内側はコメントとして扱われます。コメント内にダブルクォートを使用できません。</p> <p><b>[データ選択]</b>ボタンをクリックすると「項目選択」画面が表示されます。ID選択後に<b>[追加]</b>をクリックすると、計測データ(複数選択時はそれらの和)を示す文字列が式に挿入されます。</p>	
	丸め込み	下限		演算結果の下限を入力できます。
		下限未満の場合		演算結果が <b>[下限]</b> で設定した値未満の場合、ここで設定した値に変更します。
丸め込み	上限		演算結果の上限を入力できます。	
	上限以上の場合		演算結果が <b>[上限]</b> で設定した値以上の場合、ここで設定した値に変更します。	

4 設定入力が完了したあと、画面下部の[登録]ボタンをクリックします。

入力範囲 以上 ~ 未満

式  データ選択

丸め込み 下限  下限未満の場合  上限  上限以上の場合

登録 戻る

5 演算を編集する場合は、編集する演算の[名称]をクリックしてください。

演算設定 ▾

演算追加 演算削除 | 移動 ↑ ↓

No.	ID	名称	演算式 1	演算式 2	単位	レンジ 1	レンジ 2
<input type="checkbox"/>	1	CX:1	演算01		<input type="text"/>	----	----

6 演算設定画面が表示されますので、各項目を入力して[更新]ボタンをクリックします。

丸め込み 下限  下限未満の場合  上限  上限以上の場合

更新 戻る

7 演算を削除する場合は、削除する演算にチェックして、[演算削除]ボタンをクリックします。

演算設定 ▾

演算追加 演算削除 | 移動 ↑ ↓

No.	ID	名称	演算式 1	演算式 2	単位	レンジ 1	レンジ 2
<input checked="" type="checkbox"/>	1	CX:1	演算01		<input type="text"/>	----	----

8 演算の表示順を変更する場合は、演算をチェックして[↑]/[↓]ボタンをクリックします。

演算設定 ▾

演算追加 演算削除 | 移動 ↑ ↓

No.	ID	名称	演算式 1	演算式 2	単位	レンジ 1	レンジ 2
<input checked="" type="checkbox"/>	1	CX:1	演算01		<input type="text"/>	----	----
<input type="checkbox"/>	2	CX:2	演算02		<input type="text"/>	----	----

## 5. ゲートウェイ端末を削除する

### 方法1

- 1 削除したいゲートウェイ端末のゲートウェイ端末名部分をクリックすると、ゲートウェイ端末の詳細設定画面が表示されます。



- 2 [削除]ボタンをクリックします。削除が完了すると、ゲートウェイ端末一覧画面に戻ります。

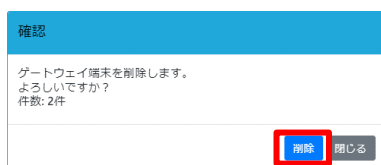


### 方法2

- 1 削除したいゲートウェイ端末をチェックして[削除]ボタンをクリックすると、確認画面が表示されます。



- 2 [削除]ボタンをクリックします。



## 6. PLCプログラム更新設定

この章では、FC6A Plus CPUモジュール(FC6A-D\*\*\*CEE。以降「Plus CPU モジュール」とします)とのFTP通信時に使用する情報を設定するための手順を説明します。ここで設定した内容は、ゲートウェイ端末からPLCプログラム更新を行う時に使用します。ゲートウェイ端末からのPLCプログラム更新について『**ゲートウェイ端末からPLCプログラムを更新する(P109)**』を参照してください。

**1** 対象のゲートウェイ端末にチェックを入れて、**[PLCプログラム更新設定]**ボタンをクリックします。



**2** PLCプログラム更新ファイル送信先の情報を項目に入力し、**[配信]**ボタンをクリックします。

設定 > ゲートウェイ端末[Gateway-1] > PLCプログラム更新設定

編集 編集中:ゲートウェイ端末に配信されていません

転送先  ポート

ユーザー名

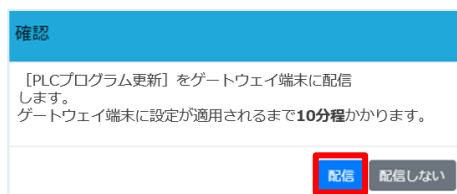
パスワード

転送先ディレクトリ

**配信** 戻る

設定項目	必須	設定内容
転送先	<input type="radio"/>	転送先Plus CPU モジュールのIPアドレスを入力してください。
ポート	<input type="radio"/>	転送先Plus CPU モジュールのポート番号を入力してください。
ユーザー名	<input type="radio"/>	FTPサーバーにアクセス可能なユーザーのユーザー名を入力してください。
パスワード	<input type="radio"/>	FTPサーバーにアクセス可能なユーザーのパスワードを入力してください。
転送先ディレクトリ	<input type="radio"/>	転送先のSDメモリカードフォルダーのフォルダーパスを入力してください。ルートディレクトリ("/")は指定できません。

**3** 確認メッセージボックスが表示されますので、**[配信]**ボタンをクリックして設定を配信します。



## 7. 外部通信設定(デバイス設定更新)を行う

この章では、ゲートウェイ端末の外部通信を設定するための手順を説明します。

ゲートウェイ端末は外部通信の設定に従い、1分毎に外部機器と通信を行い、結果を本サービスに送信します。接続可能な外部機器は1台までです。計測可能なデバイス点数の合計は最大100点までです。外部通信は、最大40件まで登録できます。

外部通信一覧画面は次の手順で表示できます。

### 1 対象のゲートウェイ端末にチェックを入れて、[外部通信]ボタンをクリックします。

設定 > ゲートウェイ端末

[+新規登録](#) [編集](#) [削除](#) [PLCプログラム更新設定](#) [外部通信](#) [遠隔制御](#) [遠隔制御履歴](#)

IoT/LTE Gateway

10

<input checked="" type="checkbox"/>	No.	状態	ゲートウェイ端末名	表示名称	作成日時	更新日時	シリアル番号
<input checked="" type="checkbox"/>	1	計測待機中	Gateway-1	Gateway-1	2022/02/25 13:58	2022/02/25 14:05	

### 2 外部通信一覧画面が表示されます。

設定 > ゲートウェイ端末(Gateway-1) > 外部通信

配信: 2022/02/25 14:05 (残り3件) 点数: 0/100

ID	通信方式	接続先	デバイス	開始アドレス	点数	タイプ
M:0						
M:1						
M:2						
M:3						
M:4						
M:5						
M:6						
M:7						
M:8						
M:9						

[配信](#) [戻る](#)



## 外部通信の登録を行う

### 1 外部通信一覧画面から登録したい設定のIDをクリックします。

設定 > ゲートウェイ端末[Gateway-1] > 外部通信

配送中 : 2022/02/25 14:05 (残り3件) 点数 : 0/100

ID	通信方式	接続先	デバイス	開始アドレス	点数	タイプ
M:0						
M:1						
M:2						
M:3						
M:4						
M:5						
M:6						
M:7						
M:8						
M:9						

配信 戻る

### 2 外部通信設定画面が表示されます。通信方式を設定してください。

設定 > ゲートウェイ端末[Gateway-1] > 外部通信 > 設定 [M:0]

通信方式

接続先

デバイス

開始アドレス

点数

タイプ

登録 戻る 通信詳細設定

### 3 各方式に合わせて必要な項目を入力して[登録]ボタンをクリックします。

登録完了すると、外部通信一覧画面に戻ります。

設定 > ゲートウェイ端末[Gateway-1] > 外部通信 > 設定 [M:0]

通信方式

接続先 IP:  Port:

デバイス

開始アドレス(DEC)

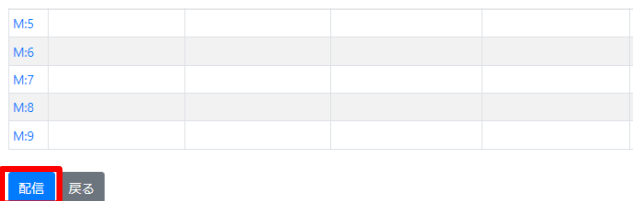
点数

タイプ

登録 戻る 通信詳細設定

設定項目	必須	設定内容
通信方式	<input type="radio"/>	<p>ゲートウェイ端末登録時に選択した<b>[対応プロトコル]</b>がModbus/TCPの場合、次の中から選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未選択</li> <li>・Modbus/TCP</li> </ul> <p>ゲートウェイ端末登録時に選択した<b>[対応プロトコル]</b>がMCプロトコル4E(バイナリ)の場合、次の中から選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未選択</li> <li>・MC プロトコル 4E(TCP/IP:バイナリ)</li> </ul> <p>ゲートウェイ端末登録時に選択した<b>[対応プロトコル]</b>がMCプロトコル4E(ASCII)の場合、次の中から選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未選択</li> <li>・MC プロトコル 4E(TCP/IP:ASCII)</li> </ul>
接続先	IP	<input type="radio"/> 接続先のIPアドレスを入力してください。
	Port	<input type="radio"/> 接続先のポート番号を入力してください。
	局番	<input type="radio"/> <b>[通信方式]</b> がModbus/TCPの場合、接続先の局番を入力してください。
デバイス	<input type="radio"/>	<p><b>[通信方式]</b>がModbus/TCPの場合、次の中から選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入力レジスタ</li> <li>・保持レジスタ</li> <li>・コイル</li> <li>・入カステータス</li> </ul> <p><b>[通信方式]</b>がMCプロトコル4E(TCP/IP:バイナリ)またはMCプロトコル4E(TCP/IP:ASCII)の場合、次の中から選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・D:データレジスタ</li> <li>・R:ファイルレジスタ</li> <li>・ZR:ファイルレジスタ</li> <li>・X:入力</li> <li>・Y:出力</li> <li>・M:内部リレー</li> <li>・L:リンクリレー</li> </ul>
オフセット	<input type="radio"/>	<b>[通信方式]</b> がModbus/TCPの場合、開始アドレスのオフセットを0~65535の間で設定してください。
開始アドレス (DEC)	<input type="radio"/>	<b>[通信方式]</b> がModbus/TCPの場合、計測するデバイスの開始アドレスが表示されます。 <b>[通信方式]</b> がMCプロトコル4E(TCP/IP:バイナリ)またはMCプロトコル4E(TCP/IP:ASCII)であり、かつ <b>[デバイス]</b> がD:データレジスタ、R:ファイルレジスタ、またはM:内部リレーの場合、計測するデバイスの開始アドレスを10進数で入力してください。
開始アドレス (HEX)	<input type="radio"/>	<b>[通信方式]</b> がMCプロトコル4E(TCP/IP:バイナリ)またはMCプロトコル4E(TCP/IP:ASCII)であり、かつ <b>[デバイス]</b> がZR:ファイルレジスタ、X:入力、Y:出力、またはL:リンクリレーの場合、計測するデバイスの開始アドレスを16進数で入力してください。
点数	<input type="radio"/>	<p>計測する点数を1~50の中から選択してください。</p> <p><b>[タイプ]</b>が32bit(LE)整数符号無、32bit(LE)整数符号有、32bit(BE)整数符号無、または32bit(BE)整数符号有の場合は、偶数のみ選択できます。</p>
タイプ	<input type="radio"/>	<p>タイプを次の中から選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・16bit整数符号無</li> <li>・16bit整数符号有</li> <li>・32bit(LE)整数符号無</li> <li>・32bit(LE)整数符号有</li> <li>・32bit(BE)整数符号無</li> <li>・32bit(BE)整数符号有</li> </ul> <p>本設定は、以下のいずれかの場合無視されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>[通信方式]</b>がModbus/TCPであり、かつ<b>[デバイス]</b>がコイルまたは入カステータスの場合</li> <li>・<b>[通信方式]</b>がMCプロトコル4E(TCP/IP:バイナリ)またはMCプロトコル4E(TCP/IP:ASCII)であり、かつ<b>[デバイス]</b>がX:入力、Y:出力、M:内部リレー、またはL:リンクリレーの場合</li> </ul>

## 4 [配信]ボタンをクリックします。



## 5 確認メッセージボックスが表示されますので、[配信]ボタンをクリックして設定を配信します。

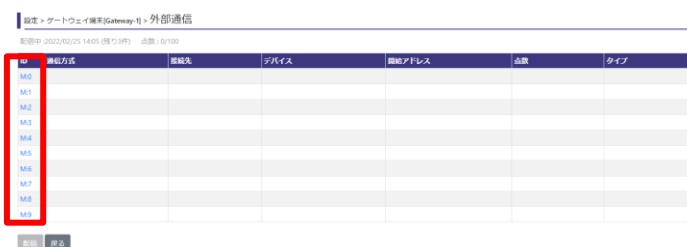


### 補足情報

- 外部通信を設定後、当該外部通信の状態(0:失敗、1:成功)を示す計測データIDが自動的に計測データ設定に追加されます。この計測データIDは末尾がCです(例：外部通信のIDがM:0の場合、M:0:Cです)。

## 外部通信の編集を行う

### 1 外部通信一覧画面から登録したい設定のIDをクリックします。

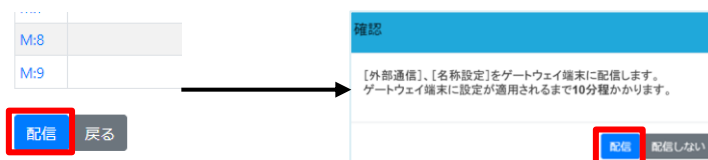


### 2 必要な項目を入力して[登録]ボタンをクリックします。

登録完了すると、外部通信一覧画面に戻ります。



[配信]ボタンをクリックします。確認メッセージボックスが表示されますので、[配信]ボタンをクリックして設定を配信します。



## 通信詳細設定(デバイス設定更新)を行う

ゲートウェイ端末の外部通信の名称の登録を行います。

### 1 外部通信設定の画面から、[通信詳細設定]ボタンをクリックします。

設定 > ゲートウェイ端末[Gateway-1] > 外部通信 > 設定 [M:0]

通信方式	MC プロトコル 4E(TCP/IP:バイナリ) ▼	
接続先	IP: 192.168.1.6	Port: 1025
デバイス	D:データレジスタ ▼	
開始アドレス(DEC)	0	
点数	8 ▼	
タイプ	16bit整数符号無 ▼	

### 2 名称設定画面が表示されますので、名称の入力を行います。最大 20 文字まで入力できます。

設定 > ゲートウェイ端末[Gateway-1] > 外部通信 > 設定 > 通信詳細設定 [M:0]

ID	名称
M:0:0	
M:0:1	
M:0:2	
M:0:3	
M:0:4	
M:0:5	
M:0:6	
M:0:7	

### 3 名称の入力後、[確定]ボタンをクリックします。

登録完了すると、外部通信一覧画面に戻ります。

設定 > ゲートウェイ端末[Gateway-1] > 外部通信 > 設定 > 通信詳細設定 [M:0]

ID	名称
M:0:0	Modbus/TCP
M:0:1	
M:0:2	
M:0:3	
M:0:4	
M:0:5	
M:0:6	
M:0:7	

## 8. 遠隔制御を行う

ゲートウェイ端末に接続した外部機器に対するデバイス書き込み、および左記操作後にゲートウェイ端末を再起動するかどうかを、本サービス上で設定および実行できます。これを遠隔制御と呼びます。遠隔制御するにはフローを作成します。フローは1つ以上のアクションで構成され、フロー上のアクションは設定した順に実行されます。フローはただちに実行することも、日時を指定して実行することもできます。

遠隔制御のスケジュールおよび実行結果は、遠隔制御履歴で確認できます。遠隔制御履歴について『**遠隔制御履歴の表示(P55)**』を参照してください。

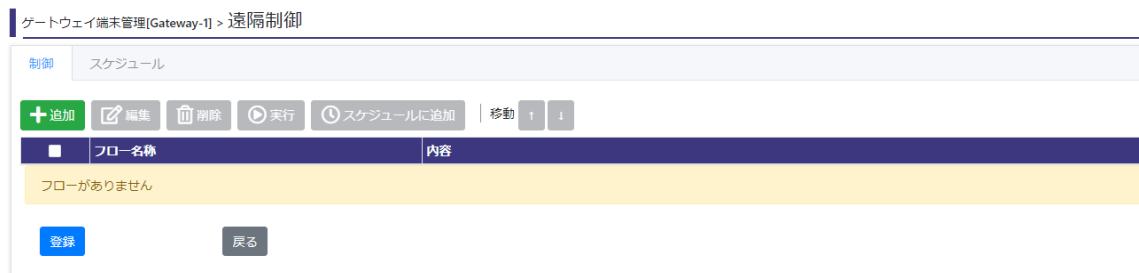
遠隔制御は、オプション契約（遠隔制御機能）（SG9Y-SJPPC01）ライセンスを割り当てたゲートウェイ端末で利用可能です。ライセンスについて『**ライセンスを管理する(P124)**』を参照してください。

フロー一覧画面は次の手順で表示できます。

- 1 遠隔制御を設定したいゲートウェイ端末にチェックを入れて、**[遠隔制御]**ボタンをクリックします(状態列のセルの右側に遠隔制御可能かを示すアイコンが表示されているゲートウェイ端末のみ可能)。

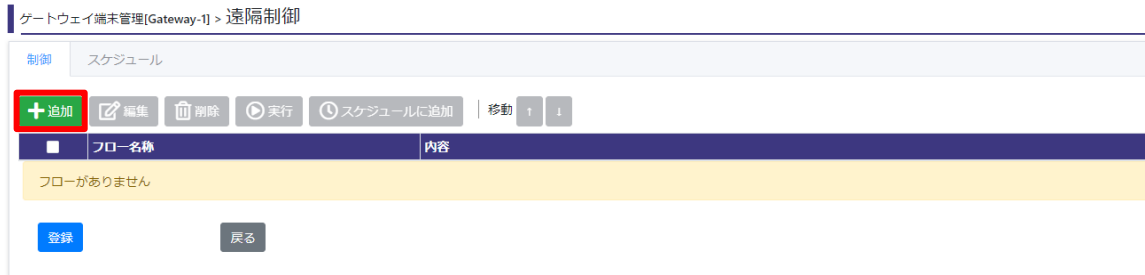


- 2 フロー一覧画面が表示されます。



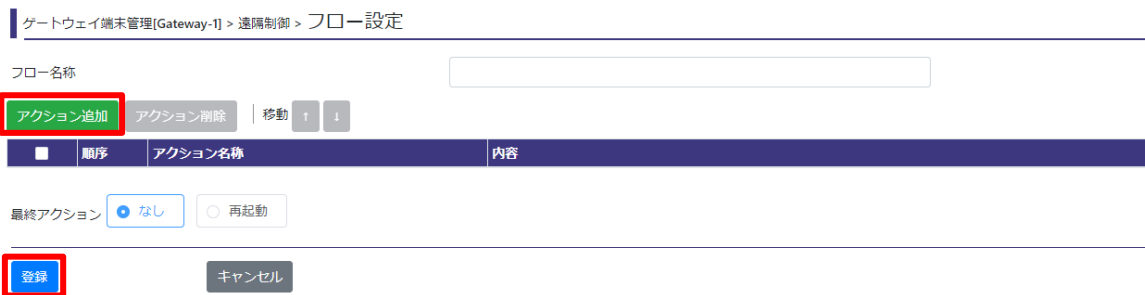
## フローの登録

- 1 制御フロー一覧画面から**[追加]**をクリックします。



- 2 フローの設定画面が表示されます。

**[アクション追加]**ボタンからアクションを追加して、**[登録]**ボタンをクリックしてください。



## アクションの登録

### 1 フロー設定画面で、[アクション追加]ボタンをクリックします。

※アクションは最大10件まで登録が可能です

ゲートウェイ端末管理(Gateway-1) > 遠隔制御 > フロー設定

フロー名称

**アクション追加** | アクション削除 | 移動 ↑ ↓

■	順序	アクション名称	内容

最終アクション  なし  再起動

**登録** | キャンセル

### 2 アクション名称を入力し、アクションの内容を設定してから[登録]ボタンをクリックします。

ゲートウェイ端末管理(Gateway-1) > 遠隔制御 > フロー設定 > アクション設定(1/10)

**アクション名称**

**種類**

操作

対象

通信方式: MCプロトコル4E(TCP/IP:バイナリ) 接続先 IP: 192.168.1.6 Port: 1025

開始アドレス(DEC)

点数

アドレス	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9
値	0	10	20	30	40	50				

DEC  HEX

**登録** | キャンセル

設定項目	設定内容
アクション名称	アクション名称を入力してください。最大30文字まで入力できます。
種類	次の中から選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>外部通信：デバイス書き込みを行います。</li> <li>その他：デバイス書き込みを一定のウェイトを置いてから行う場合にウェイト時間を設定するために使用します。</li> </ul>
(セパレーター以降の設定項目)	<b>[種類]</b> で外部通信を選択した場合は、『 <b>外部通信(P48)</b> 』を参照してください。 <b>[種類]</b> でその他を選択した場合は、『 <b>その他(P49)</b> 』を参照してください。

## 外部通信

ゲートウェイ端末管理(Gateway-1) > 遠隔制御 > フロー設定 > アクション設定(1/10)

アクション名称	デフォルト設定書き込み																						
種類	外部通信																						
操作	D:データレジスタ(ワード書き込み)																						
対象	[M:0] 外部通信																						
通信方式: MCプロトコル4E(TCP/IP/バイナリ) 接続先 IP: 192.168.1.6 Port: 1025																							
開始アドレス(DEC)	0																						
点数	5																						
値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>アドレス</th> <th>+0</th> <th>+1</th> <th>+2</th> <th>+3</th> <th>+4</th> <th>+5</th> <th>+6</th> <th>+7</th> <th>+8</th> <th>+9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>30</td> <td>40</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	アドレス	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	0	10	20	30	40	50					
アドレス	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9													
0	10	20	30	40	50																		
<input checked="" type="radio"/> DEC <input type="radio"/> HEX																							

登録

キャンセル

設定項目	設定内容
操作	<p>ゲートウェイ端末登録時に選択した<b>[対応プロトコル]</b>がModbus/TCPの場合、操作を次の中から選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コイル(ビット書き込み)：値の内容をビット書き込みします。</li> <li>・保持レジスタ(ワード書き込み)：値の内容をワード書き込みします。</li> </ul> <p>ゲートウェイ端末登録時に選択した<b>[対応プロトコル]</b>がMCプロトコル4E(バイナリ)またはMCプロトコル4E(ASCII)の場合、操作を次の中から選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・D:データレジスタ(ワード書き込み)</li> <li>・R:ファイルレジスタ(ワード書き込み)</li> <li>・ZR:ファイルレジスタ(ワード書き込み)</li> <li>・X:入力(ビット書き込み)</li> <li>・Y:出力(ビット書き込み)</li> <li>・M:内部リレー(ビット書き込み)</li> <li>・L:リンクリレー(ビット書き込み)</li> </ul>
対象	<p>ゲートウェイ端末に設定されている外部通信のIDの中から1つ選択してください。選択した外部通信のIDに設定されている接続先の機器に対して遠隔制御を行います。</p>
オフセット	<p>ゲートウェイ端末登録時に選択した<b>[対応プロトコル]</b>がModbus/TCPの場合、書き込み先デバイスのアドレスのオフセットを0~65535の間で入力してください。</p>
開始アドレス(DEC)	<p>ゲートウェイ端末登録時に選択した<b>[対応プロトコル]</b>がModbus/TCPの場合、書き込み先デバイスの開始アドレスが表示されます。</p> <p>ゲートウェイ端末登録時に選択した<b>[対応プロトコル]</b>がMCプロトコル4E(バイナリ)またはMCプロトコル4E(ASCII)であり、かつ<b>[操作]</b>がD:データレジスタ(ワード書き込み)、R:ファイルレジスタ(ワード書き込み)、またはM:内部リレー(ビット書き込み)の場合、書き込み先デバイスの開始アドレスを10進数で入力してください。</p>
開始アドレス(HEX)	<p>ゲートウェイ端末登録時に選択した<b>[対応プロトコル]</b>がMCプロトコル4E(バイナリ)またはMCプロトコル4E(ASCII)であり、かつ<b>[操作]</b>がZR:ファイルレジスタ(ワード書き込み)、X:入力(ビット書き込み)、Y:出力(ビット書き込み)、またはL:リンクリレー(ビット書き込み)の場合、書き込み先デバイスの開始アドレスを16進数で入力してください。</p>
点数	<p>書き込む点数を1~50の間で入力してください。</p>
値	<p>各アドレスに書き込む値を入力してください。</p> <p><b>[DEC(10進数)]</b>を選択すると値を10進数表示します。<b>[HEX(16進数)]</b>を選択すると値を16進表示します。</p>



## その他

ゲートウェイ端末管理[Gateway-1] > 遠隔制御 > フロー設定 > アクション設定(1/10)

アクション名称	<input type="text" value="ウェイト"/>
種類	<input type="text" value="その他"/>
操作	<input type="text" value="アクション待機"/>
値	<input type="text" value="10"/> 秒

登録

キャンセル

操作	設定内容
操作	操作を次の中から選択してください。 ・アクション待機：値で指定した時間アクションを待機(一時停止)します。
値	待機時間(秒)を0~300の間で入力してください。

## 最終アクションの設定

- 1 フロー設定画面で最後に実行するアクションを設定します。

ゲートウェイ端末管理[Gateway-1] > 遠隔制御 > フロー設定

フロー名称

アクション追加 アクション削除 移動 ↑ ↓

順序	アクション名称	内容
1	デフォルト設定書き込み	M:0 10.20.30.40.50
2	PLC再起動処理フラグON	M:1 1
3	ウェイト	wait 10

最終アクション  なし  再起動

登録 キャンセル

操作	設定内容
なし	フローの最終アクションを設定しません。
再起動	フローの最終アクションとしてゲートウェイ端末を再起動します。

## アクションの編集

- 1 フロー設定画面から編集したいアクション名称をクリックします。

ゲートウェイ端末管理[Gateway-1] > 遠隔制御 > フロー設定

フロー名称

アクション追加 アクション削除 移動 ↑ ↓

順序	アクション名称	内容
1	デフォルト設定書き込み	M:0 10.20.30.40.50
2	PLC再起動処理フラグON	M:1 1
3	ウェイト	wait 10

最終アクション  なし  再起動

登録 キャンセル

## アクションの削除

- 1 対象のフローアクションにチェックを入れて、[アクション削除]ボタンをクリックします。

ゲートウェイ端末管理[Gateway-1] > 遠隔制御 > フロー設定

フロー名称

アクション追加 **アクション削除** 移動 ↑ ↓

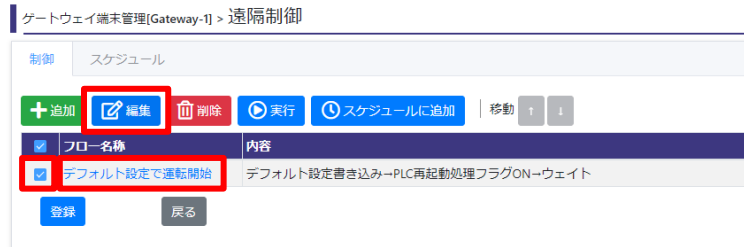
順序	アクション名称	内容
<input checked="" type="checkbox"/>	デフォルト設定書き込み	M:0 10.20.30.40.50
<input type="checkbox"/>	PLC再起動処理フラグON	M:1 1
<input type="checkbox"/>	ウェイト	wait 10

最終アクション  なし  再起動

登録 キャンセル

## フローの編集

フロー一覧画面からフロー名称をクリック、または対象のフローにチェックを入れて、**[編集]**ボタンをクリックします。

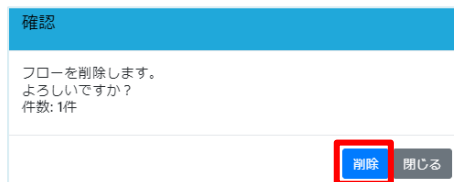


## フローの削除

**1** 対象のフローにチェックを入れて、**[削除]**ボタンをクリックします。

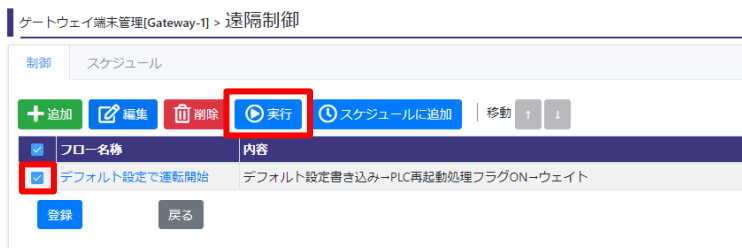


**2** 確認メッセージボックスが表示されますので、**[削除]**ボタンをクリックします。



## フローの実行

- 1 対象のフローにチェックを入れて、**[実行]**ボタンをクリックします。



- 2 実行確認画面が表示されますので、**[実行]**ボタンをクリックします。



- 3 各アクションの実行結果が右側に表示されます。**[閉じる]**ボタンをクリックして実行確認画面を閉じます。なお、実行確認画面だけでなく遠隔制御履歴でも、フローの実行結果を確認できます。遠隔制御履歴について『**遠隔制御履歴の表示(P55)**』を参照してください。



## スケジュールの追加

- 1 対象のフローにチェックを入れて、[スケジュールに追加]ボタンをクリックします。  
※スケジュールに追加可能件数は最大20件です。



- 2 スケジュール追加画面が表示されますので、各種内容を入力後[登録]ボタンをクリックします。

スケジュール追加

スケジュール名	デフォルト設定で運転開始	
実行予定日時	2022/03/23	16:24
有効期限(秒)	300	2022/03/23 16:29:00
フロー名称	デフォルト設定で運転開始	

登録
閉じる

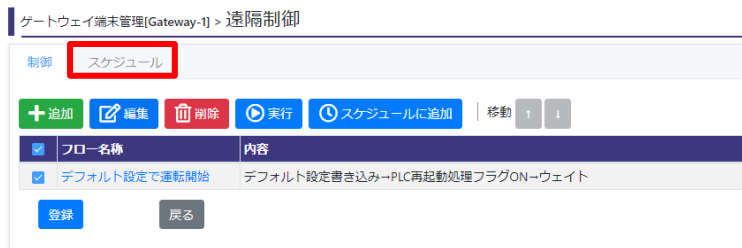
操作	設定内容
スケジュール名	遠隔制御履歴に表示するスケジュール名を入力します。
実行予定日時	フローを実行する日時を設定します。
有効期限	実行予定日時にフローが実行できなかった場合に、いつまでフローの実行を試みるかを設定します。 有効期限を過ぎたスケジュールは実行されません。
フロー名称	選択したフローの名称が表示されます。

- 3 追加したスケジュールは、フロー一覧画面の[スケジュール]タブで確認できます。

スケジュール名	実行予定日時	内容	ユーザー	IP	登録日時
デフォルト設定で運転開始	2022/03/25 16:24	デフォルト設定書き込み PLC再起動処理フラグON ウェイト	管理者	147.161.194.80	2022/03/23 16:30

## スケジュールの削除

1 フロー一覧画面で[スケジュール]タブをクリックします。



2 削除したいスケジュールにチェックを入れて、[削除]ボタンをクリックします。



3 確認メッセージボックスが表示されますので、[削除]ボタンをクリックします。



## 9. 遠隔制御履歴の表示

過去の遠隔制御の実行結果を一覧で表示できます。遠隔制御履歴は、オプション契約（遠隔制御機能）（SG9Y-SJPPC01）ライセンスを割り当てたゲートウェイ端末で利用可能です。ライセンスについて『**ライセンスを管理する(P124)**』を参照してください。

遠隔制御履歴画面は次の手順で表示できます。

- 1 対象のゲートウェイ端末にチェックを入れて、**[遠隔制御履歴]**ボタンをクリックします。

設定 > ゲートウェイ端末

+ 新規登録 編集 削除 PLCプログラム更新設定 外部通信 遠隔制御 **遠隔制御履歴**

IoT/LTE Gateway

10

<input checked="" type="checkbox"/>	No.	状態	ゲートウェイ端末名	表示名称	作成日時	更新日時	シリアル番号
<input checked="" type="checkbox"/>	1	計測待機中	Gateway-1	Gateway-1	2022/02/25 13:58	2022/02/25 14:05	

- 2 検索条件を入力して**[検索]**ボタンをクリックします。指定した検索条件を満たす実行結果が一覧で表示されます。

ゲートウェイ端末管理(Gateway-1) > 遠隔制御

検索条件

期間  ~

結果  すべて  成功  失敗  未実施  削除 リクエストタイプ  すべて  即時  スケジュール  カスタムモニタ

表示順  古いデータから表示  新しいデータから表示

検索

10

実行予定日時	スケジュール名	フロー結果	アクション結果	ユーザー	登録日時
--------	---------	-------	---------	------	------

検索条件	内容
期間	左側(開始日時)を指定した場合、実行予定日時が指定した開始日時以後であるフローを表示します。 右側(開始日時)を指定した場合、実行予定日時が指定した終了日時以前であるフローを表示します。
結果	次の検索結果を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>すべて：下に列挙する各結果のフローを表示します。</li> <li>成功：結果が成功であるフローを表示します。</li> <li>失敗：結果が失敗であるフローを表示します。</li> <li>未実施：結果が未実施であるフローを表示します。</li> <li>削除：結果が削除であるフローを表示します。</li> </ul>
リクエストタイプ	次の検索結果を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>すべて：下に列挙する各リクエストタイプのフロー、および「notification」を表示します。「notification」について後述の補足情報を参照してください。</li> <li>即時：<b>[実行]</b>をクリックして実行したフローを表示します。</li> <li>スケジュール：スケジュール実行されたフローを表示します。</li> <li>カスタムモニタ：カスタムモニタによるデバイス書き込みがサポートされている場合、カスタムモニタによるデバイス書き込みを表示します。</li> </ul>
表示順	検索結果の表示順を次の中から選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>古いデータから表示</li> <li>新しいデータから表示</li> </ul>

#### 補足情報

- 遠隔制御履歴では、本サービス上で当該ゲートウェイ端末について設定を変更した時、「notification」というスケジュール名のフローを記録します。



## 3. グループの設定を行う

この章では、グループを設定するための手順を説明します。

ゲートウェイ端末に設定した外部通信設定のグループを、設備、設備グループ、エリア、およびエリアグループの単位で設定できます。

設定したグループは、ダッシュボードで使用します。ダッシュボードの設定方法について『**ダッシュボードの設定を行う(P62)**』を参照してください。ダッシュボードの表示方法について『**ダッシュボードの表示(P137)**』を参照してください。

設備を設定するには、ゲートウェイ端末に外部通信を設定します。外部通信設定について『**外部通信設定(デバイス設定更新)を行う(P40)**』を参照してください。

設備グループを設定するには、設備を設定します。

エリアを設定するには、設備グループを設定します。

エリアグループを設定するには、エリアを設定します。

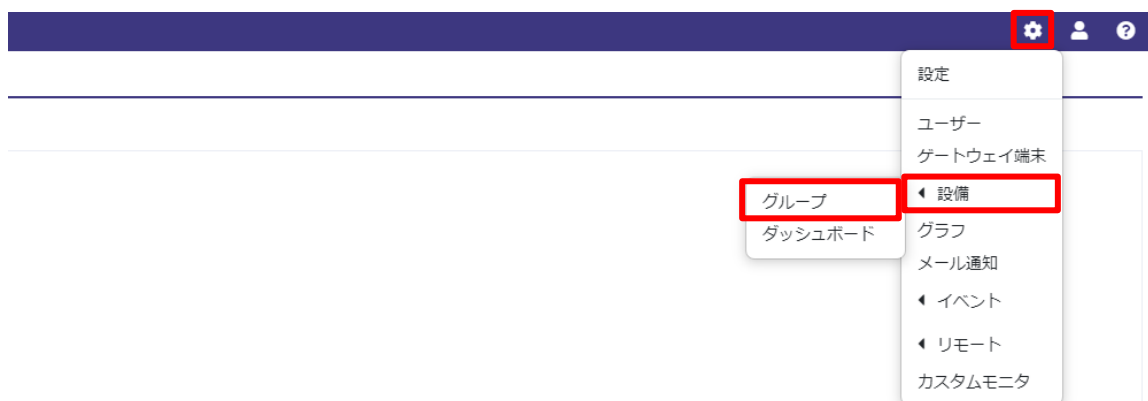
設備、設備グループ、エリア、およびエリアグループは、それぞれ最大200個まで登録できます。

本章の機能は、管理者のみ利用可能です。

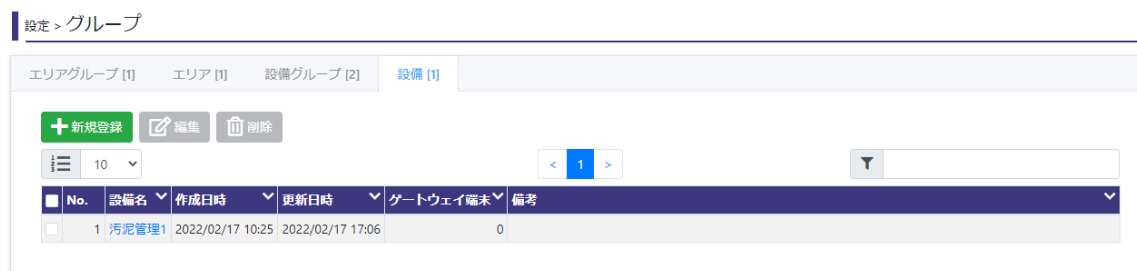
グループ設定画面は次の手順で表示できます。

### 1 をクリックすると管理メニューが表示されます。

管理メニューから**[設備]**→**[グループ]**の順にクリックします。

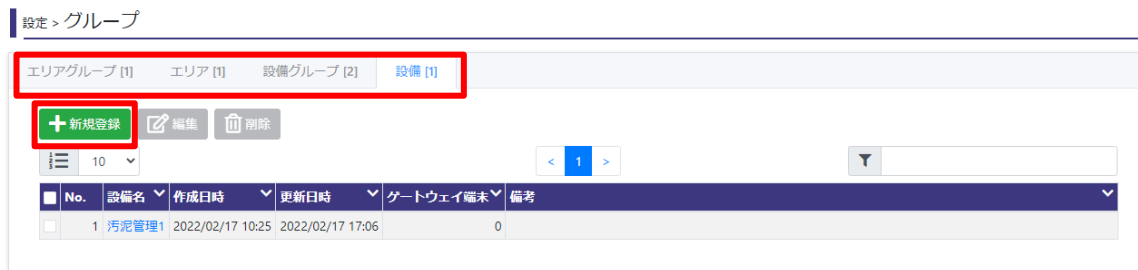


### 2 グループ設定画面が表示されます。

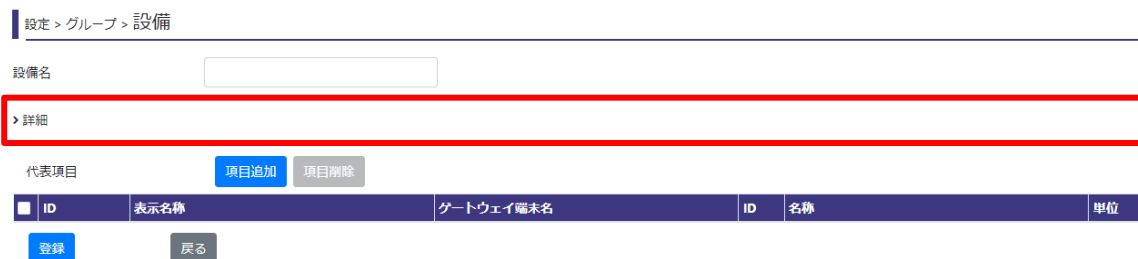


# 1. グループ設定の登録を行う

- 1 設定したいグループのタブを選択して、**[新規登録]**ボタンをクリックするとグループの詳細設定画面が表示されます。ここでは**[設備]**タブを選択しているものとします。



- 2 **[詳細]**の行をクリックすると詳細設定が表示されます。



- 3 各項目（以下参照）を入力して**[登録]**ボタンをクリックしてください。  
登録が完了すると、グループ設定画面に戻ります。

設定項目		必須	設定内容
設備名、設備グループ名、エリア名、エリアグループ名		○	グループ設定の名称を入力してください。
詳細	座標		経度と緯度の座標値を入力できます(設備の場合のみ)。
	住所		住所の郵便番号、都道府県、市区町村、および番地を入力できます(設備の場合のみ)。
	設備写真		<b>[ファイル選択]</b> をクリックし、画像を登録できます(設備の場合のみ)。登録された画像は、ダッシュボードのカード「マップ」で表示します。拡張子png/jpeg/gifの画像が利用可能です。 <b>[画像削除]</b> をクリックすると、登録した画像を削除できます。
	外部リンク1~3		各外部リンクのアイコン、名称、およびURLを入力できます。
	備考		備考情報を入力できます。
代表項目			<b>[追加]</b> をクリックすると代表項目選択画面を表示します。詳細について『 <b>代表項目を追加する(P59)</b> 』を参照してください。削除したい代表項目にチェックを入れて <b>[削除]</b> をクリックすると、選択した代表項目を削除します。
	ID		代表項目のIDです。
	表示名称	○	代表項目の表示名称を入力してください。最大50文字まで入力できます。
	計測データ表示	○	計測データを表に表示する場合、 <input checked="" type="checkbox"/> に設定してください。
	ゲートウェイ端末名		ゲートウェイ端末名を表示します。

設定項目	必須	設定内容
設備名、設備グループ名、 エリア名、エリアグループ名	○	グループ設定の名称を入力してください。
ID		外部通信のIDを表示します。
名称		外部通信のIDの名称を表示します。
単位		計測データの単位を表示します。

- 4 グループ、エリア、エリアグループのグループ設定を登録する場合、グループ設定画面で設定したいグループのタブを選択して、上記操作を行ってください。

## 代表項目を追加する

- 1 [代表項目]の[追加]ボタンをクリックすると、代表項目選択画面が表示されます。

設定 > グループ > 設備

設備名

> 詳細

代表項目 追加 削除

ID	表示名称	計測データ表示	ゲートウェイ端末名	ID	名称	単位

- 2 [ゲートウェイ端末]を変更すると、選択したゲートウェイ端末の外部通信設定が表示されます。  
任意の項目をチェックして[追加]ボタンをクリックしてください。

代表項目選択

ゲートウェイ端末 Gateway-1

計測データ

ID	名称	単位
C:TEMP	温度	
C:VOL	端末電池電圧	
C:CURR	累積電流量	
C:SOC	電池残量	
C:RSRP	電波強度	
C: BAND	LTE接続バンド	
C:LOBT	低電圧フラグ	
C: BALT	電池アラート	
SRMKS	通知情報	

演算設定

ID	名称
CX:1	演算01
CX:2	演算02

追加 確認

## 2. グループ設定の編集を行う

1 設定したいグループのタブを選択して、編集したいグループをチェックして[編集]をクリックするとグループの詳細設定画面が表示されます。

または、編集したいグループの名前（設備の場合[設備名]、設備グループの場合[設備グループ名]、エリアの場合[エリア名]、エリアグループの場合[エリアグループ名]）をクリックするとグループの詳細設定画面が表示されます。



2 各項目を入力して[登録]ボタンをクリックしてください。

登録が完了すると、グループ設定画面に戻ります。



## 3. グループ設定の削除を行う

### 方法1

- 1 設備をチェックして[編集]をクリックするとグループの詳細設定画面が表示されます。  
または、設定したいグループ設定の[設備名]をクリックするとグループの詳細設定画面が表示されます。



- 2 [削除]ボタンをクリックしてください。削除が完了すると、グループ設定画面に戻ります。

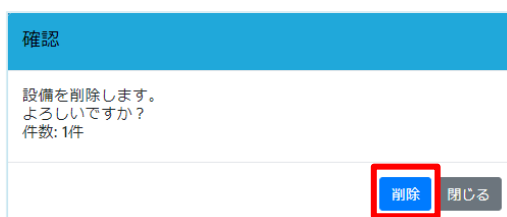


### 方法2

- 1 削除したいグループ設定をチェックして[削除]ボタンをクリックすると削除の確認画面が表示されます。



- 2 [削除]ボタンをクリックしてください。削除が完了すると、グループ設定画面に戻ります。



## 4. ダッシュボードの設定を行う

この章では、ダッシュボードを設定するための手順を説明します。

ダッシュボードを設定するには、グループを設定する必要があります。グループの設定方法について『**グループの設定を行う(P57)**』を参照してください。

本章の機能は、管理者のみ利用可能です。

ダッシュボード設定画面は次の手順で表示できます。

**1**  をクリックすると管理メニューが表示されます。

管理メニューから[設備]→[ダッシュボード]の順にクリックします。



**2** ダッシュボード設定画面が表示されます。

設定 > ダッシュボード



The screenshot shows the 'ダッシュボード' (Dashboard) settings page. It features a breadcrumb trail: 'トップ [1] > エリアグループ [2] > エリア [2] > 設備グループ [3] > 設備 [3]'. Below the breadcrumb, there are tabs for 'カード設定' (Card Settings) and '表設定' (Table Settings). A table is displayed with columns for 'No.', '設備名' (Equipment Name), '作成日時' (Creation Date/Time), '更新日時' (Update Date/Time), and '備考' (Remarks). The table contains three rows of data.

No.	設備名	作成日時	更新日時	備考
1	default	2019/10/28 19:26:23	2019/10/28 10:26:23	
2	汚泥管理1	2019/11/08 21:48:46	2020/03/03 15:50:59	
3	汚泥管理2	2020/03/03 15:48:54	2020/03/03 15:48:54	

# 1. ダッシュボード概要

ダッシュボードは、設定したグループ(設備、設備グループ、エリア、およびエリアグループ)に対して設定できます。グループは階層構造を持っているので、ダッシュボードも同様の階層構造を持ちます。

グループと異なる点として、設定した各階層のグループに加えて、それぞれの階層にdefaultのダッシュボードがあります。defaultのダッシュボードは、設定したグループのうち最も上の階層より1つ上の階層のもののみ使用されます(例えば、設備グループおよび設備まで設定している場合は、エリアのdefaultのダッシュボードのみ使用され、エリアグループ、設備グループ、および設備のdefaultのダッシュボードは使用されません)。

エリアグループの一つ上の階層をトップと呼びます。トップにはdefaultのダッシュボードのみ存在します。

ダッシュボード画面の構成要素は次のとおりです。

The screenshot shows a dashboard interface with the following components:

- (タイトル)**: Navigation breadcrumb: トップ > 近畿エリア > 滋賀工場 > 滋賀工場A棟 > ダッシュボード
- (グループ選択)**: Dropdown menu showing 汚泥管理1
- (カードエリア)**: A grid of cards displaying various metrics:
  - 汚泥濃度1: 1.69907 (with a bar chart)
  - 汚泥濃度2: 1.53597 (with a bar chart)
  - サービスタンク供給量1: 13.206 (with a gauge)
  - サービスタンク供給量2: 13.873 (with a gauge)
  - 照明1: OFF
  - 照明2: ON
- (表エリア)**: A table with columns: ゲートウェイ端末名, 汚泥濃度, サービス..., 照明. It shows two rows of data.

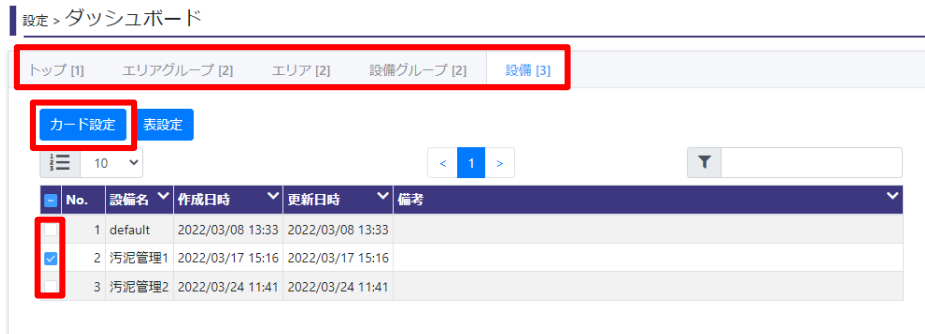
- (タイトル) : 現在表示しているグループを表示します。「トップ」をクリックすると、defaultのダッシュボードを表示します。グループ名部分をクリックすると、そのグループのダッシュボードを表示します。defaultのダッシュボードを表示している場合は「ダッシュボード」のみ表示します。
- (グループ選択) : グループを選択してダッシュボードを切り替えます。defaultのダッシュボード以外を表示している場合に利用可能です。
- (カードエリア) : カードを表示します。カード内に計測データをそのまま表示したり、各種メーター、ON/OFF文字列等を表示したりできます。カードについて『[カード設定の登録を行う\(P64\)](#)』を参照してください。
- (表エリア) : 表を表示します。現在表示しているグループの計測データを一覧表示できます。表について『[表設定の登録を行う\(P72\)](#)』を参照してください。

カードおよび表は、それぞれ最大200個まで登録できます。

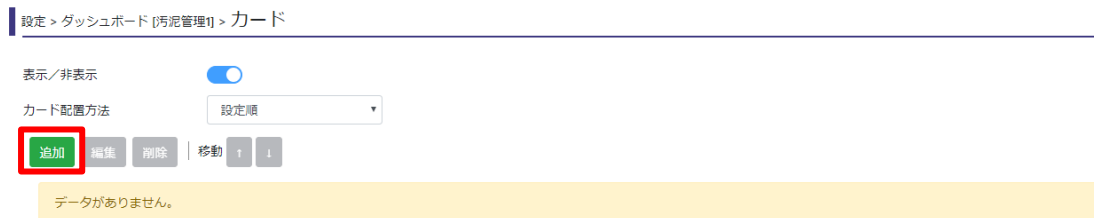
ダッシュボードの表示方法について『[ダッシュボードの表示\(P137\)](#)』を参照してください。

## 2. カード設定の登録を行う

- 1 設定したいグループのタブを選択して、カード設定の登録を行いたいグループをチェックして[カード設定]ボタンをクリックするとカード設定画面が表示されます。



- 2 [追加]ボタンをクリックするとカードの詳細設定画面が表示されます。



- 3 各項目を入力して[登録]ボタンをクリックしてください。  
登録が完了すると、カード設定画面に戻ります。





設定項目	必須	設定内容
タイトル	○	表示データのタイトルを入力してください。
ゲートウェイ端末名	○	設定中のエリアグループ、エリア、設備グループ、または設備の代表項目として登録されているゲートウェイ端末を選択してください([ <b>パーツ選択</b> ]がマップ以外の場合のみ)。
項目	○	選択したゲートウェイ端末から取得できる項目を選択してください([ <b>パーツ選択</b> ]がマップ以外の場合のみ)。
パーツ選択	○	カードの内容を次の中から選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>計測データ：計測したデータをそのまま表示します。</li> <li>レベルメーター(縦)：計測したデータを縦方向のメーターで表示します。</li> <li>レベルメーター(横)：計測したデータを横方向のメーターで表示します。</li> <li>半円メーター：計測したデータを半円状のメーターで表示します。</li> <li>アナログメーター：計測したデータをアナログのメーターで表示します。</li> <li>ON/OFF文字列：計測したデータのON/OFFの状態を文字列で表示します。</li> <li>書式変換(日時)：計測したデータをUNIX時間とみなし、日時に変換して表示します。</li> <li>経過日時(日 時:分)：計測したデータを経過時間(単位：秒)とみなし、経過時間(単位：日 時:分)に変換して表示します。</li> <li>マップ：マップを表示します。</li> </ul>
表示サイズ	○	表示サイズを小、大、横長、縦長、最大の中から選択してください。
表示設定		
サブタイトル		表示するサブタイトルを入力してください。30文字まで入力できます。
フォントサイズ	○	表示するフォントサイズを選択してください([ <b>パーツ選択</b> ]が計測データ、ON/OFF文字列、書式変換(日時)、または経過日時(日 時:分)の場合のみ)。
テキスト横位置	○	テキスト横位置を左揃え、中央揃え、右揃えの中から選択してください([ <b>パーツ選択</b> ]が計測データ、ON/OFF文字列、書式変換(日時)、または経過日時(日 時:分)の場合のみ)。
テキスト縦位置	○	テキスト縦位置を上揃え、中央揃え、下揃えの中から選択してください([ <b>パーツ選択</b> ]が計測データ、ON/OFF文字列、書式変換(日時)、または経過日時(日 時:分)の場合のみ)。
フォント色	○	フォント色をカラーピッカーから選択してください([ <b>パーツ選択</b> ]がON/OFF文字列およびマップ以外の場合のみ)。
背景色(カード)	○	カードの背景色をカラーピッカーから選択してください([ <b>パーツ選択</b> ]がマップ以外の場合のみ)。
最小 最大	○	最小値・最大値を入力してください([ <b>パーツ選択</b> ]がレベルメーター(縦)、レベルメーター(横)、半円メーター、またはアナログメーターの場合のみ)。 最小は-999999999.99999以上、最大は999999999.99999以下、および、最小は最大より小さい値でなければなりません。
塗りつぶし色	○	塗りつぶし色をカラーピッカーから選択してください([ <b>パーツ選択</b> ]がレベルメーター(縦)、レベルメーター(横)、半円メーター、またはアナログメーターの場合のみ)。
背景色(グラフ)	○	グラフの背景色をカラーピッカーから選択してください([ <b>パーツ選択</b> ]がレベルメーター(縦)、レベルメーター(横)、半円メーター、またはアナログメーターの場合のみ)。
ビット位置	○	ON/OFFを切り替えるために読み出す項目のビット位置を0~15の間で指定してください([ <b>パーツ選択</b> ]がON/OFF文字列の場合のみ)。16以上を設定すると常にOFF文字を表示します。

	ON時(1の時)の表示 OFF時(0の時)の表示		ビットON時とビットOFF時の表示文字列、フォント色、および背景色(カード)を入力できます([ <b>パーツ選択</b> ]がON/OFF文字列の場合のみ)。表示文字列は30文字まで入力できます。フォント色、および背景色(カード)はカラーピッカーから選択してください。
	書式	○	書式を次の中から選択してください([ <b>パーツ選択</b> ]が書式変換(日時)の場合のみ)。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・YYYY/MM/DD hh:mm:ss</li> <li>・YYYY/MM/DD hh:mm</li> <li>・YYYY-MM-DD hh:mm:ss</li> <li>・YYYY-MM-DD hh:mm</li> </ul>
下下限 下上限 上上限	しきい値		しきい値を入力できます([ <b>パーツ選択</b> ]が計測データ、レベルメーター(縦)、レベルメーター(横)、半円メーター、またはアナログメーターの場合のみ)。しきい値を設定する場合、次の条件を満たすように設定してください。 下下限<下限<上限<上上限 また、パーツ選択がレベルメーター(縦)、レベルメーター(横)、半円メーター、またはアナログメーターの場合、それぞれのしきい値は表示設定の最小および最大の範囲内で設定してください。
	フォント色		指定したしきい値になったときのフォント色をカラーピッカーから選択してください([ <b>パーツ選択</b> ]が計測データ、レベルメーター(縦)、レベルメーター(横)、半円メーター、またはアナログメーターの場合のみ)。
	背景色(カード)		指定したしきい値になったときのカードの背景色をカラーピッカーから選択してください([ <b>パーツ選択</b> ]が計測データ、レベルメーター(縦)、レベルメーター(横)、半円メーター、またはアナログメーターの場合のみ)。
	塗りつぶし色	○	指定したしきい値になったときの塗りつぶし色をカラーピッカーから選択してください([ <b>パーツ選択</b> ]がレベルメーター(縦)、レベルメーター(横)、半円メーター、またはアナログメーターの場合のみ)。
	背景色(グラフ)	○	指定したしきい値になったときのグラフの背景色をカラーピッカーから選択してください([ <b>パーツ選択</b> ]がレベルメーター(縦)、レベルメーター(横)、半円メーター、またはアナログメーターの場合のみ)。
プレビュー			現在入力している設定のプレビューを確認することができます。

## 3. カード設定の編集を行う

- 1 設定したいグループのタブを選択して、カード設定の登録を行いたいグループをチェックして[カード設定]ボタンをクリックするとカード設定画面が表示されます。



- 2 編集したいカードをチェックして[編集]をクリックするか、タイトル部分をクリックすると、カードの詳細設定画面が表示されます。



- 3 編集したい項目を入力して[登録]ボタンをクリックしてください。登録が完了すると、カード設定画面に戻ります。



## 4. カード設定の削除を行う

### 方法1

- 1 グループのタブを選択して、削除したいカード設定が設定されている項目をチェックして[カード設定]ボタンをクリックするとカード設定画面が表示されます。



- 2 削除したいカードをチェックして[編集]をクリックするか、タイトル部分をクリックすると、カードの詳細設定画面が表示されます。

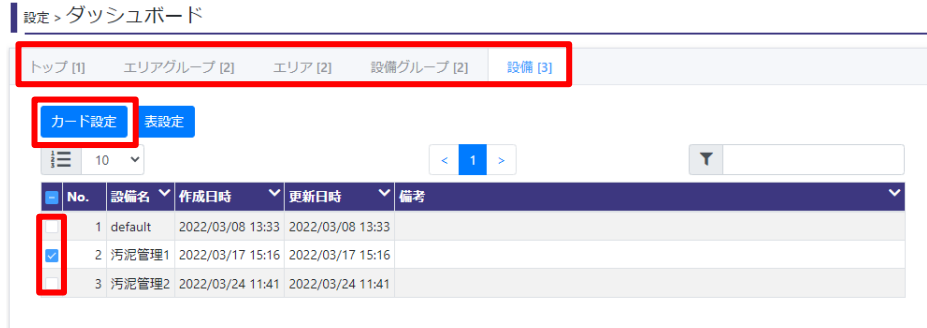


- 3 [削除]ボタンをクリックしてください。



## 方法2

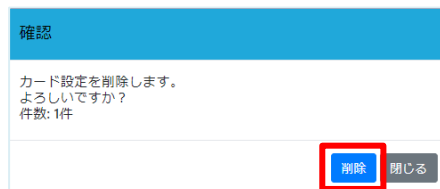
- 1 グループのタブを選択して、削除したいカード設定が設定されている項目をチェックして**[カード設定]**ボタンをクリックするとカード設定画面が表示されます。



- 2 削除したいカードをチェックして**[削除]**ボタンをクリックすると削除の確認画面が表示されます。



- 3 **[削除]**ボタンをクリックしてください。削除が完了すると、カード設定画面に戻ります。



## 5. カード設定一覧の編集を行う

ダッシュボードで表示する各設備、設備グループ、エリア、またはエリアグループそれぞれのグループに対して、カードエリア全体の表示非表示、およびカード配置方法を以下の手順で設定できます。

- 1 設定したいグループのタブを選択して、設備をチェックして[カード設定]ボタンをクリックするとカード設定画面が表示されます。



- 2 カードの表示/非表示を選択してください。  
カード配置方法を設定順、自動配置から選択してください。



設定項目	必須	設定内容
表示/非表示	○	ダッシュボードに表示する場合、 <input checked="" type="checkbox"/> に設定してください。
カード配置方法	○	設定順：カード設定のNo.順にとおりに表示します。 自動配置：ダッシュボードに空きスペースがあれば、設定順に関係なく詰めて表示します。

- 3 移動したいカードがある場合、移動したいカードをチェックして[↑]ボタンまたは[↓]ボタンをクリックしてください。



## 4 [登録]ボタンをクリックしてください。

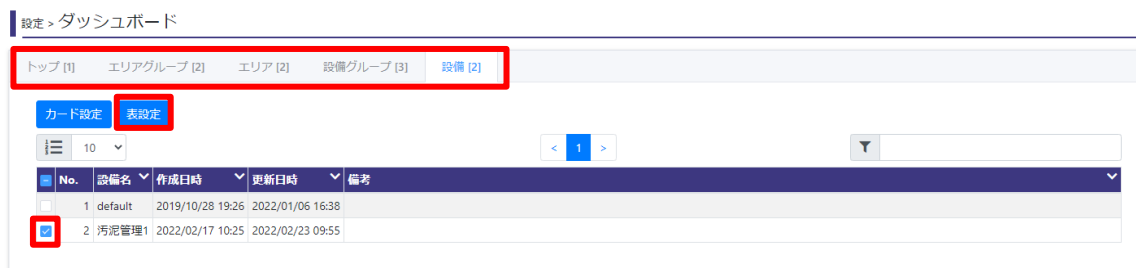
登録が完了すると、ダッシュボード設定画面に戻ります。



## 5 トップ、エリアグループ、エリア、設備グループのカード設定一覧を編集する場合、ダッシュボード設定画面で、設定したいグループのタブを選択して、カード設定画面が入った後に項目番号1~3の操作を行ってください。

## 6. 表設定の登録を行う

- 1 設定したいグループのタブを選択し、設備をチェックして**[表設定]**ボタンをクリックすると表設定画面が表示されます。



- 2 **[追加]**ボタンをクリックすると表の詳細設定画面が表示されます。



- 3 各項目を入力して**[登録]**ボタンをクリックしてください。登録が完了すると、表設定画面に戻ります。



設定項目	必須	設定内容
タイトル	<input type="radio"/>	タイトルを入力してください。30文字まで入力できます。入力したタイトルは、表の列ヘッダーに表示されます。
項目	<input type="radio"/>	ゲートウェイ端末の詳細設定の「計測データ設定」で表示される <b>[ID]</b> を入力してください。詳細は『計測データを設定する(P32)』を参照してください。
表示方法	<input type="radio"/>	設定中の表の列内に表示する内容を次の中から選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>計測データ：計測したデータをそのまま表示します。</li> <li>レベルメーター(横)：計測したデータを横方向のメーターで表示します。</li> <li>ON/OFF文字列：計測したデータのON/OFFの状態を「表示文字列」で設定した文字列で表示します。</li> <li>書式変換(日時)：計測したデータをUNIX時間とみなし、日時に変換して表示します。</li> <li>経過日時(日 時:分)：計測したデータを経過時間(単位：秒)とみなし、経過時間(単位：日 時:分)に変換して表示します。</li> </ul>
表示幅	<input type="radio"/>	列の表示幅を80～999の間で入力してください。



表示設定	テキスト横位置	<input type="radio"/>	テキスト横位置を左揃え、中央揃え、右揃えの中から選択してください。
	テキスト縦位置	<input type="radio"/>	テキスト縦位置を上揃え、中央揃え、下揃えの中から選択してください。
	フォント色	<input type="radio"/>	フォント色をカラーピッカーから選択してください([ <b>パーツ選択</b> ]が ON/OFF文字列以外の場合のみ)。
	背景色(セル)	<input type="radio"/>	セルの背景色をカラーピッカーから選択してください([ <b>パーツ選択</b> ]が ON/OFF文字列以外の場合のみ)。
	最小 最大	<input type="radio"/>	最小値・最大値を入力してください([ <b>パーツ選択</b> ]がレベルメーター(横)の場合のみ)。 最小は-999999999.99999以上、最大は999999999.99999以下、および、最小は最大より小さい値でなければなりません。
	塗りつぶし色	<input type="radio"/>	塗りつぶし色をカラーピッカーから選択してください([ <b>パーツ選択</b> ]がレベルメーター(横)の場合のみ)。
	背景色(グラフ)	<input type="radio"/>	グラフの背景色をカラーピッカーから選択してください([ <b>パーツ選択</b> ]がレベルメーター(横)の場合のみ)。
	書式	<input type="radio"/>	書式を次の中から選択してください([ <b>パーツ選択</b> ]が書式変換(日時)の場合のみ)。 ・YYYY/MM/DD hh:mm:ss ・YYYY/MM/DD hh:mm ・YYYY-MM-DD hh:mm:ss ・YYYY-MM-DD hh:mm
	ビット位置	<input type="radio"/>	ビット位置を0~15の間で入力してください([ <b>パーツ選択</b> ]が ON/OFF文字列以外の場合のみ)。
ON時(1の時)の表示 OFF時(0の時)の表示		ビットON時とビットOFF時の表示文字列、フォント色、および背景色(セル)を入力できます([ <b>パーツ選択</b> ]が ON/OFF文字列以外の場合のみ)。	
下下限 下上限 上上限	しきい値		しきい値を入力できます([ <b>パーツ選択</b> ]が計測データ、またはレベルメーター(横)の場合のみ)。 しきい値を設定する場合、次の条件を満たすように設定してください。 下下限 < 下限 < 上限 < 上上限 また、それぞれのしきい値は表示設定の最小および最大の範囲内で設定してください。
	フォント色		指定したしきい値になったときのフォント色をカラーピッカーから選択してください([ <b>パーツ選択</b> ]が計測データ、またはレベルメーター(横)の場合のみ)。
	背景色(セル)		指定したしきい値になったときのセルの背景色をカラーピッカーから選択してください([ <b>パーツ選択</b> ]が計測データ、またはレベルメーター(横)の場合のみ)。
	塗りつぶし色	<input type="radio"/>	指定したしきい値になったときの塗りつぶし色をカラーピッカーから選択してください([ <b>パーツ選択</b> ]がレベルメーター(横)の場合のみ)。
	背景色(グラフ)	<input type="radio"/>	指定したしきい値になったときのグラフの背景色をカラーピッカーから選択してください([ <b>パーツ選択</b> ]がレベルメーター(横)の場合のみ)。
プレビュー		現在入力している設定のプレビューを確認することができます。	

## 7. 表設定の編集を行う

- 1 設定したいグループのタブを選択し、設備をチェックして**[表設定]**ボタンをクリックすると表設定画面が表示されます。



- 2 編集したい表をチェックして**[編集]**ボタンをクリックすると表の詳細設定画面が表示されます。または、編集したい表のタイトルをクリックすると表の詳細設定画面が表示されます。



- 3 編集したい項目を入力して**[登録]**ボタンをクリックしてください。  
登録が完了すると、表設定画面に戻ります。



## 8. 表設定の削除を行う

### 方法1

- 1 設定したいグループのタブを選択して、設備をチェックして**[表設定]**ボタンをクリックするとカード設定画面が表示されます。



- 2 削除したい表をチェックして**[編集]**ボタンをクリックすると表の詳細設定画面が表示されます。または、削除したい表のタイトルをクリックすると表の詳細設定画面が表示されます。

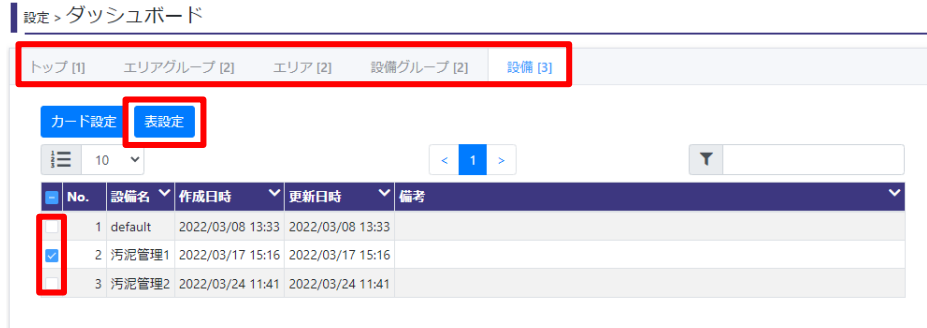


- 3 **[削除]**ボタンをクリックしてください。



## 方法2

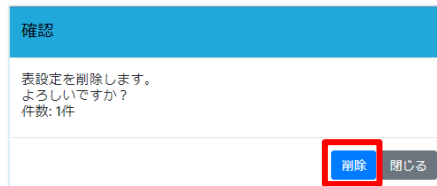
- 1 設定したいグループのタブを選択して、設備をチェックして**[表設定]**ボタンをクリックするとカード設定画面が表示されます。



- 2 削除したい表をチェックして**[削除]**をクリックすると削除の確認画面が表示されます。



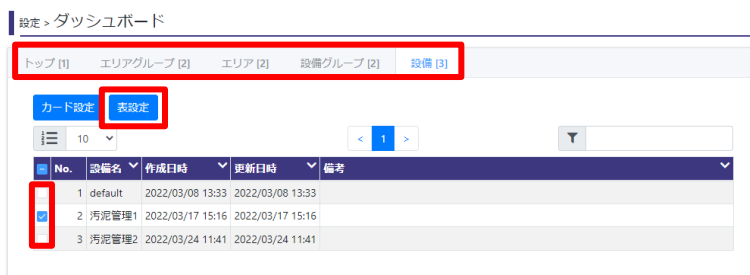
- 3 **[削除]**ボタンをクリックしてください。削除が完了すると、表設定画面に戻ります。



## 9. 表設定一覧の編集を行う

各グループのダッシュボードについて、表エリア全体の表示非表示、および各行の並び順を以下の手順で設定できます。

- 1 設定したいグループのタブを選択して、設備をチェックして[表設定]ボタンをクリックすると表設定画面が表示されます。



- 2 表の表示/非表示を選択してください。



設定項目	必須	設定内容
表示/非表示	○	ダッシュボードに表示する場合、 <input checked="" type="checkbox"/> に設定してください。

- 3 移動したい表がある場合、移動したい表をチェックして[↑]ボタンまたは[↓]ボタンをクリックしてください。



- 4 [登録]ボタンをクリックしてください。

登録が完了すると、ダッシュボード設定画面に戻ります。



## 5. グラフの設定を行う

この章では、グラフを設定するための手順を説明します。

ゲートウェイ端末の各計測データを棒グラフや折れ線グラフで表示することができます。グラフは最大20個まで設定でき、オプション契約（グラフ拡張）（SG9Y-SJPAG01）ライセンスを1つ購入するごとに、設定可能なグラフ数が1増えます。ライセンスについて『[ライセンスを管理する\(P124\)](#)』を参照してください。

それぞれのグラフで、軸は最大5本まで、対象データは最大20個まで設定できます。

グラフを使用するには、ゲートウェイ端末に外部通信を設定する必要があります。外部通信を設定する方法について『[外部通信設定\(デバイス設定更新\)を行う\(P40\)](#)』を参照してください。

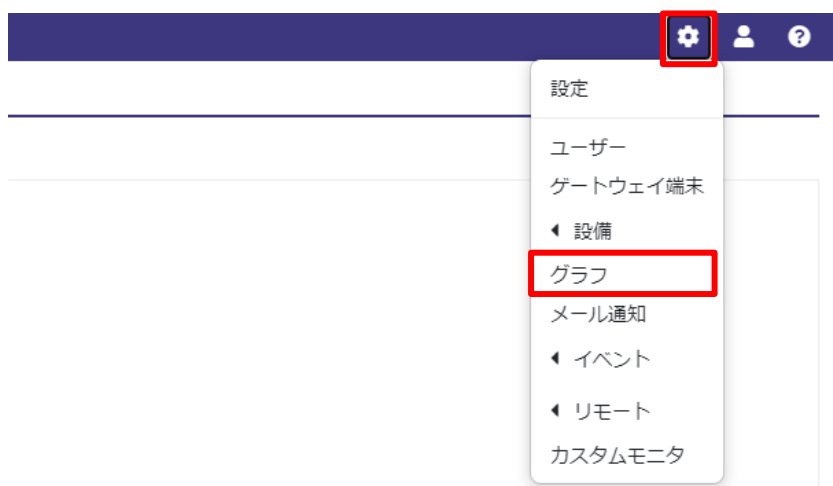
設定したグラフの表示方法について『[計測データ\(グラフ\)の表示\(P141\)](#)』を参照してください。

本章の機能は、管理者のみ利用可能です。

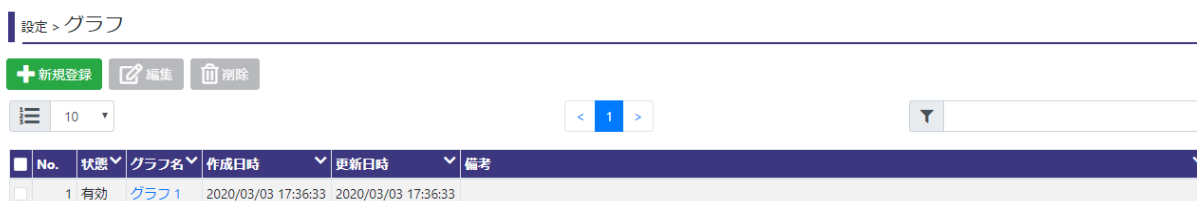
グラフ設定画面は以下の手順で表示できます。

**1**  をクリックすると管理メニューが表示されます。

管理メニューから[\[グラフ\]](#)をクリックします。

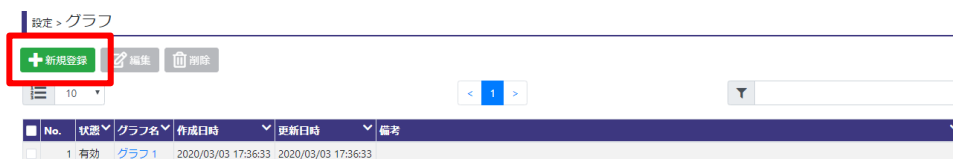


**2** グラフ設定画面が表示されます。



# 1. グラフの登録を行う

1 [新規登録]ボタンをクリックするとグラフの詳細設定画面が表示されます。



2 各項目を入力して[登録]ボタンをクリックします。登録が完了すると、グラフ設定画面に戻ります。

設定項目		必須	設定内容
名称		○	閲覧メニューで表示するグラフの名称を入力してください。最大30文字まで入力できます。
状態		○	閲覧メニューの計測データ(グラフ)でこのグラフを表示する場合、 <input checked="" type="checkbox"/> に設定してください。
備考			備考を最大200文字まで入力できます。
軸1 軸2 軸3 軸4 軸5	グラフ	○	表示するグラフの種類を次の中から選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・棒グラフ</li> <li>・棒グラフ(積み上げ)</li> <li>・棒グラフ(割合)</li> <li>・折れ線グラフ(マーカー無し)</li> <li>・折れ線グラフ(マーカー有り)</li> <li>・折れ線グラフ(スプライン)</li> </ul>
	対象データ		グラフで表示するデータを選択します。詳細について『 <b>対象データ選択(P80)</b> 』を参照してください。
	レンジ		設定中の軸の最小値および最大値を設定できます。 最小値は-999999999.99999以上、最大値は999999999.99999以下、および、最小値は最大値より小さい値でなければなりません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一括設定：閲覧メニューで表示するグラフの表示単位に対して一括で最小値および最大値を設定する場合に選択します。</li> <li>・個別設定：閲覧メニューで表示するグラフの表示単位(1分、10分、30分、1時間、1日、1か月、1年)に対して個別に最小値および最大値を設定する場合に選択します。</li> </ul>
	補助線		設定中の軸に補助線を設定できます。詳細について『 <b>補助線(P81)</b> 』を参照してください。
	ラベル		軸のラベルを最大30文字まで入力できます。また、ラベルプロパティとして以下を入力できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・色：ラベルの色をカラーパレットから選択してください。</li> <li>・サイズ：ラベルのサイズを選択してください。</li> <li>・(表示位置)：[左側に表示]を選択すると、この軸およびラベルがグラフの左側に表示されます。[右側に表示]を選択すると、この軸およびラベルがグラフの右側に表示されます。[表示しない]を選択すると、この軸のタブの設定内容全体を表示しません。</li> </ul>
プレビュー			現在入力している設定のプレビューを確認することができます。

## ◆ 対象データ選択

1 対象データの[項目追加]ボタンをクリックします。



2 対象データ選択画面が表示されます。[ゲートウェイ端末]を選択し、グラフに登録したい計測データまたは演算設定の項目をチェックして[追加]ボタンをクリックします。





## ◆ 補助線

### 1 補助線の[追加項目]をクリックしてください。

The screenshot shows the '補助線' (Grid Lines) configuration interface. At the top, there is a table for '表示単位' (Display Unit) with columns for 1分, 10分, 30分, 1時間, 1日, and 1ヶ月. Below this, there are input fields for '最小値' (Minimum Value) and '最大値' (Maximum Value). The '補助線' section includes a '項目追加' (Add Item) button, which is highlighted with a red box, along with '項目削除' (Delete Item) and '移動' (Move) buttons. Below these is a table for 'ラベルのプロパティ' (Label Properties) with columns for 'No.', 'プロットタイプ', '名称', 'サイズ', '色', '表示位置', '補助線' (with sub-columns for '太さ', '色', '透過度'), and '表示単位' (with sub-columns for 1分, 10分, 30分, 1時間, 1日, 1ヶ月, 1年). The 'ラベル' section has a text input field containing 'Sludge concentration', a 'ラベルプロパティ' section with a color picker, a size dropdown set to '12px', and radio buttons for '左側に表示' (checked), '右側に表示', and '表示しない'. At the bottom, there are buttons for 'クリア', '登録', 'キャンセル', and '削除'.

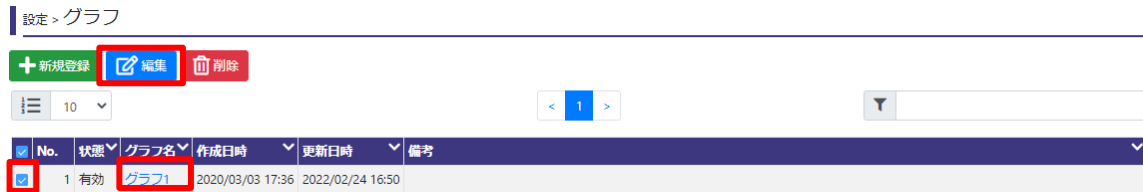
### 2 各項目を入力して[登録]ボタンをクリックします。

登録が完了すると、グラフ設定画面に戻ります。

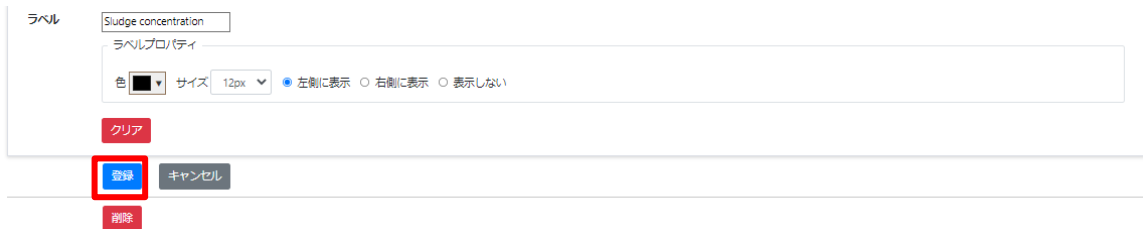
設定項目	必須	設定内容
補助線	<input type="radio"/>	<p>補助線の種類を次の中から選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロットバンド</li> <li>・実線</li> <li>・破線</li> <li>・二点鎖線</li> </ul> <p>また、補助線のプロパティとして以下を設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色：補助線の色をカラーパレットから選択してください。</li> <li>・太さ：補助線の太さを0.5px, 1px, 2px, 3px, 4px, 5pxの中から選択してください(補助線がプロットバンド以外の場合のみ)。</li> <li>・透過度：透過度を0~1(0.1刻み)の中から選択してください。</li> </ul>
値	<input type="radio"/>	<p>補助線の種類がプロットバンドの場合、バンド幅を最小値および最大値で設定してください。補助線の種類がプロットバンド以外の場合、補助線の値を設定してください。</p> <p>設定する値は、設定中のグラフの最小値と最大値の間にする必要があります。設定しない場合、または、左記条件を満たさない値を設定した場合、補助線はグラフに描画されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一括設定：閲覧メニューで表示するグラフの表示単位に対して一括で設定する場合に選択します。</li> <li>・個別設定：閲覧メニューで表示するグラフの表示単位(1分、10分、30分、1時間、1日、1か月、1年)に対して個別に設定する場合に選択します。</li> </ul>
ラベル	<input type="radio"/>	<p>補助線のラベル名を最大30文字まで入力できます。また、ラベルプロパティとして以下を入力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色：ラベルの色をカラーパレットから選択してください。</li> <li>・サイズ：ラベルのサイズを選択してください。</li> <li>・(表示位置)：[左側に表示]を選択すると、ラベルが補助線の左側に表示されます。[右側に表示]を選択すると、ラベルが補助線の右側に表示されます。[表示しない]を選択すると、補助線のラベルを表示しません。</li> </ul>

## 2. グラフの編集を行う

- 1 編集したいグラフ設定をチェックして[編集]をクリックする。  
または編集したいグラフ設定の[グラフ名]をクリックすると詳細設定画面が表示されます。



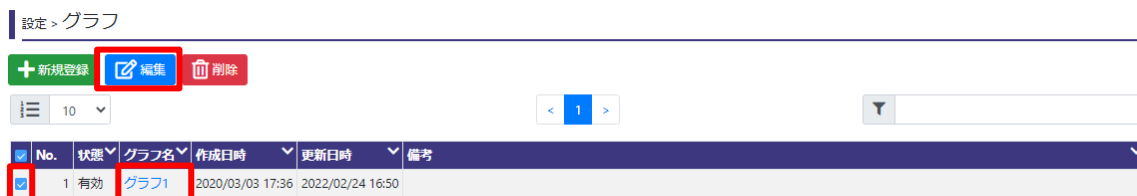
- 2 設定画面が表示されますので、各項目を入力して[登録]ボタンをクリックしてください。  
登録が完了すると、グラフ設定画面に戻ります。



## 3. グラフの削除を行う

### 方法 1

- 1 削除したいグラフ設定をチェックして[編集]をクリックするか、編集したいグラフ設定の[グラフ名]をクリックすると、詳細設定画面が表示されます。



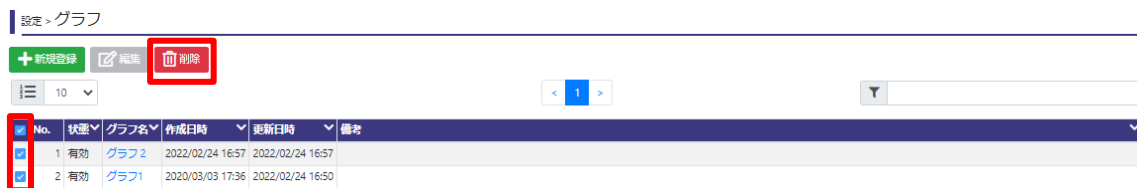
- 2 [削除]ボタンをクリックしてください。

削除が完了すると、グラフ設定画面に戻ります。



### 方法 2

- 1 削除したいグラフ設定をチェックして[削除]をクリックすると、削除の確認画面が表示されます。



- 2 [削除]ボタンをクリックしてください。削除が完了すると、グラフ設定画面に戻ります。



## 6. メール通知の設定を行う

この章では、メール通知を設定するための手順を説明します。


イベント発生または復旧時にメールで通知する場合の、通知先を登録できます。通知先は最大10個まで登録できます。通知先ごとに最大10人のユーザーを登録できます。

メール通知の設定を行うには、ユーザーを設定する必要があります。ユーザーの設定方法について『**ユーザーの設定(P22)**』を参照してください。

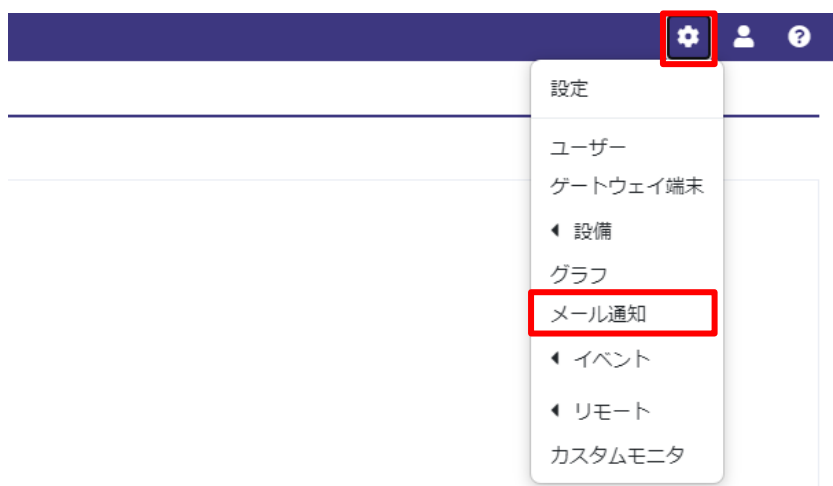
イベントの詳細について『**イベント設定を行う(P87)**』を参照してください。

本章の機能は、管理者のみ利用可能です。

メール通知設定画面は次の手順で表示できます。

**1**  をクリックすると管理メニューが表示されます。

管理メニューから**[メール通知]**をクリックします。



**2** メール通知一覧画面が表示されるので、メールアドレスを設定する通知先をクリックします。

設定 > メール通知

No.	グループ	ユーザー
1	設備A保全チーム	管理者, 作業員 1
2	設備B保全チーム	作業員 1
3	通知先3	
4	通知先4	
5	通知先5	
6	通知先6	
7	通知先7	
8	通知先8	
9	通知先9	
10	通知先10	



- 5 確認メッセージボックスが表示されますので、**[テスト送信]**ボタンをクリックしてテストメールを送信してください。

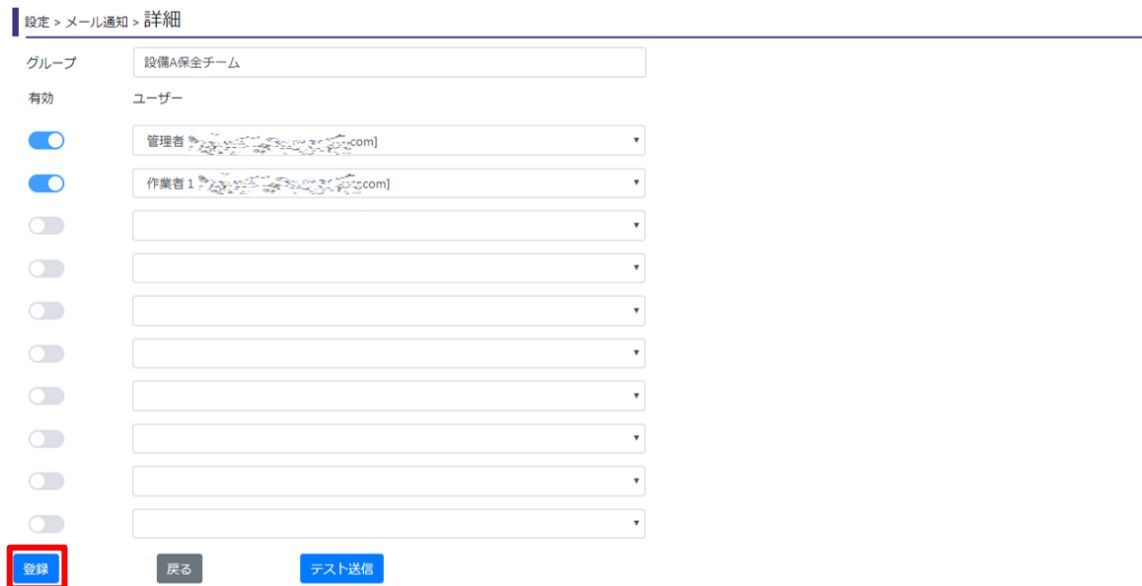


- 6 情報メッセージボックスが表示されますので、**[閉じる]**ボタンをクリックしてメッセージボックスを閉じてください。



- 7 登録されているメールアドレスにテストメールが届くか確認を行ってください。

- 8 テスト送信でメール受信の確認が行えた後、**[登録]**ボタンをクリックします。  
登録完了すると、メール通知一覧画面に戻ります。



## 7. イベント設定を行う

この章では、イベントを設定するための手順を説明します。

イベントを使用して、ゲートウェイ端末の異常等を検知できます。イベントの発生条件を満たすとイベント発生状態となります。その後、イベントの復旧条件を満たすとイベント復旧状態となります。発生および復旧したイベントは、イベント履歴で確認できます。イベントは最大200個まで登録できます。

イベント発生時またはイベント復旧時、メールでユーザーに通知することもできます。

イベントの状態表示を設定している場合、現在のゲートウェイ端末状態を個別に確認できます。

イベントを設定するには、ゲートウェイ端末を設定する必要があります。ゲートウェイ端末の設定方法について『[ゲートウェイ端末の設定を行う\(P27\)](#)』を参照してください。

イベント履歴について『[イベント履歴の表示\(P145\)](#)』を参照してください。

イベント発生時またはイベント復旧時、メールでユーザーに通知するには、メール通知を設定する必要があります。メール通知の設定方法について『[メール通知の設定を行う\(P84\)](#)』を参照してください。

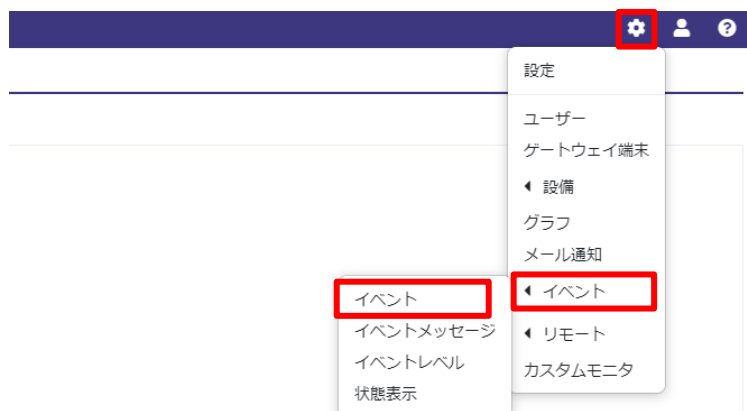
イベントの状態表示の設定方法について『[状態表示の設定を行う\(P98\)](#)』、表示方法について『[イベント状態一覧\(P147\)](#)』を参照してください。

本章の機能は、管理者のみ利用可能です。

イベント設定画面は次の手順で表示できます。

### 1 をクリックすると管理メニューが表示されます。

管理メニューから[イベント]→[イベント]の順にクリックします。



### 2 イベント一覧画面が表示されます。

設定 > イベント > イベント

+ 新規登録

10

No.	状態	装置	名称	レベル	種別	発生	復旧
1	無効	E:1	pH上昇	警報	イベント	項目[SideGate1-M0:1] しきい値[20] 期間[10分 連続] 送信[1:通知先1]に警報[1]	項目[SideGate1-t] しきい値[47] 期間[10分 連続] 送信[1:通知先1]に警報[1]
2	有効	-	SideGate1	システム	途絶	項目[SideGate1] 期間[0.5秒 離れ連続] 送信[1]	項目[SideGate1] 送信[1]

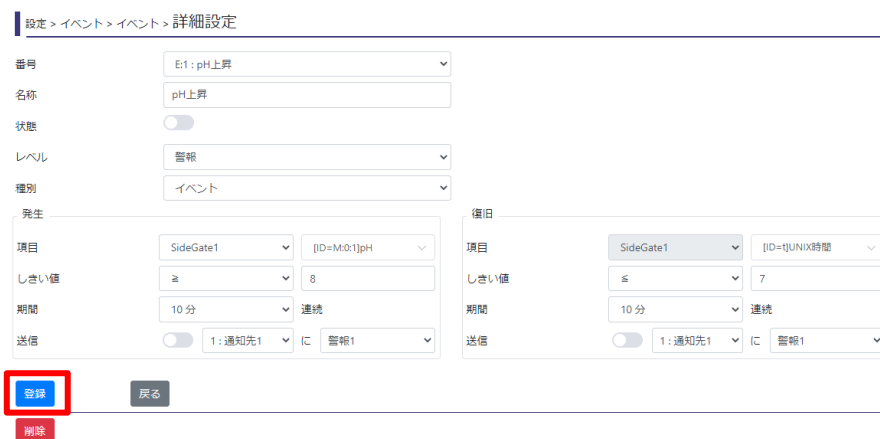
# 1. イベントの登録を行う

1 イベント一覧画面が表示されるので[新規登録]ボタンをクリックします。



2 設定画面が表示されますので、各項目を入力して[登録]ボタンをクリックしてください。

登録完了すると、イベント設定画面に戻ります。



設定項目		必須	設定内容
番号		○	イベントの番号をE:1～E:200の間で選択してください。
名称		○	イベント名称を入力してください。最大50文字まで入力できます。
状態		○	イベントの監視を有効にする場合 <input checked="" type="checkbox"/> に設定してください。
レベル		○	イベントレベルを選択してください。イベントレベルについて『 <b>イベントレベルの登録を行う(P95)</b> 』を参照してください。
種別		○	イベントが選択されます。変更できません。
発生	項目	○	監視する対象を次のとおり設定してください。 ・(ゲートウェイ端末)：監視するゲートウェイ端末を選択してください。 ・(ID)：選択したゲートウェイ端末の計測データのIDを選択してください。
	しきい値	○	条件式を次のとおり設定してください。 ・(条件)：=、≥、≤、≠、変化した時、変化がない時、の中から選択してください。 ・(値)：-999999999.99999～999999999.99999の間で設定してください((条件)が=、≥、≤、≠の場合のみ)。
	期間	○	イベント発生のために条件式が連続で成立すべき期間を1分～15分の間で選択してください((条件)が変化した時以外の場合のみ)。
	送信	○	イベント発生時のメール通知を次のとおり設定してください。 ・(有効/無効)：イベント発生時にメール通知を行う場合 <input checked="" type="checkbox"/> に設定してください。 ・(メール通知先のグループ)：メール通知先のグループを選択してください。 ・(イベントメッセージ)：メール本文の内容として使用するイベントメッセージを選択してください。イベントメッセージについて『 <b>イベントメッセージ設定を行う(P92)</b> 』を参照してください。



復旧	項目	○	監視する対象を次のとおり設定してください。 ・(ID) : 選択したゲートウェイ端末の計測データのIDを選択してください。
	しきい値	○	条件式を次のとおり設定してください。 ・(条件) : =、≥、≤、≠、変化した時、変化がない時、の中から選択してください。 ・(値) : -999999999.99999~999999999.99999の間で設定してください((条件)が=、≥、≤、≠の場合のみ)。
	期間	○	イベント復旧のために条件式が連続で成立すべき期間を1分~15分の間で選択してください((条件)が変化した時以外の場合のみ)。
	送信	○	イベント復旧時のメール通知を次のとおり設定してください。 ・(有効/無効) : イベント復旧時にメール通知を行う場合 <input checked="" type="checkbox"/> に設定してください。 ・(メール通知先のグループ) : メール通知先のグループを選択してください。 ・(イベントメッセージ) : メール本文の内容として使用するイベントメッセージを選択してください。イベントメッセージについて『 <b>イベントメッセージ設定を行う(P92)</b> 』を参照してください。

## 2. イベントの編集を行う

1 イベント一覧画面から編集したいイベント名称をクリックします。

No.	状態	番号	名称	レベル	種別	発生	復旧
1	無効	E1	pH上昇	警報	イベント	項目(SideGate0 M:0:1) しきい値(≧8) 期間(10分 連続) 送信(1:通知先1に警報1)	項目(SideGate0 r) しきい値(≧7) 期間(10分 連続) 送信(1:通知先1に警報1)

2 設定画面が表示されますので、各項目を入力して[登録]ボタンをクリックしてください。  
登録完了すると、イベント設定画面に戻ります。

設定 > イベント > イベント > 詳細設定

番号	E1:pH上昇	復旧	
名称	pH上昇	項目	SideGate1
状態	<input type="checkbox"/>	しきい値	≦ 7
レベル	警報	期間	10分 連続
種別	イベント	送信	<input type="checkbox"/> 1:通知先1に警報1
発生	項目 SideGate1		
	しきい値 [ID=M:0:1]pH		
	≧ 8		
	期間 10分 連続		
	送信 <input type="checkbox"/> 1:通知先1に警報1		

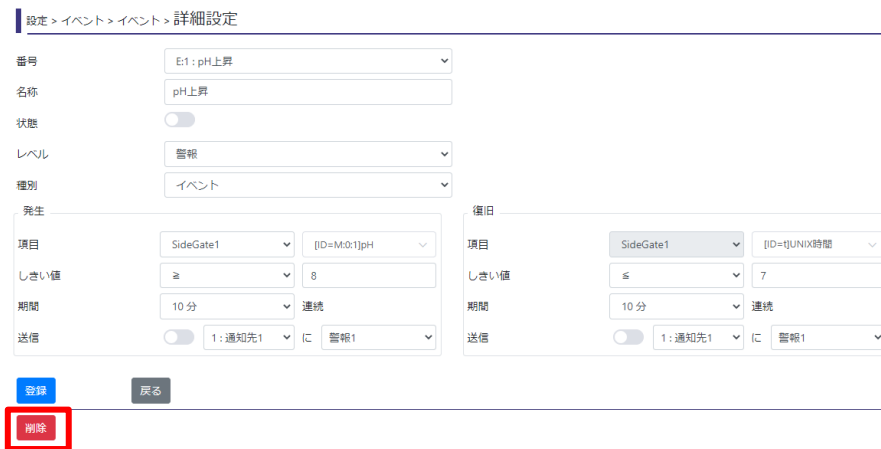
## 3. イベントの削除を行う

1 イベント一覧画面から編集したいイベント名称をクリックします。



2 設定画面が表示されますので、**[削除]**ボタンをクリックしてください。

削除完了すると、イベント設定画面に戻ります。



## 8. イベントメッセージ設定を行う

この章では、イベントメッセージを設定するための手順を説明します。


イベントメッセージは、イベント発生時および復旧時にイベント履歴に表示されます。また、イベント発生時または復旧時のメール通知を有効にしている場合、通知されるメールの本文に使用されます。イベントメッセージは最大100個まで設定できます。

イベント履歴について『[イベント履歴の表示\(P145\)](#)』を参照してください。

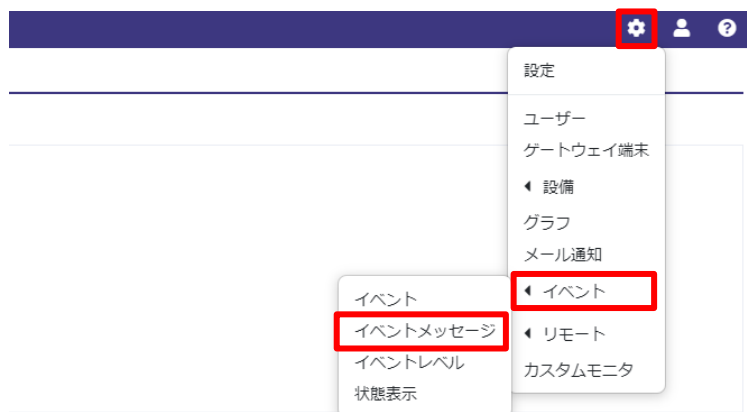
イベント発生時または復旧時のメール通知について『[イベント設定を行う\(P87\)](#)』を参照してください。

本章の機能は、管理者のみ利用可能です。

イベントメッセージ設定画面は次の手順で表示できます。

**1**  をクリックすると管理メニューが表示されます。

管理メニューから[イベント]→[イベントメッセージ]の順にクリックします。



**2** イベントメッセージ一覧画面が表示されます。

設定 > イベント > イベントメッセージ

No.	名称	メッセージ
1	警報1	警報が発生しました
2	汚泥濃度異常	汚泥濃度の上限異常が発生しました。
3	汚泥濃度異常復旧	汚泥濃度の上限異常が復旧しました。
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

# 1. イベントメッセージの登録または編集を行う

- 1 メッセージ一覧から登録または編集したいNo.の名称部分をクリックします(名称部分が空欄でもクリックできます)。

設定 > イベント > イベントメッセージ

No.	名称	メッセージ
1	警報1	警報が発生しました
2	汚泥濃度異常	汚泥濃度の上限異常が発生しました。
3	汚泥濃度異常復旧	汚泥濃度の上限異常が復旧しました。
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

- 2 設定画面が表示されますので、各項目を入力して[登録]ボタンをクリックしてください。  
登録完了すると、イベントメッセージ設定画面に戻ります。

イベント > イベントメッセージ > 詳細設定

名称

メッセージ

設定項目	必須	設定内容
名称	○	イベントメッセージの名称を入力してください。最大30文字まで入力できます。
メッセージ		イベントメッセージの内容を最大100文字まで入力できます。

## 2. イベントメッセージの削除を行う

1 メッセージ一覧から削除したいNo.の名称部分をクリックします。

設定 > イベント > イベントメッセージ

No.	名称	メッセージ
1	警報1	警報が発生しました
2	汚泥濃度異常	汚泥濃度の上限異常が発生しました。
3	汚泥濃度異常復旧	汚泥濃度の上限異常が復旧しました。
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

2 設定画面が表示されますので、**[削除]**ボタンをクリックしてください。

削除完了すると、イベントメッセージ設定画面に戻ります。

イベント > イベントメッセージ > 詳細設定

名称

メッセージ

## 9. イベントレベルの登録を行う


この章では、イベントレベルを設定するための手順を説明します。

イベントの重要度を示すものとして、イベントレベルを最大10段階まで設定できます。イベント履歴でのイベント発生および復旧を示す表現(テキストおよび色)をイベントレベルごとに設定できます。

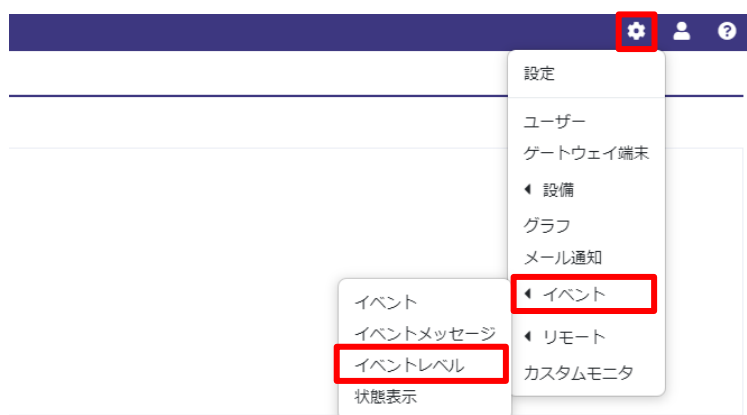
イベント履歴について『[イベント履歴の表示\(P145\)](#)』を参照してください。

本章の機能は、管理者のみ利用可能です。

イベントレベル設定画面は次の手順で表示できます。

**1**  をクリックすると管理メニューが表示されます。

管理メニューから[イベント]→[イベントレベル設定]の順にクリックします。



**2** イベントレベル一覧画面が表示されます。

設定 > イベント > イベントレベル

10

< 1 >

レベル	名称	発生時の表現	復旧時の表現
1	警報	発生	復旧
2	(未登録)		
3	(未登録)		

# 1. イベントレベルの登録または編集を行う

1 登録または編集したいNo.の名称をクリックします。

設定 > イベント > イベントレベル

レベル	名称	発生時の表現	復旧時の表現
1	警報	発生	復旧
2	(未登録)		
3	(未登録)		

2 設定画面が表示されますので、各項目を入力して[登録]ボタンをクリックしてください。  
登録完了すると、イベントレベル設定画面に戻ります。

設定 > イベント > イベントレベル > 詳細設定

名称

発生時の表現  ■

復旧時の表現

登録 戻る

削除

設定項目	必須	設定内容
名称	○	イベントレベルの名称を入力してください。最大30文字まで入力できません。
発生時の表現	○	次の内容を設定してください。 ・(テキスト)：イベント発生時にイベント履歴の「レベル」セルに表示するテキストを入力してください。最大30文字まで入力できます。 ・(色)：上記セルの背景色をカラーパレットから選択してください。
復旧時の表現	○	次の内容を設定してください。 ・(テキスト)：イベント復旧時にイベント履歴の「レベル」セルに表示するテキストを入力してください。最大30文字まで入力できます。 ・(色)：上記セルの背景色をカラーパレットから選択してください。



## 2. イベントレベルの削除を行う

1 登録したい番号の名称をクリックします。

設定 > イベント > イベントレベル

レベル	名称	発生時の表現	復旧時の表現
1	警報	発生	復旧
2	(未登録)		
3	(未登録)		

2 設定画面が表示されますので、**[削除]**ボタンをクリックしてください。

削除完了すると、イベントレベル設定画面に戻ります。

設定 > イベント > イベントレベル > 詳細設定

名称	<input type="text" value="警報"/>
発生時の表現	<input type="text" value="発生"/> <input type="button" value="▼"/>
復旧時の表現	<input type="text" value="復旧"/> <input type="button" value="▼"/>

## 10. 状態表示の設定を行う

この章では、状態表示を設定するための手順を説明します。

状態表示で設定した内容に従ってイベント状態一覧が表示されます。

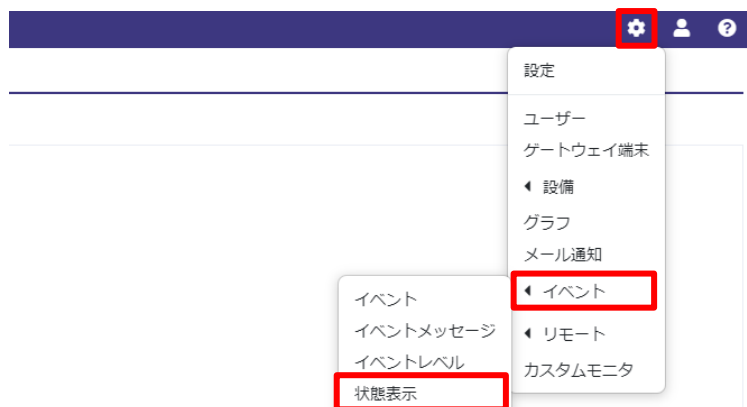
イベント状態一覧について『**イベント状態一覧(P147)**』を参照してください。

本章の機能は、管理者のみ利用可能です。

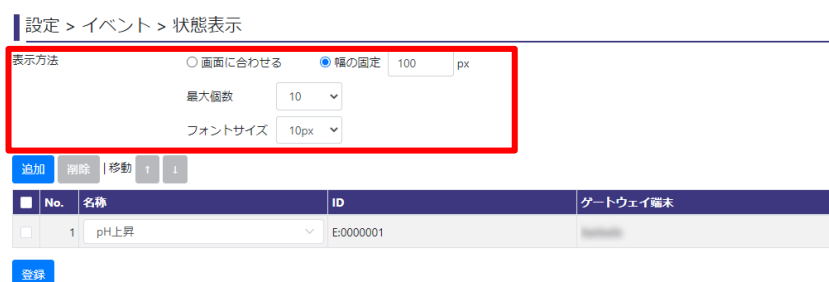
状態表示設定画面は次の手順で表示できます。

**1**  をクリックすると管理メニューが表示されます。。

管理メニューから**[イベント]**→**[状態表示]**の順にクリックします。



**2** 状態表示設定画面が表示されます。

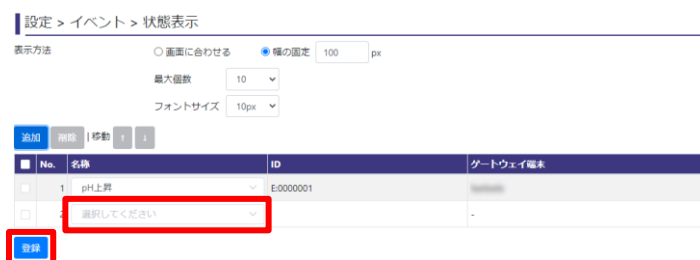


設定項目		設定内容
表示方法	画面に合わせる	イベント状態一覧で表示される各イベント状態の幅を、最大個数分表示できる幅の最大値に自動調整します。
	幅の固定	イベント状態一覧で表示される各イベント状態の幅を、80px~999pxの間で指定します。
	最大個数	イベント状態一覧で表示されるイベント状態を1行あたり何個並べるかを1~12の間で選択してください。この個数を超える分のイベント状態は、折り返して表示されます。
	フォントサイズ	イベント状態に表示するテキストのフォントサイズを選択してください。

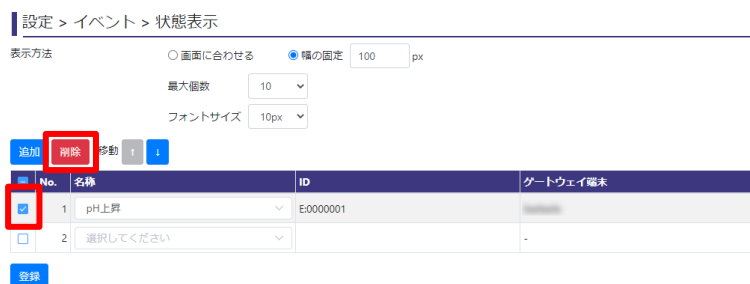
### 3 イベントを追加する場合は、[追加]ボタンをクリックしてください。



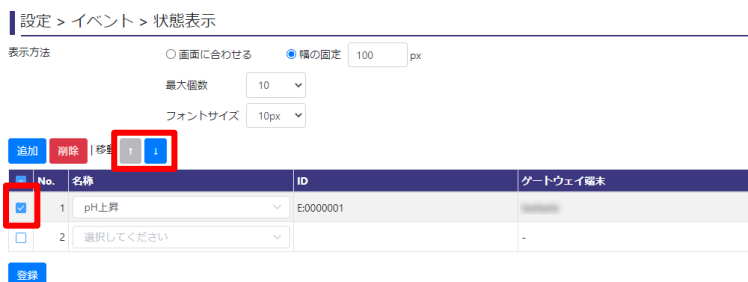
### 4 行が追加されますので、イベント状態一覧に表示するイベントを選択後、[登録]ボタンをクリックしてください。



### 5 削除する場合は、削除するイベントをチェックし、[削除]ボタンをクリックしてください。



### 6 移動する場合は、移動するイベントをチェックし、[↑]ボタンまたは[↓]ボタンをクリックしてください。




# 11. パッケージの登録を行う

この章では、パッケージを登録するための手順を説明します。

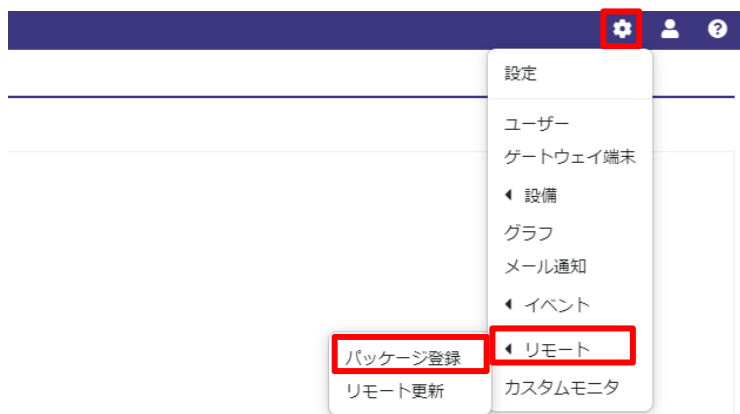
パッケージとは、ゲートウェイ端末の本体ファームウェア、またはゲートウェイ端末に接続したPlus CPUモジュールのユーザープログラムです。ゲートウェイ端末の本体ファームウェアを更新する時、またはゲートウェイ端末からPlus CPUモジュールのユーザープログラム更新を行う時に本機能を使用します。後者について『ゲートウェイ端末からPLCプログラムを更新する(P109)』を参照してください。

本章の機能は、管理者のみ利用可能です。

パッケージ登録画面は次の手順で表示できます。

**1**  をクリックすると管理メニューが表示されます。

管理メニューから[リモート]→[パッケージ登録]の順にクリックします。



**2** パッケージ登録画面が表示されます。



# 1. パッケージを登録する

1 [新規登録]をクリックするとパッケージ登録画面が表示されます。



2 各項目を入力して[保存]をクリックしてください。  
登録が完了すると、パッケージ登録画面に戻ります。

リモート更新 > パッケージ登録 > 詳細設定

種類

ファイル名

機種

パッケージ名

備考

設定項目	必須	設定内容
種類	○	登録するパッケージの種類を次の中から選択してください。 ・本体ファームウェア：ゲートウェイ端末のファームウェアを登録します。 ・PLCプログラム：Plus CPUモジュールのSDメモリカードに保存するフォルダーおよびファイル全体を圧縮したファイルを登録します。
ファイル名	○	選択した【種類】に応じて、次の拡張子のファイルを設定してください。 ・本体ファームウェアの場合：fpkまたはbin ・PLCプログラムの場合：zip
機種	○	本パッケージを使用するゲートウェイ端末の【対応プロトコル】に応じて、次のとおり選択してください。 ・Modbus/TCPの場合：IoT/LTE Gateway(Modbus/TCP)を選択してください。 ・MCプロトコル4E(バイナリ)の場合：IoT/LTE Gateway(MCプロトコル4E(バイナリ))を選択してください。 ・MCプロトコル4E(ASCII)の場合：IoT/LTE Gateway(MCプロトコル4E(ASCII))を選択してください。
パッケージ名	○	任意のパッケージ名を入力してください。最大30文字まで入力できます。
備考		備考を最大200文字まで入力できます。

## 2. パッケージの情報を編集する

- 1 パッケージ名をクリックすると、パッケージの情報画面が表示されます。

リモート更新 > パッケージ登録

+ 新規登録

10

< 1 >

パッケージ名	種類	ファイル名	登録者	作成日時	更新日時
FCDATA01	PLCプログラム	FCDATA01.zip	admin		

- 2 パッケージ名と備考を入力したら[保存]をクリックしてください。

情報

パッケージ名

種類

ファイル名

登録者

作成日時

更新日時

備考

閉じる 保存

## 12. リモート更新の設定を行う

この章では、リモート更新を設定するための手順、および、本機能を使用してPLCプログラムを更新する手順を説明します。


リモート更新とは、どのパッケージを、どのゲートウェイ端末に、いつ配信するか、をまとめたものです。リモート更新は設定後に配信予約状態になります。配信予約状態のリモート更新は、設定された配信時間になった時に配信中状態となります。その後、配信の結果に応じて成功状態または失敗状態となります。配信予約状態または配信中状態のリモート更新を停止することもでき、その際は停止状態となります。リモート更新画面では、各リモート更新の状態も表示します。

リモート更新の削除はできません。代わりに、上記のリモート更新の停止を行います。リモート更新の停止手順について『**リモート更新を停止する(P108)**』を参照してください。

リモート更新を登録するには、パッケージを登録する必要があります。パッケージの登録について『**パッケージの登録を行う(P100)**』を参照してください。

本章の機能は、管理者のみ利用可能です。

リモート更新画面は次の手順で表示できます。

**1**  をクリックすると管理メニューが表示されます。

管理メニューから**[リモート]**→**[リモート更新]**をクリックします。



**2** リモート更新画面が表示されます。



# 1. リモート更新を登録する

1 [新規登録]をクリックすると詳細設定画面が表示されます。



2 各項目を入力した後、[登録]をクリックします。



設定項目	必須	設定内容
パッケージ	○	[選択]をクリックするとパッケージ選択画面が表示されます。表示されるパッケージ名をクリックして選択してください。
配信名称	○	任意の配信名称を入力してください。最大30文字まで入力できます。
備考		備考を最大200文字まで入力できます。
配信日時	○	選択されたパッケージをゲートウェイ端末に配信する日時を指定してください。過去の日時が指定された場合は、即時配信します。現在から2ヶ月後より後の日時は指定できません。
(ゲートウェイ端末一覧)	○	パッケージ選択画面でパッケージ選択後、選択したパッケージの[機種]に応じて、パッケージを配信可能なゲートウェイ端末が一覧表示されます。選択されたパッケージを配信するゲートウェイ端末をチェックしてください。複数選択できます。



## 2. リモート更新の状態を確認する

### 1 リモート更新画面からパッケージ配信情報を確認します。



項目	内容
(画面あたりの表示件数、前へ、次へ、フィルタ)	画面あたりの表示件数を10, 50, 100から選択します。 中央に、検索結果の画面番号を表示します。クリックすると、その画面の検索結果を表示します。 左右にある[<]または[>]をクリックすると、前または次の画面を表示します。 左側のテキストボックスに文字列を入力すると、配信名称、配信日時、結果日時、備考に対して、指定した文字列で全文検索した結果を表示します。
配信名称	リモート更新の配信名称が表示されます。クリックすると詳細設定画面が開きます。詳細設定画面について『 <b>リモート更新の設定を編集する(P106)</b> 』を参照してください。
配信日時	リモート更新の配信日時が表示されます。
結果日時	リモート更新の状態が成功、失敗、または停止の場合、その状態が変わったときの日時が表示されます。 リモート更新の状態が配信予約の場合、リモート更新を登録した日時が表示されます。
状態	次のいずれかが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・配信予約：配信予約状態です。</li> <li>・配信中：配信中状態です。</li> <li>・成功：成功状態です。設定されたパッケージが、設定されたすべてのゲートウェイ端末に配信されたことを示します。</li> <li>・失敗：失敗状態です。設定されたパッケージが、少なくとも1つのゲートウェイ端末に配信できなかったことを示します。配信できなかったゲートウェイ端末は、詳細設定画面の(ゲートウェイ端末一覧)上で、「状態」列に「失敗」と表示されます。詳細設定画面について『<b>リモート更新の設定を編集する(P106)</b>』を参照してください。</li> <li>・停止：停止状態です。</li> </ul>
完了件数	右側に、リモート更新対象のゲートウェイ端末の数が表示されます。 左側に、リモート更新が成功または失敗したゲートウェイ端末の数が表示されます。
備考	備考が表示されます。

### 3. リモート更新の設定を編集する

リモート更新の登録後、詳細設定画面で配信名称または備考の編集ができます。

詳細設定画面は、リモート更新の失敗時、各ゲートウェイ端末への配信が成功したかどうかの詳細内容も表示します。

配信名称および備考以外の設定を編集したい場合、編集したいリモート更新を停止し、リモート更新を新しく登録してください。

リモート更新の編集手順は次のとおりです。

#### 1 編集したいパッケージ配信情報をチェックして[編集]をクリックします。

設定 > リモート更新

+ 新規登録 **編集**

10

< 1 >

<input checked="" type="checkbox"/>	No.	配信名称	配信日時	結果日時	状態	完了件数	備考
<input checked="" type="checkbox"/>	1	FCDATA01			配信予約	0/1	

#### 2 配信名称と備考を編集後、[登録]をクリックします。

設定 > リモート更新 > 詳細設定

パッケージ FCDATA01 **表示**

配信名称 FCDATA01

備考

配信日時 ※過去の時間が指定された場合は、即時配信します。  
※配信の日付は2ヶ月以内を選択してください。

No.	ゲートウェイ端末名	結果日時	状態	バージョン	詳細
1	SideGate1	-	未配信		

**登録** 戻る

停止

設定項目		必須	設定内容
配信名称		○	任意の配信名称を入力してください。最大30文字まで入力できます。
備考			備考を最大200文字まで入力できます。
(ゲートウェイ端末一覧)	No.		連番を表示します。
	ゲートウェイ端末名		ゲートウェイ端末名を表示します。
	結果日時		ゲートウェイ端末に対するリモート更新の成功、失敗、または停止後、その日時を表示します。
	状態		ゲートウェイ端末に対するリモート更新の状態を表示します。
	バージョン		ゲートウェイ端末のファームウェアのバージョンを表示します。
	詳細		リモート更新が成功時、何も表示しません。 リモート更新が失敗時、パッケージの種類に応じてエラーコードを表示します。エラーコードについて次節を参照してください。

## エラーコード一覧

### 本体ファームウェア更新

エラーコード	内容	説明
1	ファームウェア格納場所のデータのクリアに失敗	ゲートウェイ端末を再起動し、再度本体ファームウェア更新を実行してください。
2	ファームウェア格納場所にファームウェアをコピーするのに失敗	ゲートウェイ端末を再起動し、再度本体ファームウェア更新を実行してください。

### PLCプログラム更新

エラーコード	内容	説明
1	PLCとの接続に失敗	PLCプログラム更新設定で設定した[転送先]、[ポート]、[ユーザー名]、[パスワード]を再度確認してください。PLCプログラム更新設定について『PLCプログラム更新設定(P39)』を参照してください。
2	PLCとの接続に失敗(タイムアウト)	PLCがネットワークから切断されていないか確認してください。
3	データ転送に失敗	パッケージ登録で設定したzipファイルに、FTPで転送可能なフォルダーまたはファイルがあることを確認してください。 なお、FTPサーバーから接続が切断された場合もこのエラーになります。
4	データ転送に失敗(タイムアウト)	PLCがネットワークから切断されていないか確認してください。
5	フォルダー変更に失敗	PLCプログラム更新設定で設定した[転送先ディレクトリ]を再度確認してください。PLCプログラム更新設定について『PLCプログラム更新設定(P39)』を参照してください。
6	フォルダー変更に失敗(タイムアウト)	PLCがネットワークから切断されていないか確認してください。
8	パラメーター不正	PLCプログラム更新設定で設定した[転送先]、[ポート]、[ユーザー名]、[パスワード]、[転送先ディレクトリ]を再度確認してください。PLCプログラム更新設定について『PLCプログラム更新設定(P39)』を参照してください。

## 4. リモート更新を停止する

1 状態が配信予約または配信中のリモート更新をチェックして[編集]をクリックします。

設定 > リモート更新

+ 新規登録 **編集**

10

< 1 >

<input checked="" type="checkbox"/>	No.	配信名称	配信日時	結果日時	状態	完了件数	備考
<input checked="" type="checkbox"/>	1	FCDATA01			配信予約	0/1	

2 [停止]をクリックします。

設定 > リモート更新 > 詳細設定

パッケージ: FCDATA01 **表示**

配信名称: FCDATA01

備考:

配信日時:   ※過去の時間が指定された場合は、即時配信します。  
※配信の日付は2ヶ月以内を選択してください。

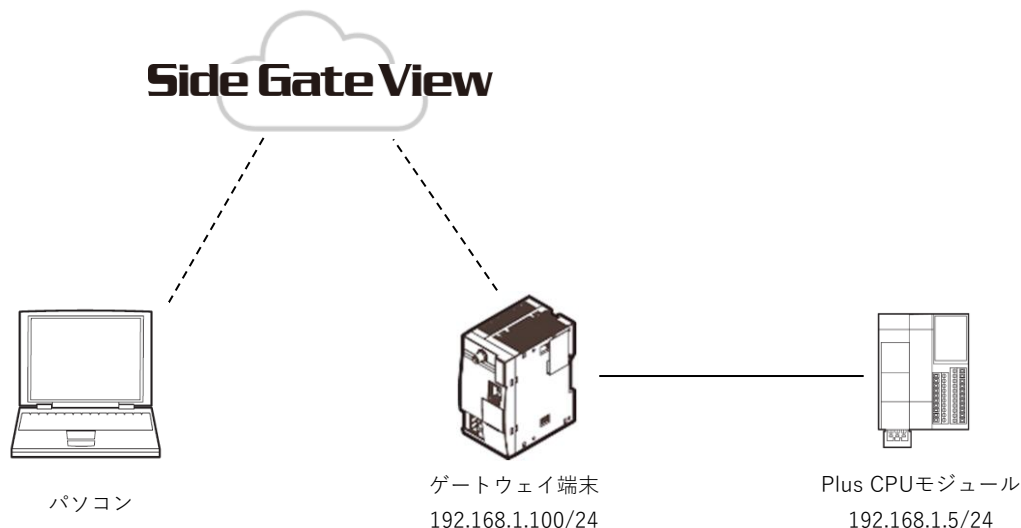
No.	ゲートウェイ宛先名	結果日時	状態	バージョン	詳細
1	SideGate1	-	未配信		

**登録** **戻る**

**停止**

## 5. ゲートウェイ端末からPLCプログラムを更新する

この章では、ゲートウェイ端末からPlus CPU モジュールのユーザープログラムを更新する手順を説明します。



- 1 WindLDRを使用して、Plus CPU モジュールのユーザープログラムを作成します。ファンクションエリア設定で次の設定を行い、ダウンロードします。詳細はFC6A形マイクロスマート通信マニュアルを参照してください。

設定項目		設定内容	
イーサネット ポート1	IP設定	IPアドレス	192.168.1.5
		サブネットマスク	255.255.255.0
		デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
	FTPサーバー設定	FTPサーバー機能を有効にする	チェックボックスをONしてください。
		FTPサーバーにアクセスするユーザーアカウントを設定する	<b>[設定]</b> をクリックしてユーザーアカウント設定ダイアログを開き、ユーザー名user1、パスワードpassword1のユーザーを追加してください。
		保護された接続のみを許可する(SSL/TLS)	チェックボックスをOFFしてください。

- 2 WindLDRを使用して、PLCプログラム更新時にPlus CPU モジュールにダウンロードするユーザープログラムを作成します。その後、リボンの**[設定] - [SDカード] - [設定]** をクリックしてSDメモリカードダイアログを開き、次の内容を確認して**[OK]**をクリックします。フォルダー選択ダイアログで選択したフォルダー内に、FCDATA01フォルダーが作成されます。詳細はFC6A形マイクロスマートユーザーズマニュアルを参照してください。

設定項目		設定内容
基本設定	動作	<b>[ダウンロード]</b> がONであることを確認してください。
	ZLDプロジェクト	<b>[現在のプロジェクトから作成する]</b> がONであることを確認してください。

- 3** FCDATA01フォルダーの下に作成された各フォルダーおよびautoexec.iniファイルを、zip形式に圧縮します。Windows 10の場合、エクスプローラーでFCDATA01フォルダーを開き、その中にあるフォルダーおよびファイルをすべて選択して右クリックし、**[送る]**サブメニューの**[圧縮 (zip) フォルダー]**をクリックします。右クリックしたフォルダーまたはファイルの名前のzipファイルが作成されます (空のフォルダーはzipファイル内に追加されなかった旨のメッセージが表示されますが、無視してください)。



- 4** SideGateViewに管理者ユーザーでログインします。
- 5** ゲートウェイ端末の登録を行います。詳細は『**ゲートウェイ端末を登録する(P29)**』を参照してください。

設定項目	設定内容
ゲートウェイ端末名	任意のゲートウェイ端末名を設定してください。ここではSideGate1とします。
シリアル番号	ゲートウェイ端末側面のシールに記載の「S/N(13桁)」を入力してください。
通信設定	任意のIPアドレスおよびサブネットマスクを設定してください。ここではIPアドレス192.168.1.100、サブネットマスク255.255.255.0とします。

- 6** 次のとおりゲートウェイ端末のPLCプログラム更新設定を行います。詳細は『**PLCプログラム更新設定(P39)**』を参照してください。

設定項目	設定内容
転送先	192.168.1.5
ポート	21
ユーザー名	user1
パスワード	password1
転送先ディレクトリ	/FCDATA01

- 7** 手順2で作成したZLDファイルを、次のとおりパッケージとして登録します。詳細は『**パッケージを登録する(P101)**』を参照してください。

設定項目	設定内容
種類	PLCプログラム
ファイル名	上記手順3で作成したzipファイルを選択してください。
パッケージ名	任意のパッケージ名を入力してください。最大30文字まで入力できます。

**8** ゲートウェイ端末のイーサネットポートとPlus CPUモジュールのイーサネットポート1をイーサネットケーブルで接続します。Plus CPU モジュールのSDメモ리카ードスロットにSDメモ리카ードを挿入します。

**9** 次のとおりリモート更新を登録します。詳細は『**リモート更新を登録する(P104)**』を参照してください。

設定項目	設定内容
パッケージ	上記手順7で登録したパッケージを選択してください。
配信名称	任意の配信名称を入力してください。最大30文字まで入力できます。
配信日時	現在時刻が表示されていることを確認してください。
(ゲートウェイ端末一覧)	SideGate1をチェックしてください。

**10** リモート更新の登録後、登録したリモート更新の状態は配信中となります。しばらく待った後、F5キーを押してリロードしてください。登録したリモート更新の状態が成功状態になります。

**11** リモート更新の状態が成功状態になった後、Plus CPUモジュールのSDメモ리카ードからのダウンロードを実行できます。以下のいずれかを実施します。

- Plus CPUモジュールの電源を切り、電源を入れます。
- SDメモ리카ードからのダウンロード実行フラグ(M8250)をONします。

**12** SDメモ리카ードダウンロード/アップロード実行完了出力(M8254)がONし、SDメモ리카ードダウンロード/アップロード実行ステータス(D8255)の値が0(正常終了)であることを確認します。

#### 補足情報

- M8250にアクセスするために、Plus CPUモジュールのModbus TCPサーバー機能を使用できます。左記機能において、M8250はコイルのアドレス9201です。遠隔制御を使用して左記コイルのアドレスをONすれば、M8250をONできます。Plus CPUモジュールのModbus TCPサーバーを有効にする方法、およびModbus TCPサーバーのアドレスマップについて、FC6A形マイクロスマート通信マニュアルを参照してください。遠隔制御について『**遠隔制御を行う(P45)**』を参照してください。
- M8254およびD8255にアクセスするために、Plus CPUモジュールのModbus TCPサーバー機能を使用できます。左記機能において、M8254はコイルのアドレス9205、D8255は保持レジスタのアドレス408256です。ダッシュボードやイベント、またはカスタムモニタを使用して、左記各デバイスアドレスの状態および値を確認できます。ダッシュボードについて『**ダッシュボードの設定を行う(P62)**』を参照してください。イベントについて『**イベント設定を行う(P87)**』を参照してください。カスタムモニタについて『**カスタムモニタの設定を行う (P112)**』を参照してください。

## 13. カスタムモニタの設定を行う

この章では、カスタムモニタを設定するための手順を説明します。カスタムモニタを使用してページを作成し、ゲートウェイ端末の外部通信設定で取得した値をグラフィカルに表示できます。

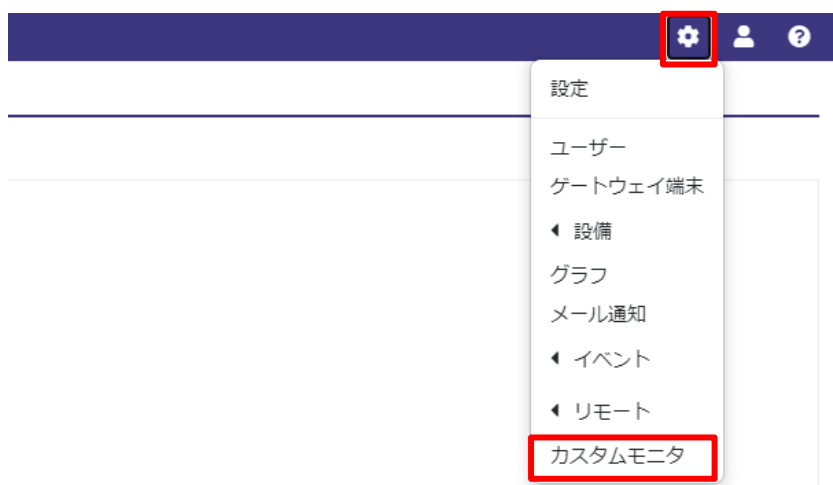
本章の機能は、オプション契約（カスタムモニタ画面基本）（SG9Y-SJPBH01）を購入した管理者のみ利用可能です。ライセンスについて『**ライセンスを管理する(P124)**』を参照してください。

オプション契約（カスタムモニタ画面基本）（SG9Y-SJPBH01）ライセンスのみ登録している場合、設定可能なページ数は3、設定可能なサイズは30MBまでです。オプション契約（カスタムモニタ画面拡張）（SG9Y-SJPAH01）ライセンスを登録するごとに、設定可能なページ数が1増え、設定可能なサイズが10MB増えます。

ページ一覧画面は以下の手順で表示できます。

**1**  をクリックすると管理メニューが表示されます。

管理メニューから**[カスタムモニタ]**をクリックします。



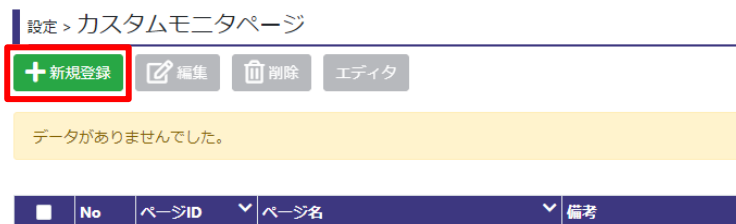
**2** ページ一覧画面が表示されます。





# 1. カスタムモニタの登録を行う

1 [新規登録]ボタンをクリックすると詳細設定画面が表示されます。



2 各項目を入力して[登録]ボタンをクリックします。登録が完了すると、ページ一覧画面に戻ります。

設定項目	必須	設定内容
ページID	○	ページIDを3～10文字で入力してください。英数字のみ使用できます。
ページ名	○	ページ名を入力してください。最大50文字まで入力できます。
備考		備考を最大200文字まで入力できます。

## 2. カスタムモニタを編集する

- 1 編集するページをチェックして[エディタ]をクリックします。新規タブでエディタ画面が表示されます。



- 2 エディタ画面の操作方法についてはエディタのヘルプを参照してください。


# ユーザーメニュー

ユーザーアカウントの個別の設定やライセンスの管理について説明します。

# 1. アカウント詳細の設定を行う

この章では、ログインしたユーザーの情報を設定する手順について説明します。

アカウント詳細画面は次の手順で表示できます。

**1** をクリックするとユーザーメニューが表示されます。

ユーザーメニューから[アカウント詳細]をクリックします。



**2** アカウント詳細画面が表示されます。

アカウント詳細

ユーザーID  [パスワード変更](#)

ユーザー名

メールアドレス

言語

2段階認証  ※この変更は直ちに適用されます。

ログインの監視

ログイン通知

ログイン失敗回数の監視  ※0~24時ログイン失敗回数を監視します。

監視の基準時間

備考

**3** 次のとおりアカウント詳細を変更して[登録]ボタンをクリックします。

設定項目		必須	設定内容
ユーザーID			ユーザーIDが表示されます(変更できません)。
パスワード変更			パスワードを変更できます。詳細について『 <b>パスワード変更(P118)</b> 』を参照してください。
ユーザー名		<input type="radio"/>	ユーザー名を入力してください。30文字まで入力できます。
メールアドレス		<input type="radio"/>	メールアドレスを入力してください。50文字まで入力できます。
言語		<input type="radio"/>	言語を日本語、Englishから選択してください。
2段階認証			2段階認証を有効にする場合 <input checked="" type="radio"/> に設定してください。詳細について『 <b>2段階認証(P119)</b> 』を参照してください。
ログインの監視	ログイン通知		このユーザーIDでログインがあったことをメールで通知する場合、 <input checked="" type="radio"/> に設定してください。
	ログイン失敗回数の監視		このユーザーIDでのログインがロックされたことをメールで通知する場合、 <input checked="" type="radio"/> に設定してください。ロックについて『 <b>補足情報(P19)</b> 』を参照してください。
	監視の基準時間		ログイン失敗回数の監視は0時から24時の間行われます。[ <b>ログイン失敗回数の監視</b> ]を <input checked="" type="radio"/> に設定する場合、左記0時がどの標準時での0時かを指定してください。
備考			備考を200文字まで入力できます。

# 1. パスワード変更

1 アカウント詳細画面の[パスワード変更]をクリックします。

アカウント詳細

ユーザーID	admin	パスワード変更
ユーザー名	管理者	
メールアドレス		
言語	日本語	
2段階認証	<input type="checkbox"/> ※この変更は直ちに適用されます。	
ログインの監視	ログイン通知	<input type="checkbox"/>
	ログイン失敗回数の監視	<input type="checkbox"/> ※0~24時ログイン失敗回数を監視します。
	監視の基準時間	(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京
備考		

2 パスワード変更画面が表示されるので、[古いパスワード]に変更前パスワードを入力し、[新しいパスワード]および[新しいパスワードの確認]に変更後パスワードを入力して[登録]ボタンをクリックします。

パスワード変更

古いパスワード	
新しいパスワード	
新しいパスワードの確認	

## 2. 2段階認証

### ◆ 2段階認証の有効化

1 次のいずれかの認証アプリをスマートフォンにインストールします。

Google Authenticator



Microsoft Authenticator



2 2段階認証を  にすると、認証コード入力画面が表示されます。

アカウント詳細

ユーザーID  [パスワード変更](#)

ユーザー名

メールアドレス

言語

2段階認証  ※この変更は直ちに適用されます。

ログイン通知

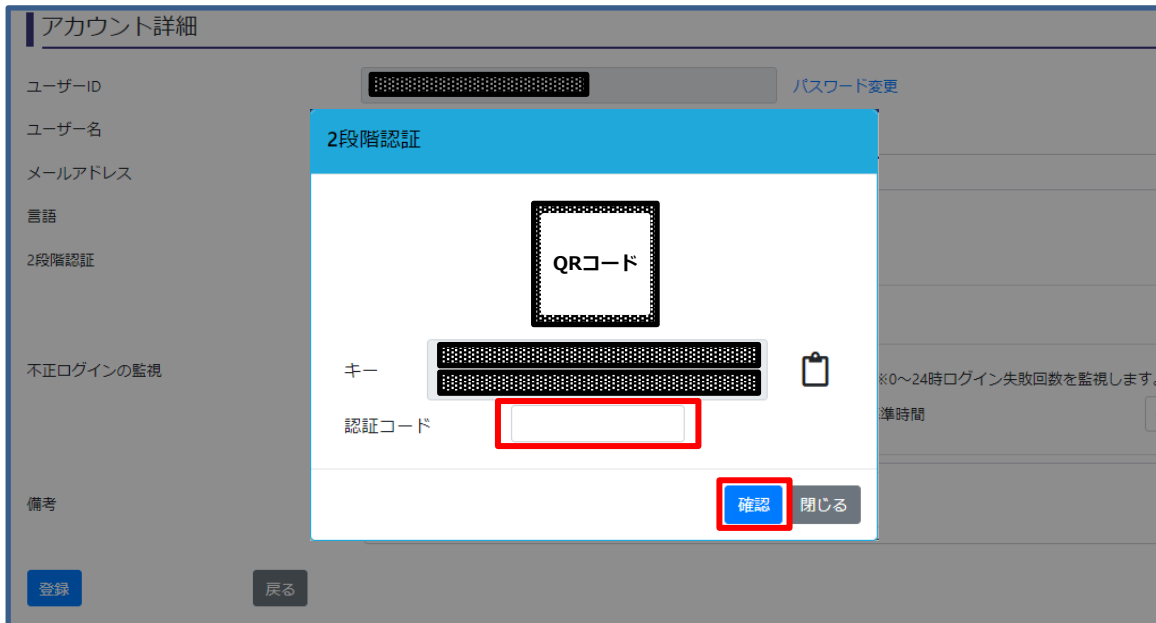
ログインの監視

ログイン失敗回数の監視  ※0~24時ログイン失敗回数を監視します。

監視の基準時間

備考

- 3 認証アプリを起動し、QRコードを読み取ってください。認証アプリの画面に表示されている6桁の数字の認証コードを入力し、**[確認]**ボタンをクリックしてください。



#### 補足情報

Google Authenticatorをご利用の場合、Google Authenticator内のQRコード読み取り機能を使用してQRコードを読み取ります。Microsoft Authenticatorをご利用の場合、スマートフォンの標準カメラアプリを使用してQRコードを読み取ります。



## ◆ 2段階認証設定時のログイン

- 1 ログイン画面に[契約番号]、[ユーザーID]および[パスワード]を入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。

ログイン

契約番号

ユーザーID

パスワード

ログイン

パスワードをお忘れの場合

お客様へのお知らせは、[こちら](#)でご確認いただけます。

- 2 2段階認証画面が表示されるので、認証アプリに表示されている6桁の認証コードを入力して [送信] ボタンをクリックします。

2段階認証


認証アプリに表示されている、認証コードを入力してください。

6桁のコード

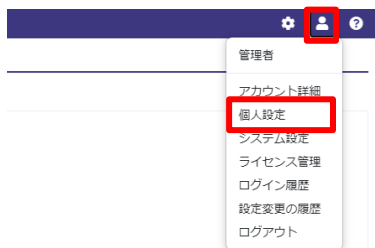
送信

## 2. 個人設定を行う

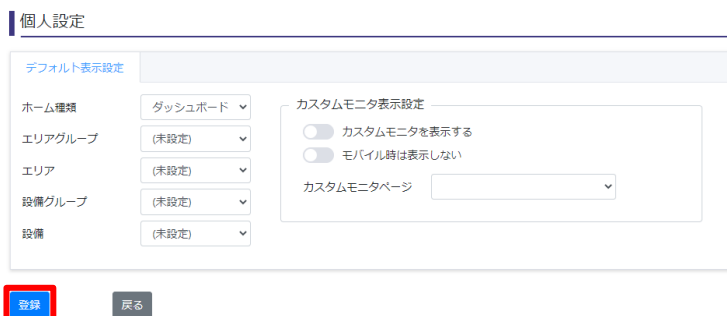
この章では、ホーム画面の表示内容を設定する手順について説明します。

**1**  をクリックするとユーザーメニューが表示されます。

ユーザーメニューから[個人設定]をクリックします。



**2** 個人設定画面が表示されるので、設定を変更して[登録]ボタンをクリックしてください。




設定項目	必須	設定内容
ホーム種類	○	ダッシュボードが選択されます(変更できません)。
エリアグループ	○	ログイン直後に表示するダッシュボードを指定します。すべて(未設定)の場合、defaultのダッシュボードを表示します。 表示したいグループを設定した場合、そのグループの親グループも設定してください
エリア	○	
設備グループ	○	
設備	○	例：(設備グループを表示する場合) 設備は、(未設定)を設定します。 設備グループは、表示したい設備グループを設定します。 エリアは、上記設備グループを子に持つエリアが存在する場合、そのエリアを選択します。存在しない場合(未設定)を設定します。 エリアグループは、上記エリアを子に持つエリアグループが存在する場合、そのエリアグループを選択します。存在しない場合(未設定)を設定します。
カスタムモニタ表示設定		本機能は、オプション契約 (カスタムモニタ画面基本) (SG9Y-SJPBH01) ライセンスを購入した管理者、またはその管理者で作成した一般ユーザーで利用可能です。ライセンスについて『 <b>ライセンスを管理する(P124)</b> 』を参照してください。
	カスタムモニタを表示する	ログイン直後にカスタムモニタを表示する場合、 <input checked="" type="checkbox"/> に設定してください。
	モバイル時は表示しない	ログイン直後にカスタムモニタを表示するが、スマートフォン等からのアクセス時はダッシュボードを表示する場合、 <input checked="" type="checkbox"/> に設定してください。
	カスタムモニタページ	ログイン直後にカスタムモニタを表示する場合、表示するページを選択してください。

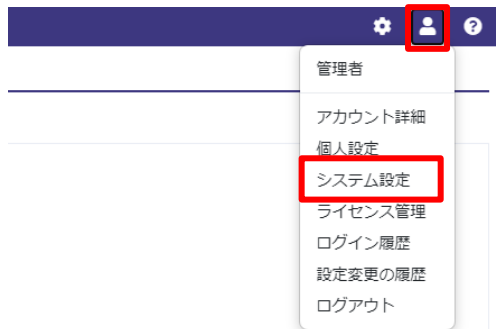
## 3. システム設定を行う

この章では、画面上部(ヘッダー)の表示内容を設定する手順について説明します。  
本章の機能は、管理者のみ利用可能です。

システム設定画面は、次の手順で表示できます。

1 をクリックするとユーザーメニューが表示されます。

ユーザーメニューから[システム設定]をクリックします。



2 カスタマイズ設定画面が表示されます。設定を変更して[登録]ボタンをクリックしてください。設定した内容でヘッダーが表示されます。

システム設定

システム名

ヘッダー設定  システム標準  カスタムカラー 

ロゴ画像の登録   ※画像の高さは35px以内(jpg形式、gif形式、png形式、svg形式)


外部リンク   新規ウィンドウで表示

設定項目	必須	設定内容
システム名		システム名を20文字まで入力できます。システム名はヘッダー中央に表示します。また、本サービスから自動送信されるメールの件名で使用します。
ヘッダー設定	<input type="radio"/>	ヘッダーのカラーを次の中から選択してください。 ・システム標準：システムの標準カラーです。 ・カスタムカラー：任意のカラーをカラーパレットから選択できます。
ロゴ画像の登録		ロゴ画像を設定できます。対応している拡張子はjpg形式、gif形式、png形式、svg形式です。設定したロゴ画像は、閲覧メニューのアイコンの右側に表示します。なお、高さ36px以上の画像の場合、高さを35pxに縮小して表示します。
外部リンク		ロゴ画像をクリックした時に開くURLを300文字まで設定できます。

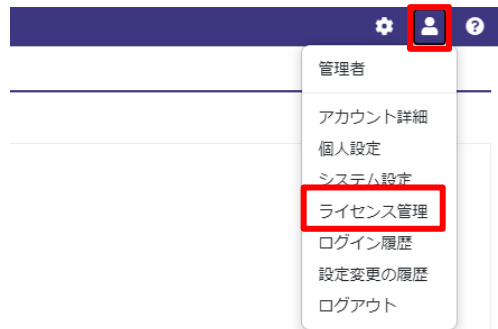
## 4. ライセンスを管理する

この章では、ライセンスを購入および管理する手順について説明します。  
本章の機能は、管理者のみ利用可能です。

ライセンス管理画面は、次の手順で表示できます。

**1**  をクリックするとユーザーメニューが表示されます。

ユーザーメニューから[ライセンス管理]をクリックします。



**2** ライセンス管理画面が表示されます。



設定項目		設定内容
ライセンス一覧		<p>次の内容を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライセンス：登録済のライセンス名を表示します。</li> <li>・注文番号：ライセンス購入時に発行される注文番号を表示します。</li> <li>・数量(未割当数)：当該ライセンスが何台までのゲートウェイ端末に割り当て可能かを表示します。カッコ内には未割り当て数を表示します。</li> <li>・開始：当該ライセンスの開始日時を表示します。</li> <li>・終了：当該ライセンスの終了日時を表示します。</li> <li>・状態：自動更新が設定されている場合「自動更新」を表示します。自動更新が設定されていない場合「自動更新なし」を表示します。</li> </ul>
ライセンス割当	ゲートウェイ 端末	<p>次の内容を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲートウェイ端末名：ゲートウェイ端末名を表示します。クリックして当該ゲートウェイ端末にライセンスを割り当てることができます。詳細は『<b>ライセンスの割当(P129)</b>』を参照してください。</li> <li>・機種：ゲートウェイ端末登録時に設定した機種を表示します。</li> <li>・シリアル番号：ゲートウェイ端末登録時に設定したシリアル番号を表示します。</li> <li>・作成日時：ゲートウェイ端末を登録した日時を表示します。</li> <li>・ゲートウェイ端末ID：ゲートウェイ端末IDを表示します。</li> <li>・ライセンス：当該ゲートウェイ端末に割り付けられたライセンスがある場合、そのライセンスを表示します。</li> </ul>
	ユーザー	登録済のユーザーアカウントの一覧が表示されます。

# 1. 本サービスで利用可能なライセンス

本サービスで利用可能なライセンスは次のとおりです。

ライセンス名	型番	対象	内容
サービス利用基本契約	SG1A-SJP0001	SG1A形1台	ゲートウェイ端末を継続して利用するために必須のライセンスです。
オプション契約（カスタムモニタ画面基本）	SG9Y-SJPBH01	契約番号1つ	カスタムモニタの設定および表示のために必要な機能が有効になります。また、設定可能なページ数3つ、設定可能なサイズ30MBが提供されます。カスタムモニタの設定について『 <b>カスタムモニタの設定を行う(P112)</b> 』を参照してください。カスタムモニタの表示について『 <b>カスタムモニタの表示(P150)</b> 』を参照してください。
オプション契約（カスタムモニタ画面拡張）	SG9Y-SJPAH01	契約番号1つ (複数割り当て可能)	カスタムモニタで設定可能なページ数を1増やし、設定可能なサイズを10MB増やします。また、管理メニューの[ユーザー]で設定可能なユーザーの最大数を1増やします。
オプション契約（グラフ拡張）	SG9Y-SJPAG01	契約番号1つ (複数割り当て可能)	管理メニューの[グラフ]で設定可能なグラフの数を1増やします。また、管理メニューの[ユーザー]で設定可能なユーザーの最大数を1増やします。グラフの設定について『 <b>グラフの設定を行う(P78)</b> 』を参照してください。
オプション契約（遠隔制御機能）	SG9Y-SJPPC01	SG1A形1台	管理メニューの[ゲートウェイ端末]から開くゲートウェイ端末一覧画面で、本ライセンスを割り当てたゲートウェイ端末の[遠隔制御]および[遠隔制御履歴]を利用可能にします。遠隔制御について『 <b>遠隔制御を行う(P45)</b> 』を参照してください。遠隔制御履歴について『 <b>遠隔制御履歴の表示(P55)</b> 』を参照してください。

## 補足情報

- 上記各ライセンスは、年単位または月単位で更新が必要になります。
- オプション契約（カスタムモニタ画面拡張）（SG9Y-SJPAH01）は、カスタムモニタの設定および表示のために必要な機能を有効にする機能がありません。

## 2. ライセンスの購入と登録

1 ライセンス管理画面から、[ライセンス追加]ボタンをクリックします。

管理 > ライセンス管理

契約番号	契約開始	サービス 上限設定
<input type="text" value="XXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX"/>	<input type="text" value="2021/10/26"/>	<input type="text"/>

ライセンス一覧

**+ ライセンス追加** [請求情報](#) [自動更新解除](#)

ライセンス	注文番号	数量(未割当数)
保有ライセンスがありません。		

2 ライセンス追加画面が表示されます。[ライセンスの購入はこちら]のリンクをクリックします。

ライセンス追加

[ライセンスの購入はこちら](#)

メールに記載されているライセンスキーを入力してください

3 ライセンス購入の画面が表示されますので、必要なライセンスの[購入する]ボタンをクリックします。  
サービス利用基本契約（SG1A-SJP0001）ライセンスを購入する場合は、下に示すボタンをクリックします。

DEC

MicroSmart FC6A Plus クラウドデータロガー PLCプログラミングセミナー IoT事例紹介

利用基本契約 オプション契約

IoTクラウドサービス ライセンス購入

LTE通信費とクラウド利用料はまとめて支払い、定期支払いの手続きを削減できます。  
※製品のご使用には製品本体のご購入とサービス利用基本契約（ライセンス購入）が必要です。

利用基本契約

サービス利用基本契約
製品を使用するために必要となる基本ライセンスです。製品1台につき1ライセンスをご購入ください。
製品型番：SG1A-SJP0001
月額料金：2,200円
<input type="button" value="購入する"/>

オプション契約

利用基本契約に、各オプション機能を追加することができます。

カスタムモニタ画面基本	カスタムモニタ画面拡張	グラフ拡張	遠隔制御機能
-------------	-------------	-------	--------

4 決済情報入力画面が表示されます。**[数量]**を必要に応じて変更し、**[今すぐ注文]**ボタンをクリックします。



5 合計金額に問題ないことをご確認の上、請求情報および支払情報を入力し、**[今すぐ購入]**ボタンをクリックします。



- 6** ライセンス購入後、メールにてライセンスキーの案内が届きます。  
 ライセンス追加画面のライセンスキー入力欄にライセンスキーを入力し、**[登録]**ボタンをクリックします。

- 7** 登録が完了すると、購入したライセンスがライセンス一覧に表示されます。

ライセンス一覧

+ ライセンス追加 [請求情報](#) [自動更新解除](#)

10 < 1 >

ライセンス	注文番号	数量(未割当数)	開始	終了	状態
<a href="#">サービス利用基本契約(SG1A-SJP0001)</a>		1(1)			自動更新



## 3. ライセンスの割当

- 1 ライセンス割当に表示されているゲートウェイ端末名をクリックします。

ライセンス一覧

+ ライセンス追加 請求情報 自動更新解除

10

< 1 >

Y

ライセンス	注文番号	数量(未割当数)	開始	終了	状態
サービス利用基本契約(SG1A-SJP0001)		1(1)			自動更新

ライセンス割当

ゲートウェイ端末

ゲートウェイ端末名	機種	シリアル番号	作成日時	ゲートウェイ端末ID	ライセンス
Gateway-1	IoT/LTE Gateway(MCプロトコル4E(ASCII))				

- 2 ライセンス割当画面が表示されますので、割り当てるライセンスの右に表示されているチェックボックスを  にして、[登録] ボタンをクリックします。'

ライセンス割当

割り当てるライセンスを選択してください

サービス利用基本契約 (SG1A-SJP0001)

閉じる 登録

- 3 ライセンス割当が行われると、割り当てられたライセンスのライセンス名がゲートウェイ端末のライセンス欄に表示されます。また、ライセンス一覧で、該当のライセンスの未割当数が1減ります。

ライセンス一覧

+ ライセンス追加 請求情報 自動更新解除

10

< 1 >

Y

ライセンス	注文番号	数量(未割当数)	開始	終了	状態
サービス利用基本契約(SG1A-SJP0001)		1(0)			自動更新

ライセンス割当

ゲートウェイ端末


ゲートウェイ端末名	機種	シリアル番号	作成日時	ゲートウェイ端末ID	ライセンス
Gateway-1	IoT/LTE Gateway(MCプロトコル4E(ASCII))				サービス利用基本契約(SG1A-SJP0001)

## 5. ログイン履歴を表示する

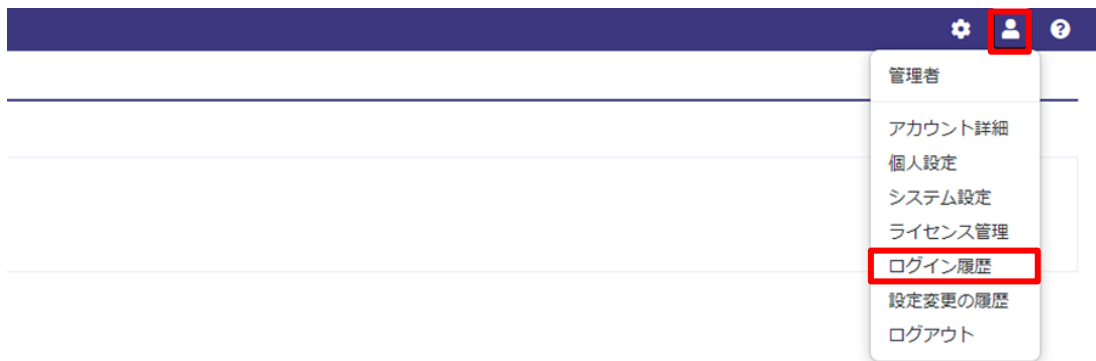
この章では、ログイン履歴を表示する手順について説明します。

ユーザーがログインするたびに、ログインしたユーザーのユーザー名、ログイン日時、IPアドレス（本サービス側から見たグローバルIPアドレス）、ブラウザ情報（ユーザーエージェント）を履歴に残します。ログイン履歴を使用して、その情報を一覧で表示できます。ログイン履歴の保持期間について『**データの保持期間 (P15)**』を参照してください。

ログイン履歴画面は以下の手順で表示できます。

**1**  をクリックするとユーザーメニューが表示されます。

ユーザーメニューから**[ログイン履歴]**をクリックします。



**2** ログイン履歴画面が表示されます。

表示条件を変更して**[検索]**ボタンをクリックすると、最大1,000件まで検索結果を表示します。

履歴 > ログイン履歴

The screenshot shows the 'ログイン履歴' (Login History) search interface. A search criteria section is highlighted with a red box, containing:
 

- ユーザー名 (User Name): A dropdown menu.
- 期間 (Period): Two date pickers with a tilde (~) between them.
- 表示順 (Display Order): Radio buttons for '古いデータから表示' (Display from old data) and '新しいデータから表示' (Display from new data), with the latter selected.
- 検索 (Search): A blue button with a magnifying glass icon.

 Below the search criteria, a table is shown with a red box around the header and pagination. The table header includes columns for ユーザーID (User ID), ユーザー名 (User Name), ログイン日時 (Login Date/Time), IPアドレス (IP Address), and ブラウザ情報 (Browser Information). The pagination shows 10 items per page and page numbers 1, 2, 3.


設定項目	必須	設定内容
ユーザー名	○	ログインしているユーザーが管理者の場合、検索対象のユーザー名を選択してください。空白を選択すると、全ユーザーを検索対象とします。ログインしているユーザーが一般ユーザーの場合、自分自身が選択されます(変更できません)。
期間		検索対象の期間を年月日で入力できます。 すべての期間を指定するには、左右とも空欄にします。 ある日時以降を指定するには、左側のみ設定します。 ある日時以前を指定するには、右側のみ設定します。
表示順	○	検索結果の表示順を次の中から選択してください。 ・古いデータから表示 ・新しいデータから表示
(画面あたりの表示件数、前へ、次へ、フィルタ)		画面あたりの表示件数を10, 50, 100から選択します。 検索ボタンの下に、検索結果の画面番号を表示します。クリックすると、その画面の検索結果を表示します。左右にある[<]または[>]をクリックすると、前または次の画面を表示します。 左側のテキストボックスに文字列を入力すると、検索結果全体(ユーザーID、ユーザー名、ログイン日時、IPアドレス、ブラウザ拡張の文字列)に対して、指定した文字列で全文検索した結果を表示します。

## 6. 設定変更の履歴の表示

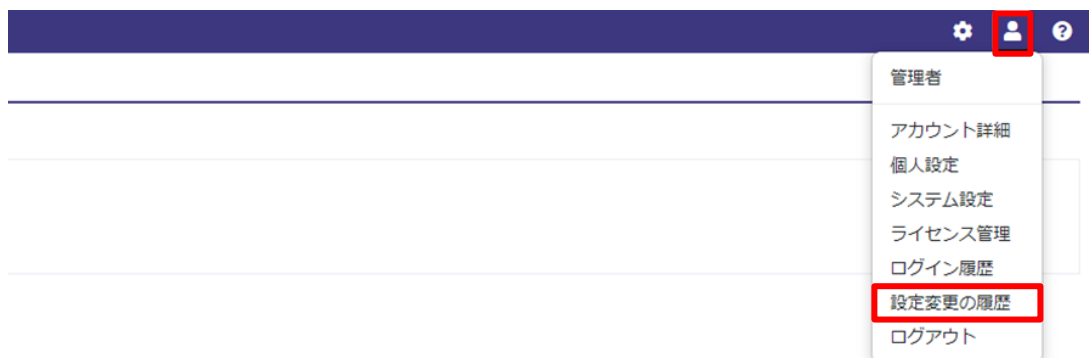
この章では、設定変更の履歴を表示する手順について説明します。

ユーザーが設定を変更するたびに、その変更を行った日時、ユーザーID、ユーザー名、操作(登録、更新、または削除)、内容(操作の詳細)、IPアドレス(本サービス側から見たグローバルIPアドレス)、ブラウザ情報(ユーザーエージェント)を履歴に残します。設定変更の履歴を使用して、その情報を一覧で表示できます。設定変更の履歴の保持期間について『データの保持期間(P15)』を参照してください。

設定変更の履歴画面は、次の手順で表示できます。

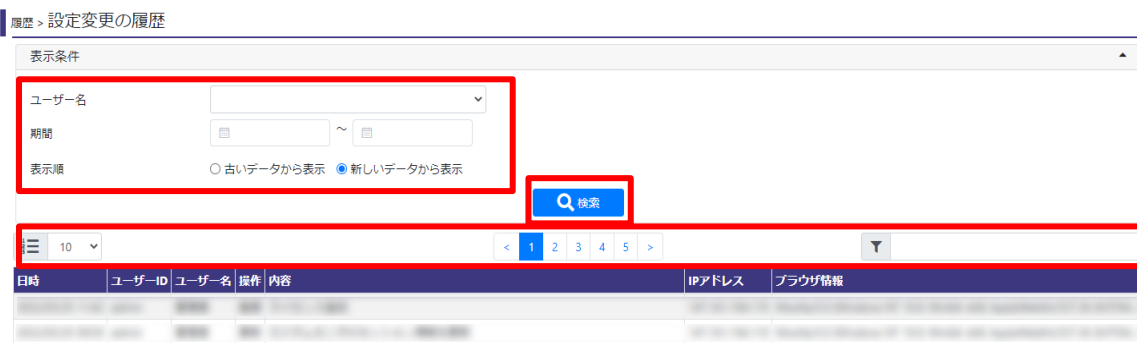
**1** をクリックするとユーザーメニューが表示されます。

ユーザーメニューから[設定変更の履歴]をクリックします。



**2** 設定変更の履歴画面が表示されます。


表示条件を変更して[検索]ボタンをクリックすると、最大1,000件まで検索結果を表示します。



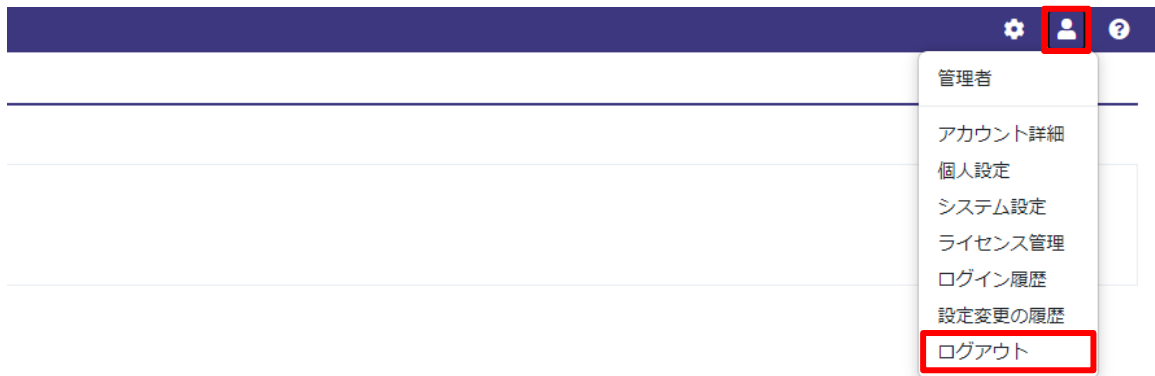
設定項目	必須	設定内容
ユーザー名		表示したいユーザー名を選択してください。ログインしているユーザーが管理者の場合、空白を選択して全ユーザーを検索対象にできます。ログインしているユーザーが一般ユーザーの場合、自分自身が選択されます(変更できません)。
期間		検索対象の期間を年月日で入力できます。 すべての期間を指定するには、左右とも空欄にします。 ある日時以降を指定するには、左側のみ設定します。 ある日時以前を指定するには、右側のみ設定します。
表示順	○	検索結果の表示順を次の中から選択してください。 ・古いデータから表示 ・新しいデータから表示
(画面あたりの表示件数、前へ、次へ、フィルタ)		画面あたりの表示件数を10, 50, 100から選択します。 検索ボタンの下に、検索結果の画面番号を表示します。クリックすると、その画面の検索結果を表示します。左右にある[<]または[>]をクリックすると、前または次の画面を表示します。 左側のテキストボックスに文字列を入力すると、検索結果全体(日時、ユーザーID、ユーザー名、操作、内容、IPアドレス、ブラウザ情報)に対して、指定した文字列で全文検索した結果を表示します。

## 7. ログアウト

この章では、本サービスからログアウトする方法について説明します。

**1** をクリックするとユーザーメニューが表示されます。

ユーザーメニューから[ログアウト]をクリックします。



**2** ログアウトに成功すると、ログイン画面が表示されます。




# 閲覧メニュー

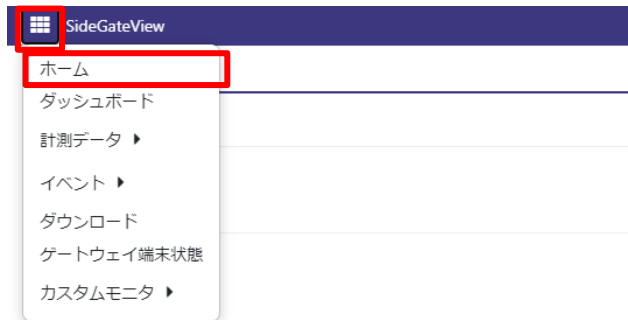
収集した計測データを各種方法で閲覧する操作について説明します。

# 1. ホームの表示

この章では、ホーム画面の表示について説明します。  
ホーム画面は、ログイン直後に表示される画面です。

ホーム画面は、次の手順で表示できます。

- 1 をクリックすると閲覧メニューが表示されます。  
閲覧メニューから**[ホーム]**をクリックします。



- 2 個人設定の設定内容に従いホーム画面が表示されます。  
個人設定について『**個人設定を行う(P122)**』を参照してください。




## 2. ダッシュボードの表示

この章では、ダッシュボードの表示について説明します。

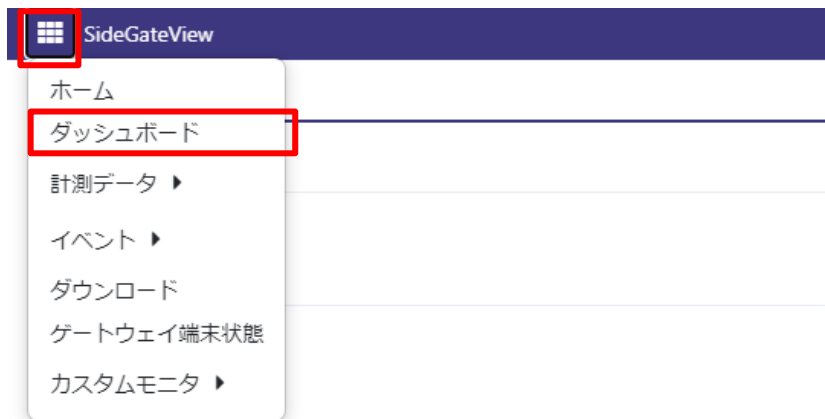
ダッシュボードについて『[ダッシュボードの設定を行う\(P62\)](#)』を参照してください。

ダッシュボードの表示内容は、個人設定で変更できます。個人設定について『[個人設定を行う\(P122\)](#)』を参照してください。

ダッシュボードは、次の手順で表示できます。

**1** をクリックすると閲覧メニューが表示されます。

閲覧メニューから[[ダッシュボード](#)]をクリックします。



**2** ダッシュボード画面が表示されます。



### 3 各階層のダッシュボードを表示できます。



No.	操作説明
①	エリアグループ、エリア、設備グループ、または設備の一覧を表示します。 選択した項目に応じてダッシュボードを更新します。
②	設備のダッシュボードを表示している場合(表の列ヘッダーが「ゲートウェイ端末名」である場合)、ゲートウェイ端末名部分をクリックするとモニタ画面を表示します。選択したゲートウェイ端末の計測データを表形式で表示します。 それ以外の場合(表の列ヘッダーが「エリア名」「設備グループ名」「設備名」である場合)、選択したエリア、設備グループ、設備名のダッシュボードを表示します。
③	設備のダッシュボードを表示している場合(表の列ヘッダーが「ゲートウェイ端末名」である場合)、ゲートウェイ端末の詳細設定で設定した外部リンクのアイコンを表示します。 それ以外の場合(表の列ヘッダーが「エリア名」「設備グループ名」「設備名」である場合)、グループ設定で設定した外部リンクのアイコンを表示します。 マウスオーバーすると、設定した外部リンクの名称を表示します。 クリックすると、設定した外部リンクのURLを開きます。
④	列ヘッダー右端をクリックし、表示したい通信状態を選択して【確認】をクリックすると、選択した通信状態の項目のみを表示できます。絞り込みをやめてすべて表示する場合は【クリア】をクリックします。
⑤	列ヘッダー右端をクリックし、表示したい値の範囲を選択して【確認】をクリックすると、次の値の範囲に絞り込んで表示できます。絞り込みをやめてすべて表示する場合は【クリア】をクリックします。 ・ 上限：上限のしきい値以上 ・ 上限：上限のしきい値以上、上限のしきい値未満 ・ 下限：下限のしきい値より大きい、下限のしきい値未満 ・ 下限：下限のしきい値以下

## 3. 計測データ(表)の表示

この章では、計測データ(表)の表示について説明します。

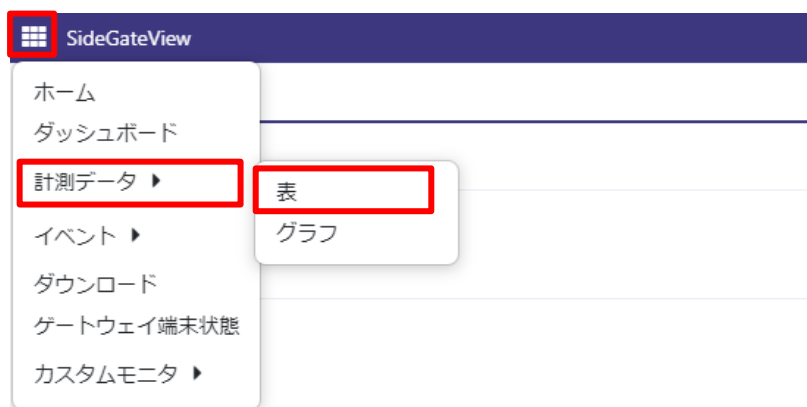
ゲートウェイ端末およびグループの計測データのうち、計測データ表示を有効にした計測データを表の形式で表示できます。

ゲートウェイ端末の計測データ表示の設定方法について『計測データを設定する(P32)』を参照してください。グループの計測データ表示の設定方法について『グループ設定の登録を行う(P58)』を参照してください。計測データの保持期間について『データの保持期間(P15)』を参照してください。

計測データ(表)表示画面は、次の手順で表示できます。

### 1 𠄎をクリックすると閲覧メニューが表示されます。

閲覧メニューから[計測データ]→[表]の順にクリックします。



### 2 計測データ(表)表示画面が表示されます。

表示条件を変更して[検索]ボタンをクリックすると、最大2,000件または4MBのサイズまでの検索結果を表示します。

No.	日時	投入汚泥濃度	サービスタンク供給量	無機貯留タンク供給量	高分子貯留タンク供給量	駆動電動機電流	給泥側軸受温度	異音油装置電流	振動量	差速値	外筒回転数
1	2020-03-03 17:59	1.69064	13.398	26.820	25.695	0.33268	16.42	1.58093	0.45690	320	0.32111
2	2020-03-03 17:58	1.51000	13.558	26.165	26.332	0.32733	16.08	1.57382	0.45911	336	0.32345
3	2020-03-03 17:57	1.69138	13.463	25.029	26.681	0.32709	15.91	1.57740	0.45357	340	0.32214
4	2020-03-03 17:56	1.67289	13.500	26.013	26.570	0.33830	15.97	1.53520	0.46798	325	0.32261
5	2020-03-03 17:55	1.61780	12.423	25.115	25.735	0.32518	16.52	1.52102	0.46070	339	0.32331
6	2020-03-03 17:54	1.57740	12.823	26.196	25.167	0.33350	16.39	1.54739	0.45005	321	0.32304
7	2020-03-03 17:53	1.56501	13.082	26.178	26.043	0.33991	15.80	1.59093	0.45004	340	0.32281
8	2020-03-03 17:52	1.68489	13.960	25.154	26.460	0.33165	16.02	1.58001	0.45567	333	0.32774

設定項目	必須	設定内容
計測データ	○	<p>[<b>ゲートウェイ端末</b>]を選択すると、左側のコンボボックスにゲートウェイ端末一覧が表示されます。検索対象のゲートウェイ端末を選択してください。[<b>設備</b>]を選択すると、左側のコンボボックスにグループの一覧が表示されます。検索対象のグループを選択してください。</p> <p>右側のコンボボックスで、時間単位を1年単位、1ヶ月単位、1日単位、1時間単位、30分単位、10分単位、1分単位の中から選択してください。1分単位の場合に表示される検索結果では、計測データ設定のタイプは無視されます。</p>
期間	○	<p>表示単位が1年単位、1ヶ月単位の場合、期間を年単位で設定します。</p> <p>表示単位が1日単位の場合、期間を年月単位で設定します。</p> <p>表示単位が1時間単位、30分単位、10分単位の場合、期間を年月日単位で設定します。</p> <p>表示単位が1分単位の場合、期間を年月日時単位で設定します。</p>
表示順	○	<p>検索結果の表示順を次の中から選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古いデータから表示</li> <li>・新しいデータから表示</li> </ul>
(画面あたりの表示件数、前へ、次へ)		<p>画面あたりの表示件数を10, 50, 100から選択します。</p> <p>検索ボタンの下に、検索結果の画面番号を表示します。クリックすると、その画面の検索結果を表示します。左右にある[&lt;]または[&gt;]をクリックすると、前または次の画面を表示します。</p>

## 4. 計測データ(グラフ)の表示

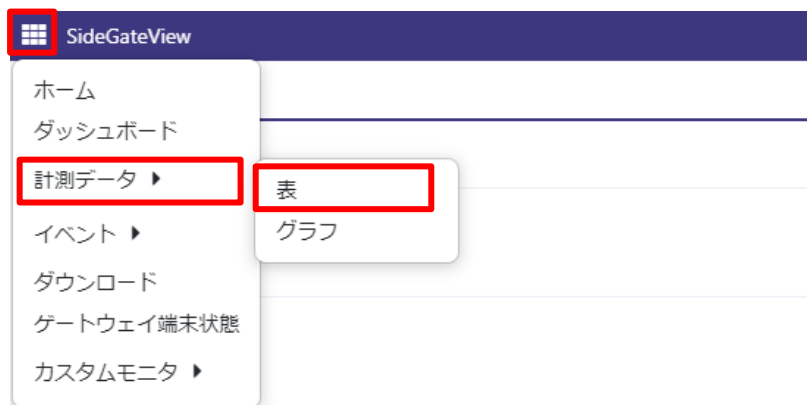
この章では、計測データ(グラフ)の表示について説明します。

グラフ設定画面で設定したグラフのうち、[状態]が●に設定されているグラフ設定は、本画面で表示できます。グラフ設定画面について『[グラフの設定を行う\(P78\)](#)』を参照してください。計測データの保持期間について『[データの保持期間\(P15\)](#)』を参照してください。

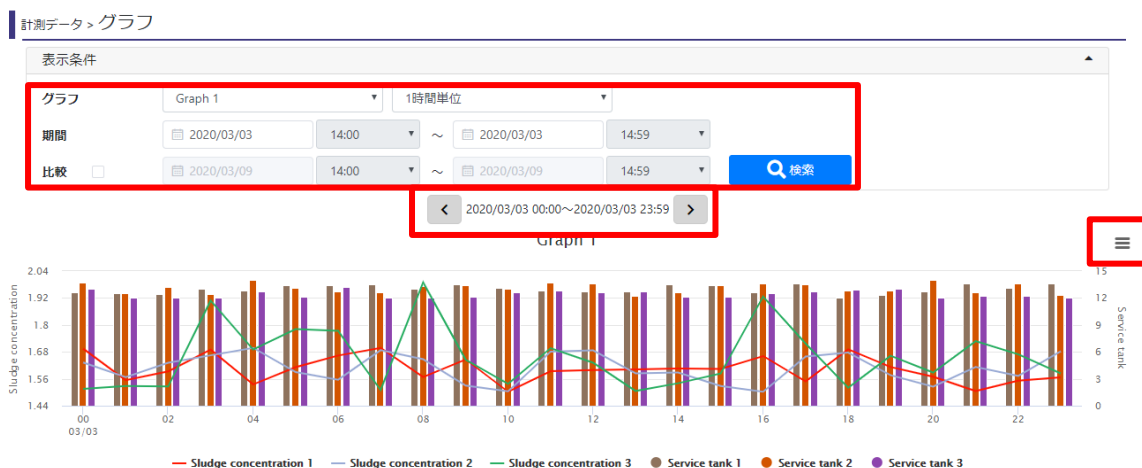
計測データ(グラフ)表示画面は、次の手順で表示できます。

1 をクリックすると閲覧メニューが表示されます。

閲覧メニューから[計測データ]→[グラフ]の順にクリックします。



2 計測データ(グラフ)表示画面が表示されます。表示条件を変更して[検索]ボタンをクリックすると、指定した検索条件での検索結果を表示します。



設定項目	必須	設定内容
グラフ	○	<p>左側のコンボボックスで、表示するグラフ設定を選択してください。左側のコンボボックスで、取得するデータの単位を1年、1ヶ月、1日、1時間、30分、10分、1分の中から選択してください。</p> <p>取得するデータの単位が1ヶ月の場合、1度に1年分のグラフを表示します。</p> <p>取得するデータの単位が1日の場合、1度に1ヶ月分のグラフを表示します。</p> <p>取得するデータの単位が1時間、30分、10分の場合、1度に1日分のグラフを表示します。</p> <p>取得するデータの単位が1分の場合、1度に1時間分のグラフを表示します。</p>
期間	○	<p>取得するデータの単位が1年、1ヶ月の場合、期間を年単位で設定します。</p> <p>取得するデータの単位が1日の場合、期間を年月単位で設定します。</p> <p>取得するデータの単位が1時間、30分、10分の場合、期間を年月日単位で設定します。</p> <p>取得するデータの単位が1分の場合、期間を年月日時単位で設定します。</p>
比較		<p><b>[期間]</b>で指定した期間と別の期間のデータを同時に表示したい場合、チェックボックスにチェックを入れてください。また、その別の期間を設定してください。</p>
(前へ、次へ)		<p><b>[&lt;]</b>または<b>[&gt;]</b>をクリックすると、前または次のグラフを表示します。</p> <p>中央に、現在表示しているグラフの開始日時と終了日時を表示します。</p>
(グラフ右上のメニュー)		<p><b>[ページ印刷]</b>をクリックするとグラフを印刷できます。</p> <p><b>[PNG画像でダウンロード]</b>をクリックすると、グラフの画像をPNG形式でダウンロードできます。</p> <p><b>[CSVファイルでダウンロード]</b>をクリックすると、グラフのデータをCSVファイル形式でダウンロードできます(<b>[比較]</b>が無効の場合のみ)。</p>

## 5. 計測データのダウンロード

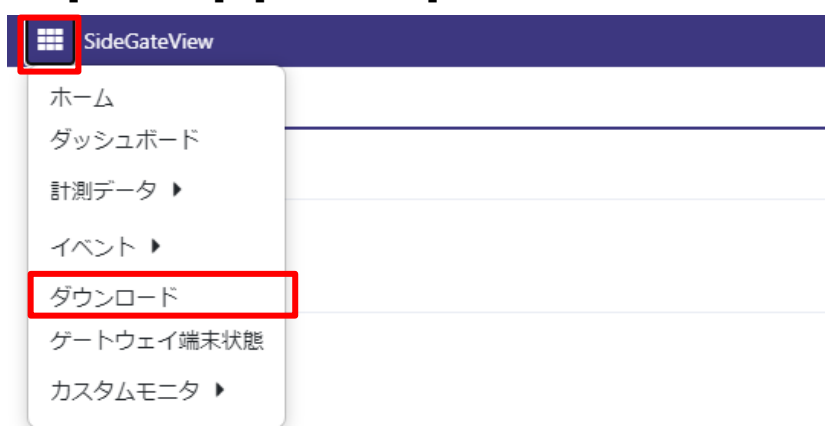
この章では、計測データのダウンロードについて説明します。

ゲートウェイ端末の計測データ設定により取得した計測データを、期間を指定してCSV形式でダウンロードできます。計測データの保持期間について『**データの保持期間(P15)**』を参照してください。

ダウンロード画面は、次の手順で表示できます。

**1** ☰をクリックすると閲覧メニューが表示されます。

閲覧メニューから[計測データ]→[ダウンロード]の順にクリックします。



**2** ダウンロード画面が表示されます。



### 3 ゲートウェイ端末にチェックを入れ、ダウンロード対象のデータの期間および種別を設定してください。

ダウンロード

~ 
時データ
ダウンロード

少なくとも1つ以上のゲートウェイ機器を選択してください。

10
 < 1 >

<input checked="" type="checkbox"/>	No.	ゲートウェイ端末	シリアル番号	備考
<input checked="" type="checkbox"/>	1	SideGate1		

設定項目	必須	設定内容
(期間、単位)	○	<p>右側のコンボボックスで、ダウンロードするデータの種別を年データ、月データ、日データ、時データ、30分データ、10分データ、1分データ、イベント履歴の中から選択してください。イベント履歴を選択するとイベント履歴のデータをダウンロードします。それ以外を選択すると、ゲートウェイ端末の計測データをダウンロードします。</p> <p>右側のコンボボックスの設定に応じて、左側のコンボボックスで、ダウンロード対象のデータの期間を指定してください。</p> <p>年データ、月データの場合、期間を年単位で設定します。</p> <p>日データの場合、年月単位で設定します。</p> <p>時データ、30分データ、10分データ、イベント履歴の場合、年月日単位で設定します。</p> <p>分データの場合、年月日単位で機関の開始のみ設定します。</p>

### 4 [ダウンロード]ボタンをクリックしてください。

zipファイルがダウンロードされます。

zipファイルを解凍すると、ダウンロード対象のデータを格納したcsvファイルが取り出せます。

ダウンロード

~ 
時データ
ダウンロード

少なくとも1つ以上のゲートウェイ機器を選択してください。

10
 < 1 >

<input checked="" type="checkbox"/>	No.	ゲートウェイ端末	シリアル番号	備考
<input checked="" type="checkbox"/>	1	SideGate1		



## 6. イベント履歴の表示

この章では、イベント履歴の表示について説明します。

発生または復旧したイベントは、イベント履歴で表示できます。イベントについて『**イベント設定を行う (P87)**』を参照してください。イベント履歴の保持期間について『**データの保持期間(P15)**』を参照してください。

イベント履歴画面は、次の手順で表示できます。

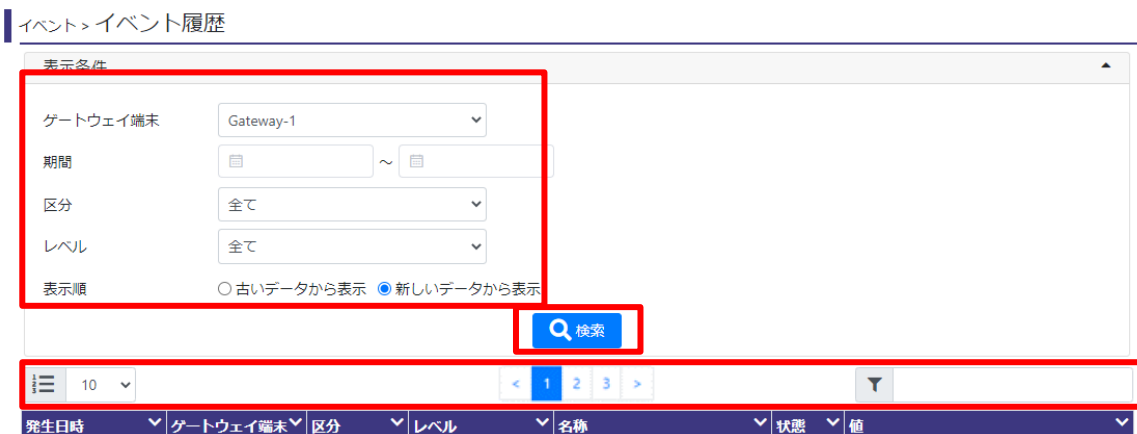
### 1 𠄎をクリックすると閲覧メニューが表示されます。

閲覧メニューから**[イベント]**→**[イベント履歴]**の順にクリックします。



### 2 イベント履歴画面が表示されます。

表示条件を変更して**[検索]**ボタンをクリックすると、最大1,000件まで検索結果を表示します。




設定項目	必須	設定内容
ゲートウェイ端末	○	ゲートウェイ端末を選択してください。
期間		期間を年月日で指定できます。 すべての期間を指定するには、左右とも空欄にします。 ある日時以降を指定するには、左側のみ設定します。 ある日時以前を指定するには、右側のみ設定します。
区分	○	「全て」が選択されます(変更できません)。
イベントレベル	○	「全て」が選択されます(変更できません)。
表示順	○	検索結果の表示順を次の中から選択してください。 ・古いデータから表示 ・新しいデータから表示
(画面あたりの表示件数、前へ、次へ、フィルタ)		画面あたりの表示件数を10, 50, 100から選択します。 検索ボタンの下に、検索結果の画面番号を表示します。クリックすると、その画面の検索結果を表示します。左右にある[<]または[>]をクリックすると、前または次の画面を表示します。 左側のテキストボックスに文字列を入力すると、検索結果全体(発生日時、ゲートウェイ端末、区分、レベル、名称、状態、値の文字列)に対して、指定した文字列で全文検索した結果を表示します。

## 7. イベント状態一覧の表示

この章では、イベント状態一覧の表示について説明します。

イベントの状態表示で設定した内容は、イベント状態一覧で表示できます。状態表示について『**状態表示の設定を行う(P98)**』を参照してください。

イベント状態一覧は、次の手順で表示できます。

**1** をクリックすると閲覧メニューが表示されます。

閲覧メニューから[イベント]→[イベント状態一覧]の順にクリックします。



**2** イベント状態一覧が表示されます。

状態表示で設定したイベントが視覚的に確認できます。

各イベント状態をクリックすると、イベント履歴を表示します。選択したイベントについての履歴を閲覧できます。

イベント > イベント状態一覧

テスト	テスト	イベント1
通信中	通信中	---
test1	未通信	

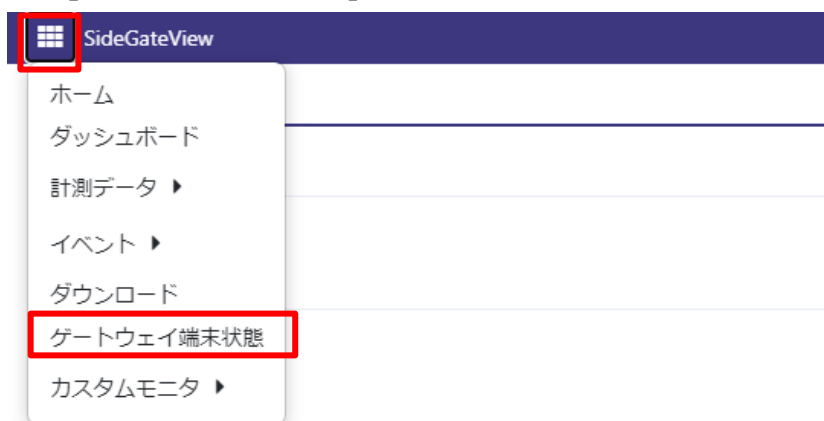
## 8. ゲートウェイ端末状態の表示

この章では、ゲートウェイ端末状態の表示について説明します。

ゲートウェイ端末状態は次の手順で表示できます。

**1** ☰をクリックすると閲覧メニューが表示されます。

閲覧メニューから[ゲートウェイ端末状態]をクリックします。



**2** ゲートウェイ端末との接続状態が表示されます。

ゲートウェイ端末状態

No.	状態	ゲートウェイ端末名	シリアル番号	バージョン	通信日時	計測日時	最終起動日時
1	ライセンス未割当			-			
2	正常			1.07			
3	通信途絶			1.07			

項目名	説明
No.	連番を表示します。
状態	<p>左側に、本サービスとゲートウェイ端末との通信状態として以下のいずれかを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計測待機中：ゲートウェイ端末にサービス利用基本契約（SG1A-SJP0001）ライセンスを割り当て済ですが、外部通信が設定されていません。</li> <li>・正常：ゲートウェイ端末にサービス利用基本契約（SG1A-SJP0001）ライセンスを割り当て済であり、本サービスとの通信、および外部機器との通信が正常に行われています。</li> <li>・通信途絶：ゲートウェイ端末にサービス利用基本契約（SG1A-SJP0001）ライセンスを割り当て済ですが、本サービスとの通信が失敗しています。</li> <li>・要アクティベーション：ゲートウェイ端末の登録のみ行われました。アクティベーションが完了していません。</li> <li>・ライセンス期限切れ：アクティベーション後に自動的に付与される1ヶ月の試用期間が終了しています。または、サービス利用基本契約（SG1A-SJP0001）ライセンスが期限切れです。</li> <li>・ライセンス未割当：アクティベーション後に自動的に付与される1ヶ月の試用期間中です。サービス利用基本契約（SG1A-SJP0001）ライセンスをゲートウェイ端末に割り当ててください。</li> <li>・外部機器途絶：ゲートウェイ端末にサービス利用基本契約（SG1A-SJP0001）ライセンスを割り当て済であり、本サービスとの通信は正常に行われていますが、外部機器との通信が失敗しています。</li> </ul> <p>右側に、本サービスと最後に通信した時の電波の強度をアンテナの本数で表示します。</p>
ゲートウェイ端末名	ゲートウェイ端末名を表示します。
シリアル番号	ゲートウェイ端末のシリアル番号を表示します。
バージョン	ゲートウェイ端末のファームウェアのバージョンを表示します。
通信日時	ゲートウェイ端末と本サービスが最後に通信した日時を表示します。
計測日時	ゲートウェイ端末から最後に計測データを受信した日時を表示します。
最終起動日時	ゲートウェイ端末が最後に起動した日時を表示します。

## 9. カスタムモニタの表示

この章では、カスタムモニタの表示について説明します。

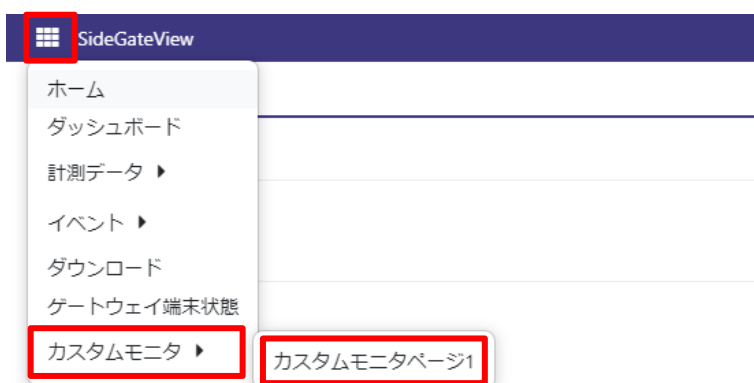
設定したカスタムモニタは、本画面で表示できます。カスタムモニタの設定について『**カスタムモニタの設定を行う(P112)**』を参照してください。

カスタムモニタの表示は、オプション契約（カスタムモニタ画面基本）（SG9Y-SJPBH01）ライセンスを購入した管理者、またはその管理者で作成した一般ユーザーで利用可能です。ライセンスについて『**ライセンスを管理する(P124)**』を参照してください。

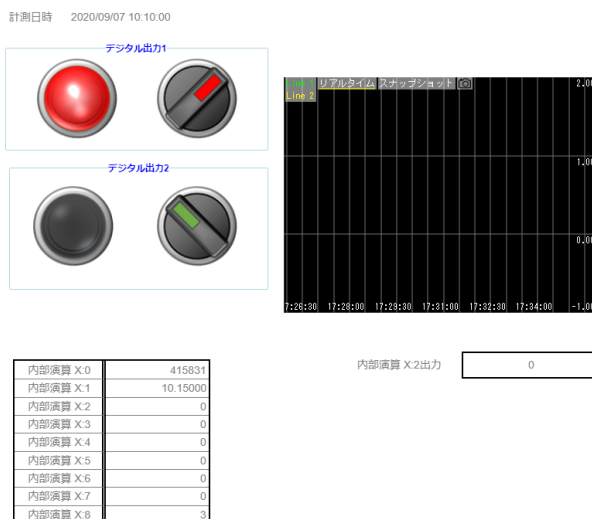
カスタムモニタは、次の手順で表示できます。

**1** をクリックすると閲覧メニューが表示されます。

閲覧メニューから**[カスタムモニタ]**をクリックして、ページ名を選択します。



**2** 新規タブでカスタムモニタが表示されます。



---

# トラブルシューティング

SG1A形および本サービスを使用する上でのトラブルの対処法についてご紹介します。

# 1. パスワードを忘れた場合

ログイン時のパスワードを忘れた場合、次の手順で対応できます。

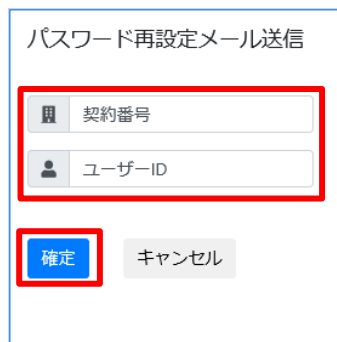
※2段階認証が設定されている場合、設定が解除されます。

- 1 ログイン画面にアクセスして[パスワードをお忘れの場合]をクリックしてください。



The screenshot shows a login form titled "ログイン". It contains three input fields: "契約番号" (Contract Number), "ユーザーID" (User ID), and "パスワード" (Password). Below the fields is a blue "ログイン" (Login) button. A red box highlights the link "パスワードをお忘れの場合" (Forgot your password), with the subtext "新規契約のお申込み" (New contract application) below it. At the bottom, there is a message: "お客様へのお知らせは、[こちら](#)でご確認いただけます。" (For information to our customers, please check [here](#)).

- 2 パスワード再設定画面が表示されますので、**契約番号**と**ユーザーID**を入力して[**確定**]ボタンをクリックしてください。ユーザーに設定されているメールアドレスにパスワード再設定の連絡メールが送信されます。

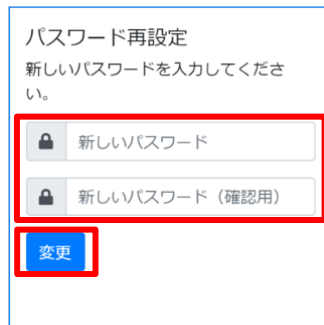


The screenshot shows a screen titled "パスワード再設定メール送信" (Send password reset email). It has two input fields: "契約番号" (Contract Number) and "ユーザーID" (User ID). Below the fields are two buttons: a blue "確定" (Confirm) button and a grey "キャンセル" (Cancel) button. Red boxes highlight the "契約番号" and "ユーザーID" fields, and the "確定" button.



3 メールに記載されているURLへアクセスしてください。

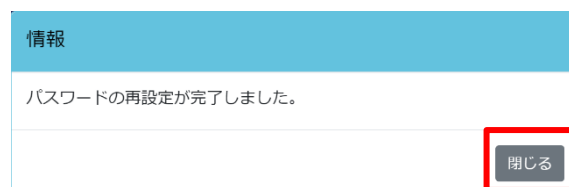
4 パスワード再設定画面が表示されますので、新しいパスワードを入力して[変更]ボタンをクリックしてください。



設定項目	必須	設定内容
パスワード	○	パスワードを8~20文字で入力してください。
パスワード確認	○	もう一度同じパスワードを入力してください。


5 パスワードの設定が終わると、メッセージが表示されます。

[閉じる]ボタンをクリックするとログイン画面が表示されるので、先程設定したパスワードを入力してログインしてください。



## 2. データ引継ぎ

運用中のゲートウェイ端末が故障した場合、ゲートウェイ端末を交換し、新しいゲートウェイ端末にデータを引き継ぐ必要があります。新しいゲートウェイ端末にデータを引継ぐ手順は次のとおりです。

1 をクリックすると管理メニューが表示されます。

管理メニューから[ゲートウェイ端末]をクリックします。

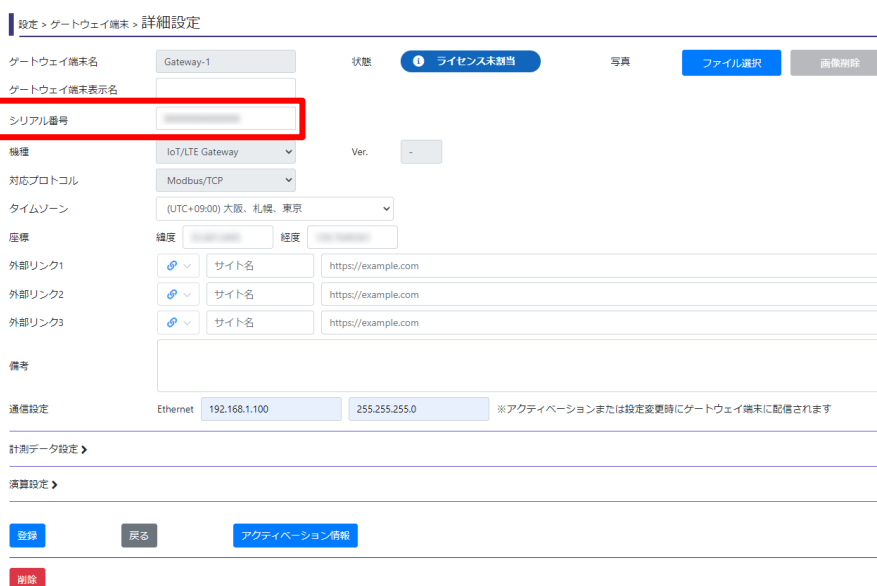
2 ゲートウェイ端末一覧画面が表示されます。

3 ゲートウェイ端末一覧画面からゲートウェイ端末名部分をクリックします。

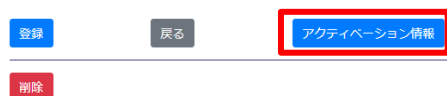
または、設定したいゲートウェイ端末をチェックして[編集]ボタンをクリックします。



4 [シリアル番号]を新しいゲートウェイ端末のシリアル番号に変更します。



5 [アクティベーション情報]ボタンをクリックしてください。



## 6 新しいゲートウェイ端末のアクティベーションを行います。

受付時間内に画面に表示される指示に従って、ゲートウェイ端末本体を操作してください。



7 アクティベーションが成功すると登録成功画面が表示されますので、**[閉じる]**ボタンをクリックします。登録が失敗すると登録失敗画面が表示されます。画面の表示内容に沿って、設定を確認してください。

成功画面例	失敗画面例
<p>ゲートウェイ端末登録</p> <p>シリアル番号:XXXXXXXXXXXX</p> <p>成功</p> <p>閉じる</p>	<p>ゲートウェイ端末登録</p> <p>シリアル番号:XXXXXXXXXXXX</p> <p>接続が確認できませんでした</p> <p>下記内容を確認し、再度実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・接続にはゲートウェイ端末側の通信設定が必要です。</li></ul> <p>ゲートウェイ端末のマニュアルに沿って設定してください。</p> <p>閉じる</p>

## 8 ゲートウェイ端末詳細設定画面の**[登録]**ボタンをクリックします。

登録が完了すると、ゲートウェイ端末一覧画面に戻ります。

# IDEC株式会社

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-6-64

 [jp.idec.com](http://jp.idec.com)



お問合せはこちらから

- ・本マニュアル中に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社が商標または登録商標として使用している場合があります。
- ・仕様、その他記載内容は予告なしに変更する場合があります。

B-2327 (0) 本マニュアル記載の情報は、2022年3月現在のものです。

